

豊橋市
男女共同参画に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和2年3月

豊 橋 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	標本誤差	2
II	調査結果	4
1	調査回答者の属性	4
1-1	性別	4
1-2	年齢	4
1-3	職業	5
1-4	配偶者の有無	9
1-5	共働きの有無	9
1-6	家族構成	10
2	男女の平等感について	11
2-1	社会全体の男女の地位評価	11
2-2	各場面および分野の男女の地位評価	14
3	男女の意思決定について	30
3-1	政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い理由	30
3-2	各場面の意見の反映度	33
4	家庭・仕事・地域活動のバランスについて	42
4-1	参加している地域活動	42
4-2	平日・休日の活動時間	45
4-3	望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係	48
4-4	現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係	52

5	男女の働き方について	57
5-1	性別役割分担意識	57
5-2	性別役割分担意識に賛成する理由	61
5-3	性別役割分担意識に反対する理由	63
5-4	男性が育児や介護で休みをとることについての考え方	65
5-5	男性が育児や介護で休みをとったほうがよい理由	70
5-6	男性が育児や介護で休みをとらないほうがよい理由	72
5-7	女性が仕事をするることについての考え方	75
5-8	女性の就労継続に必要な事項	78
5-9	女性の再就職における基準	81
5-10	女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由	83
6	生涯を通じた生活について	87
6-1	生涯を通じて安心して暮らすための必要事項	87
7	子どもへの男女共同参画教育について	89
7-1	子育てについての考え方	89
7-2	男女平等のための学校教育のあり方	93
8	配偶者等からの暴力について	97
8-1	配偶者や交際相手から暴力を受けた経験	97
8-2	暴力行為についての相談相手	102
8-3	相談をしなかった理由	107
8-4	男女間の暴力を防止するために必要なこと	110
8-5	豊橋市DV相談窓口の認知度	114
9	豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について	117
9-1	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無	117
9-2	充実してほしい内容	119
9-3	参加してみたいと思う講座のテーマ	121
9-4	参加しやすい曜日と時間帯	121
10	男女共同参画社会について	125
10-1	用語の認知度	125
10-2	家庭での男女共同参画意識の有無について	139
10-3	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと	141

Ⅲ 自由意見 145

●	調査票	154
---	-----	-----

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、社会情勢の変化に対応した効果的な施策を展開するため、市民の男女共同参画に関する意識やニーズを把握する目的で実施した。

2 調査対象

豊橋市内に住む 20 歳以上の男女各 1,500 人を年代別・地域別で無作為抽出

3 調査期間

令和元年 8 月 1 日から令和元年 8 月 31 日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回答率
3,000 通	876 通	29.2%	874 通	29.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・他の項目と比較して、差異がみられる場合、グラフにおいては破線で示しており、表においては、下線で表示しています。

7 標本誤差

標本誤差については、下記算出式より算出する。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

σ : 標本誤差
 N : 母集団
 n : 標本数
 p : 回答比率
 κ : 信頼率による変数

標本数は、令和元年 10 月 1 日現在の市内在住満 20 歳以上の男女（全体）307,555 人、男性 153,834 人、女性 153,721 人で算出する。

信頼率による変数 κ は、信頼率 95% では 1.96、信頼率 99% では 2.58 と定義されており、今回の市民意識調査における信頼率を 95% とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなる。

標本数	回答比率 (%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
全体 874	±1.99%	±2.65%	±3.03%	±3.24%	±3.31%
女性 485	±2.67%	±3.55%	±4.07%	±4.35%	±4.44%
男性 361	±3.09%	±4.12%	±4.72%	±5.05%	±5.15%

これは、ある質問において「A」という回答の割合が 50% であれば、20 歳以上の豊橋市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95% の確率で ±3.31% の範囲内 (3.31% ~ -3.31%) にあることを示す。

<各比較調査の詳細>

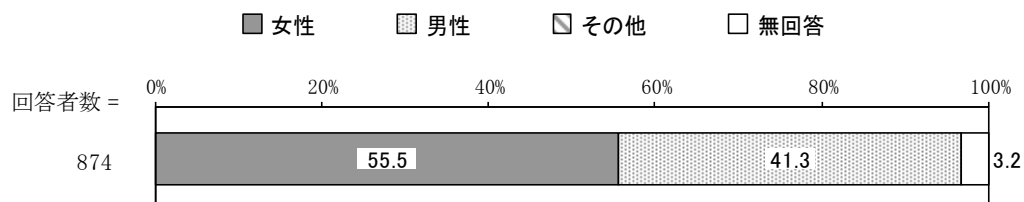
調査主体	調査名	調査時期
国（内閣府）	男女共同参画社会に関する世論調査	令和元年9月
国（内閣府）	女性の活躍推進に関する世論調査	平成26年8月
愛知県	県政世論調査（男女共同参画について）	平成29年11月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	令和元年8月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成28年8月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成26年9月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成23年6月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成20年5月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成17年5月
豊橋市	男女共同参画に関するアンケート調査	平成13年8月

No.	調査項目	国	県	市
問1	社会全体の男女の地位評価	○	○	○
問2	各場面および分野の男女の地位評価	○	○	○
問3	政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由			○
問4	各場面における意見の反映度			○
問5	参加している地域活動			○
問6	平日・休日の活動時間			○
問7	望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係	○	○	○
問8	現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係	○	○	○
問9	性別役割分担意識	○	○	○
問9-1	性別役割分担意識に賛成する理由			○
問9-2	性別役割分担意識に反対する理由			○
問10	男性が育児や介護で休みをとることについての考え方			○
問10-1	男性が育児や介護で休みをとったほうがよい理由			○
問10-2	男性が育児や介護で休みをとる必要はない理由			○
問11	女性が仕事をするについて			○
問12	女性が働き続けるために必要と思うこと	○		○
問13	離職した女性が、再就職を考えたときに基準にすること	○		○
問14	女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由			○
問15	生涯を通じて安心して暮らすために必要なこと			○
問16	子育てについての考え方			○
問17	男女平等のための学校教育のあり方			○
問18	配偶者や交際相手から暴力を受けた経験			○
問18-1	暴力行為についての相談相手			○
問18-2	相談をしなかった理由			○
問19	男女間における暴力を防止するために必要なこと			○
問20	豊橋市DV相談窓口の認知度			○
問21	男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無			○
問21-1	充実してほしい内容			○
問22	参加してみたいと思う講座のテーマ			○
問22-1	参加しやすい曜日と時間帯			○
問23	用語の認知度			○
問24	家族全員の男女共同参画意識			○
問25	男女共同参画社会実現のために行政に望むこと			○

II 調査結果

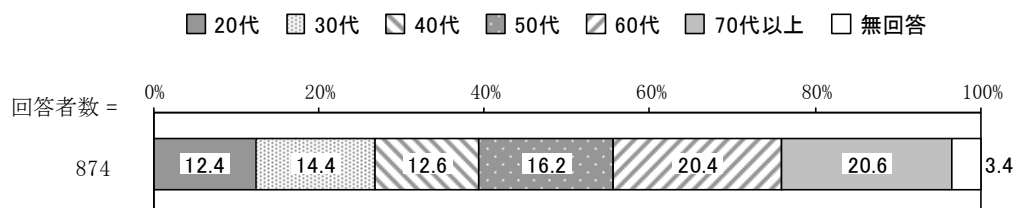
1 調査回答者の属性

1-1 性別

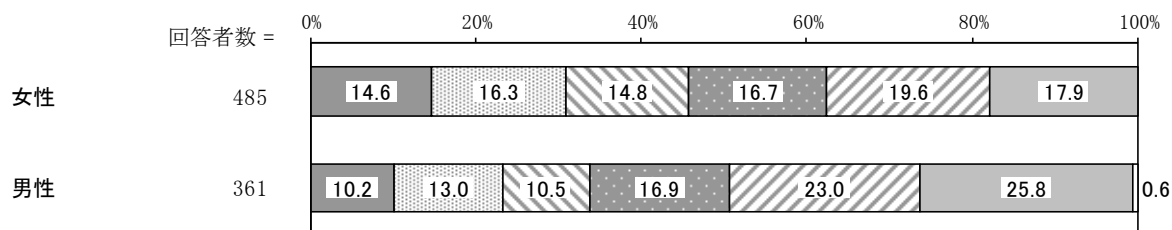


※「その他」と回答した人はいなかったため、以下の集計からは「その他」を除外している。

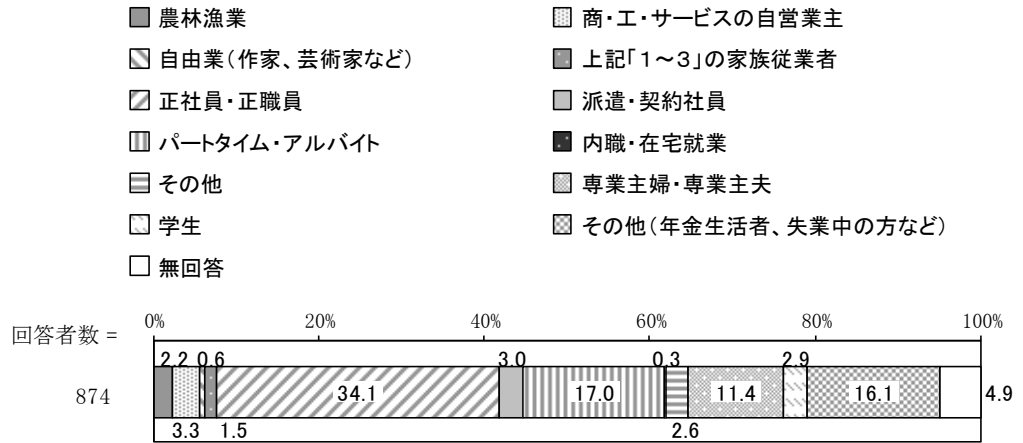
1-2 年齢



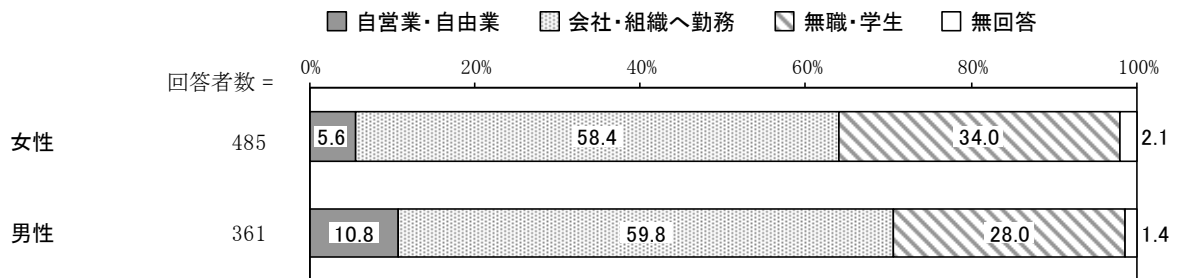
【性別】



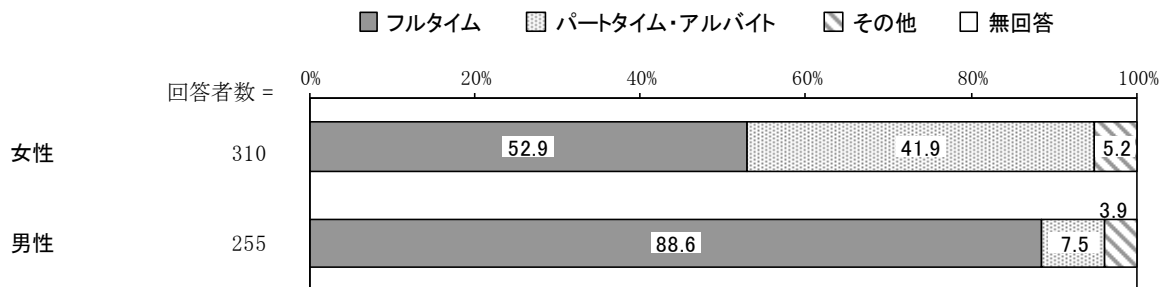
1-3 職業



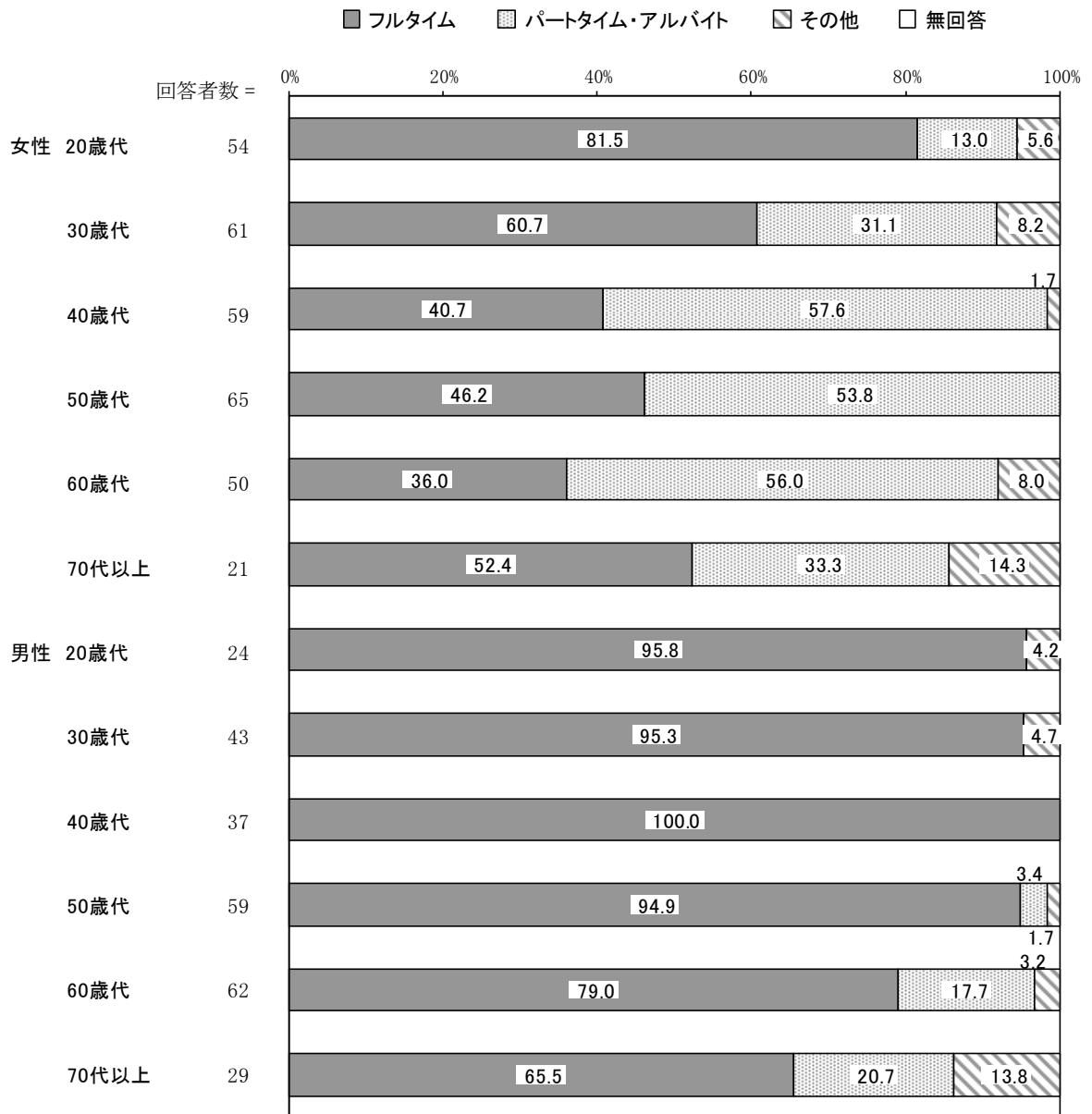
【性別】



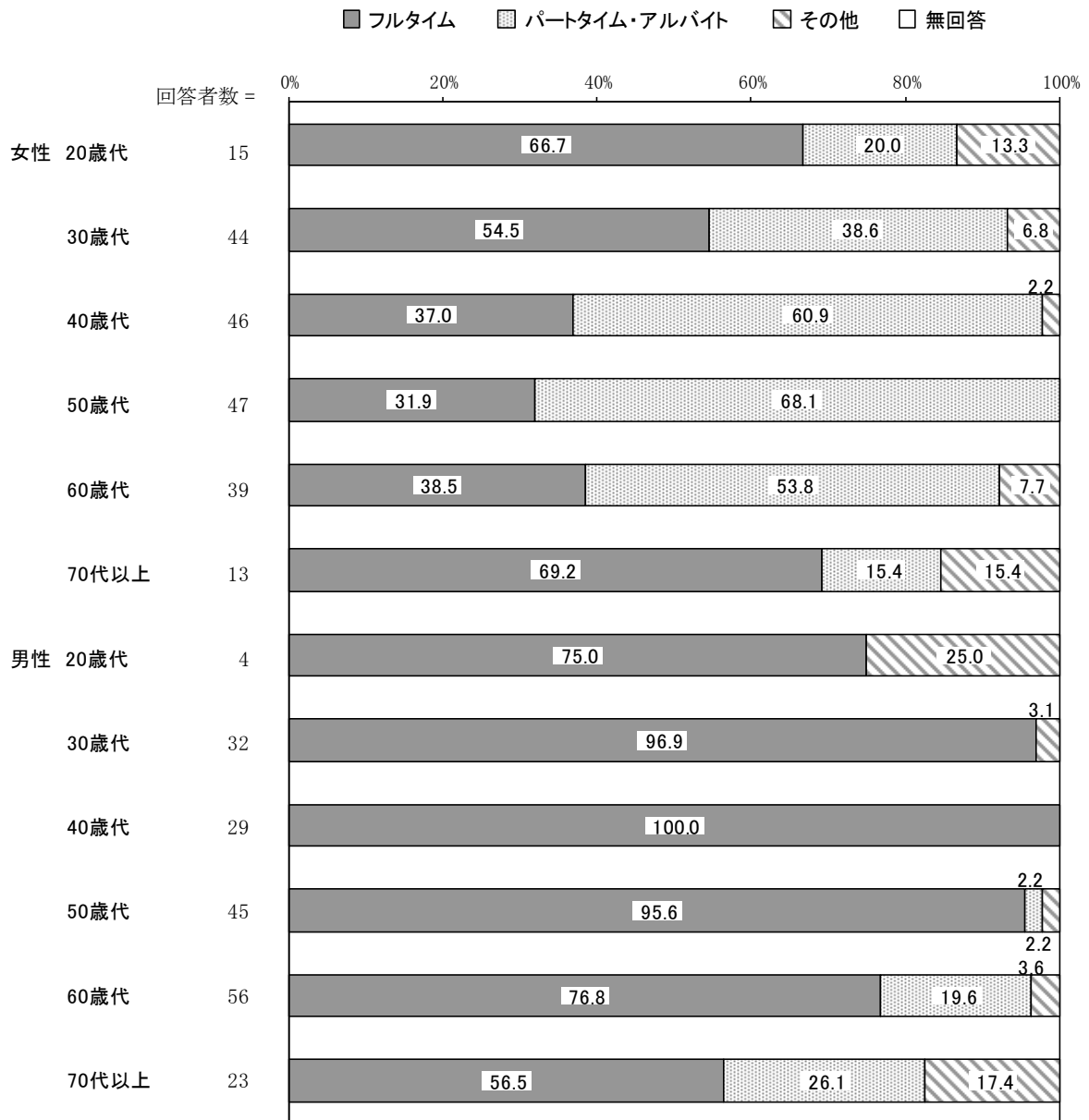
【就労形態】



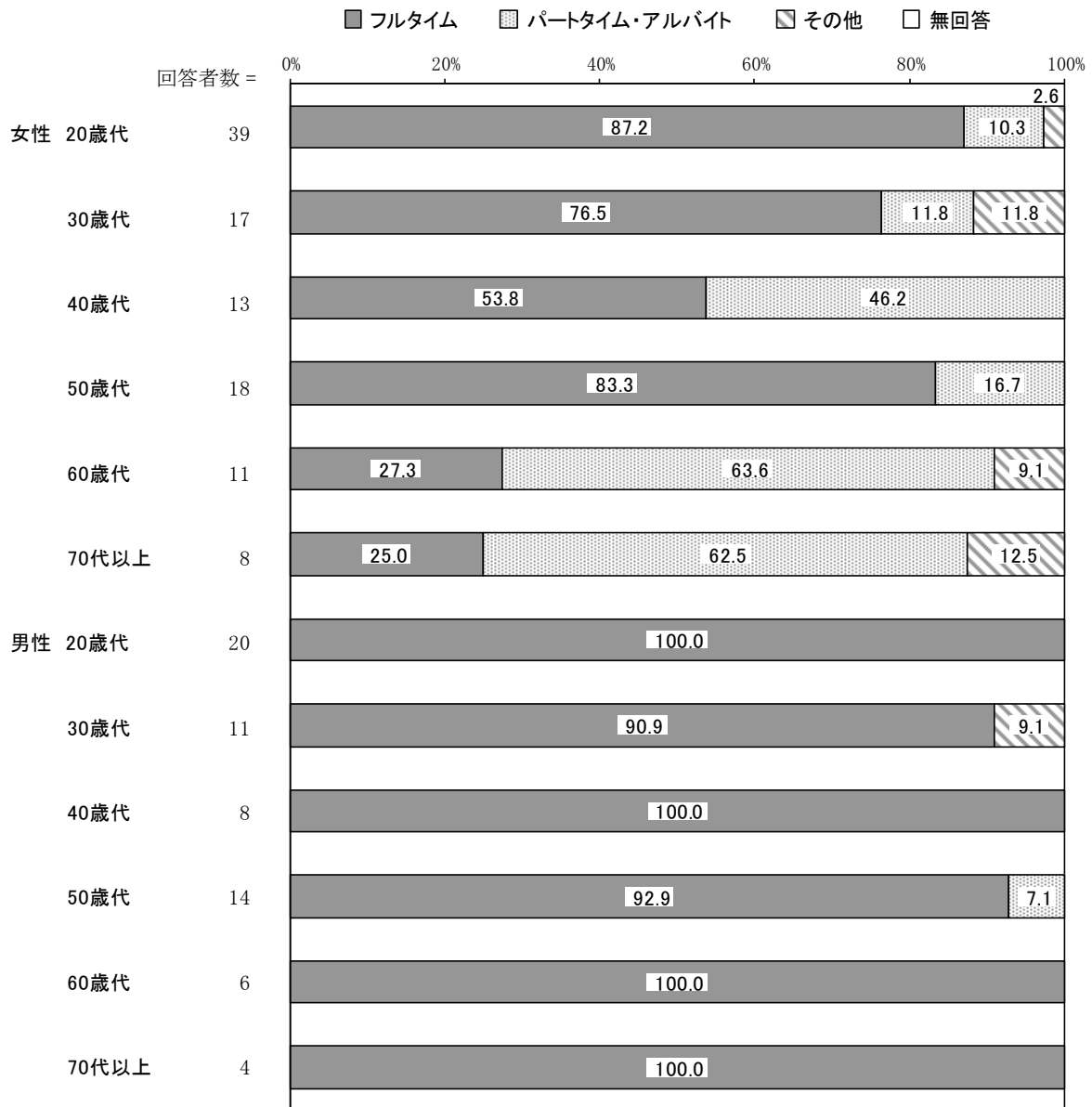
<性・年代別>



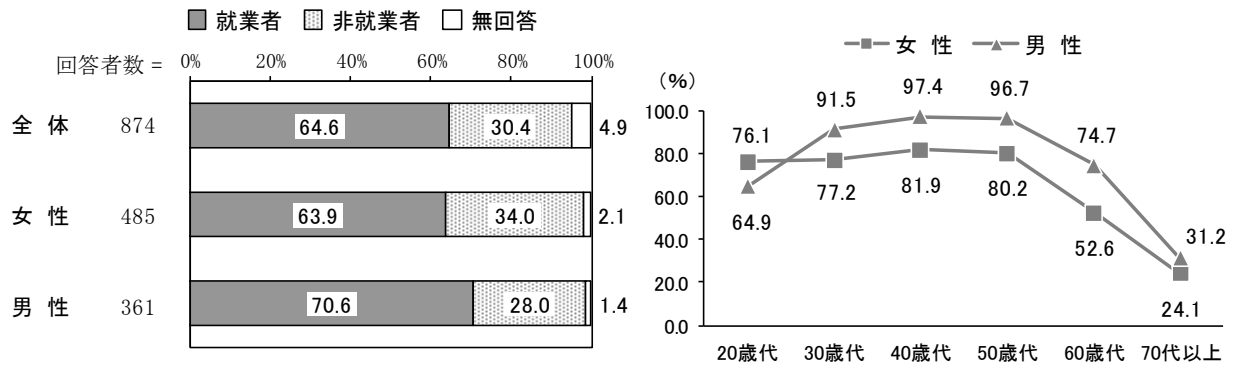
<配偶者の有無別（婚姻中）>



<配偶者の有無別（独身）>

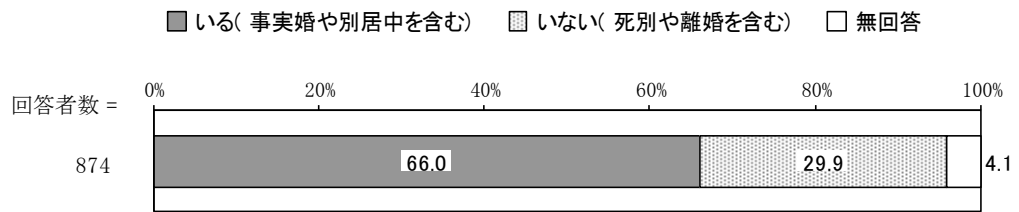


【就労の有無】

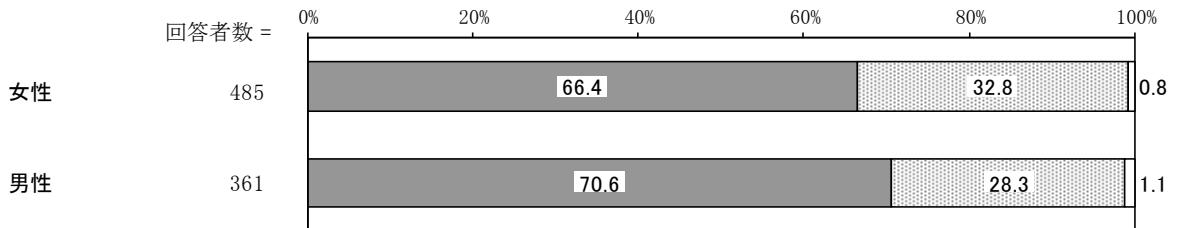


就労の有無について性別で見ると、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高くなっている。性別・年代別で見ると、30歳代以上では、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高く、特に60歳代では約22ポイントの差がみられる。

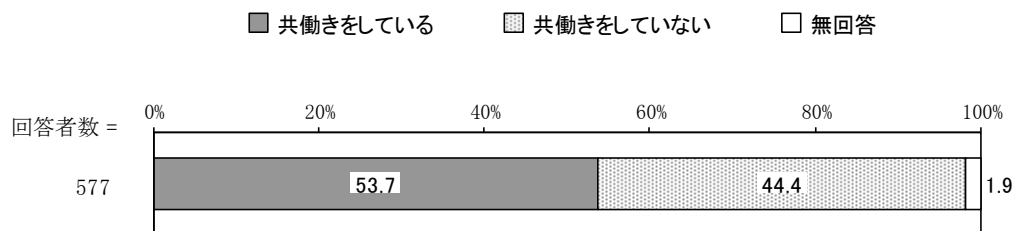
1-4 配偶者の有無



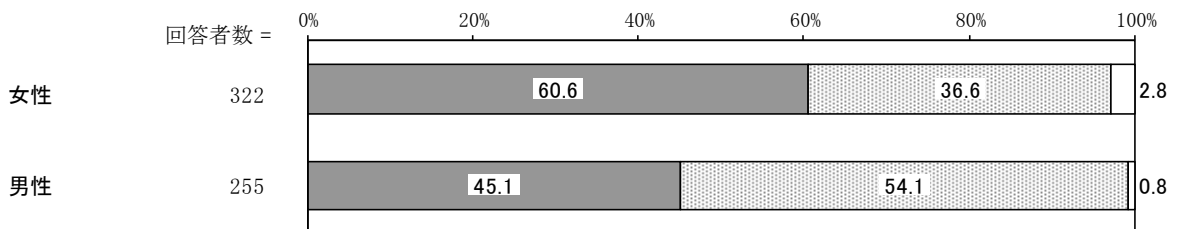
【性別】



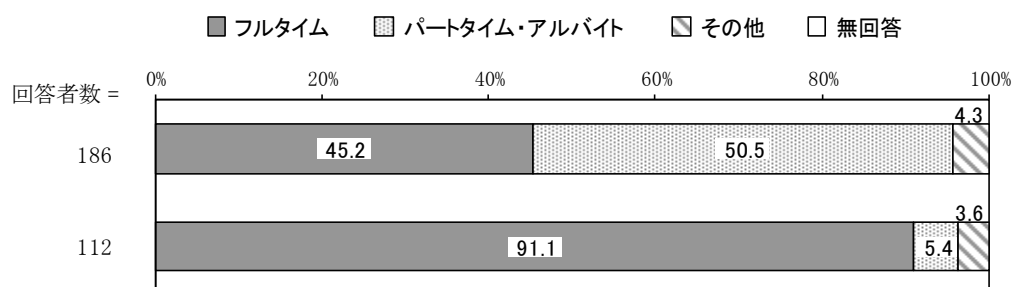
1-5 共働きの有無



【性別】

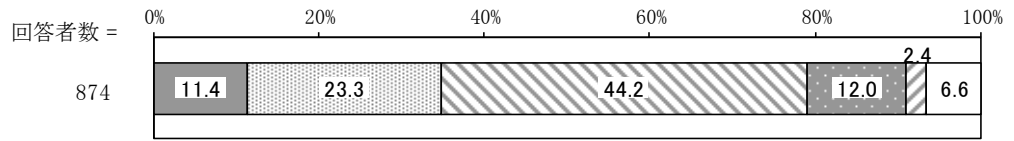


【就労形態 (共働きをしている人)】

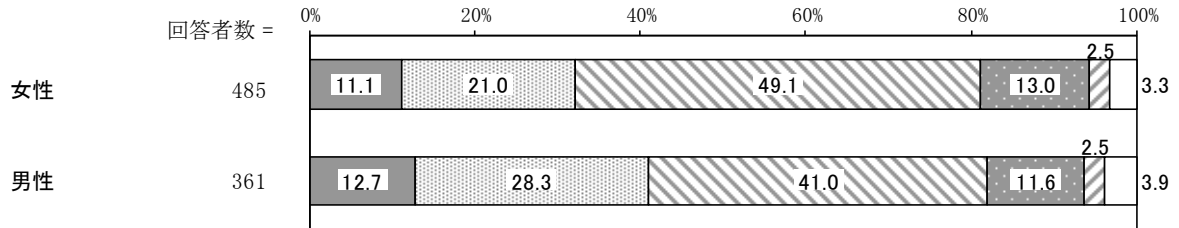


1-6 家族構成

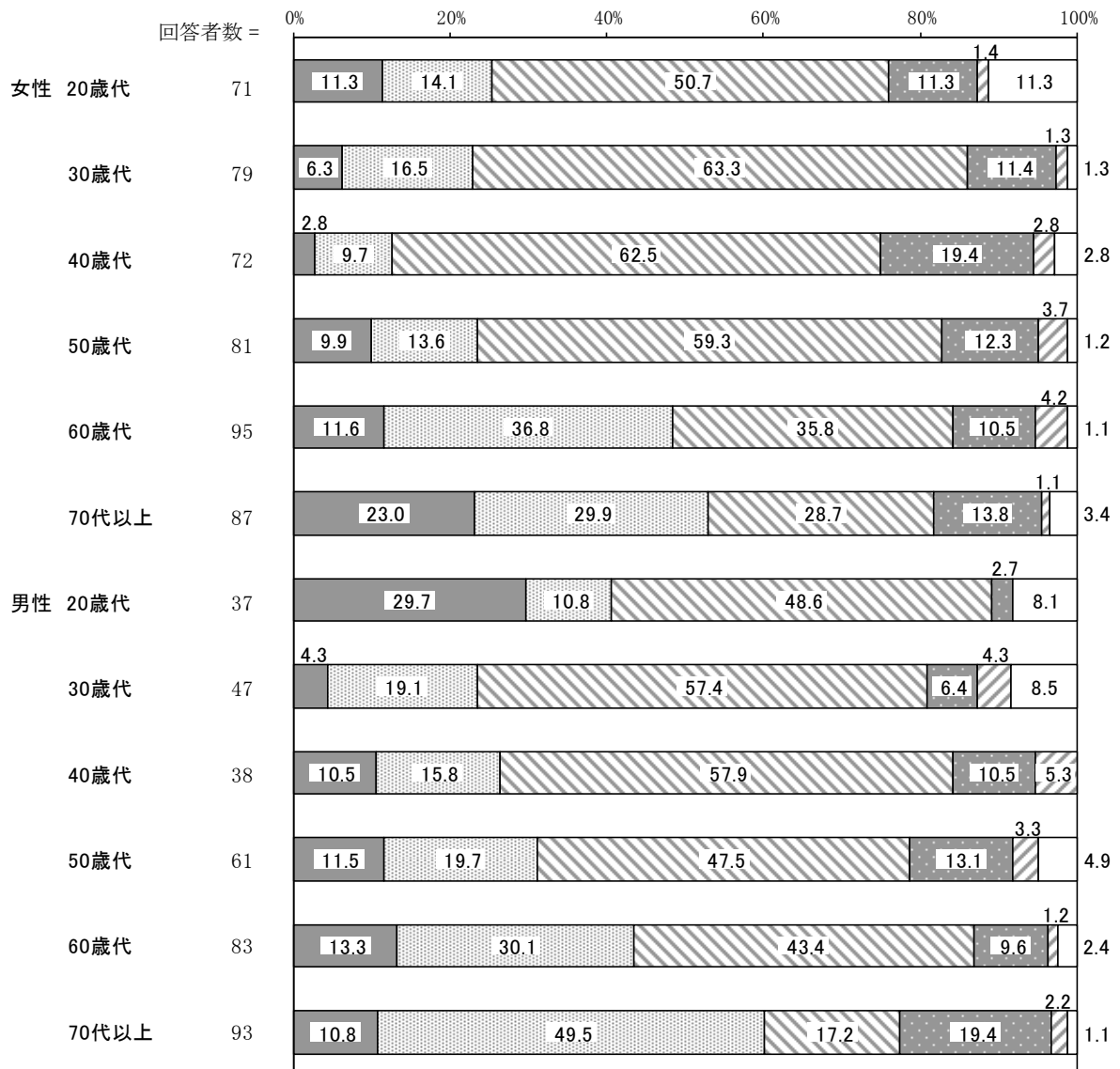
- 一人暮らし
- ▨ 夫婦のみ(一世代家族)
- ▧ 親と子(二世世代家族)
- 親と子と孫(三世世代家族)
- ▩ その他
- 無回答



【性別】



【性・年代別】



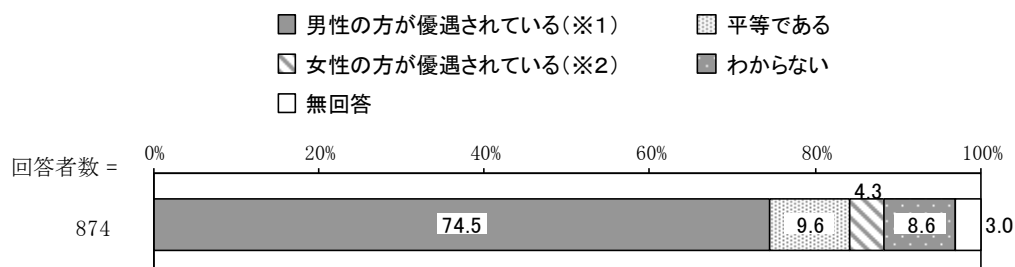
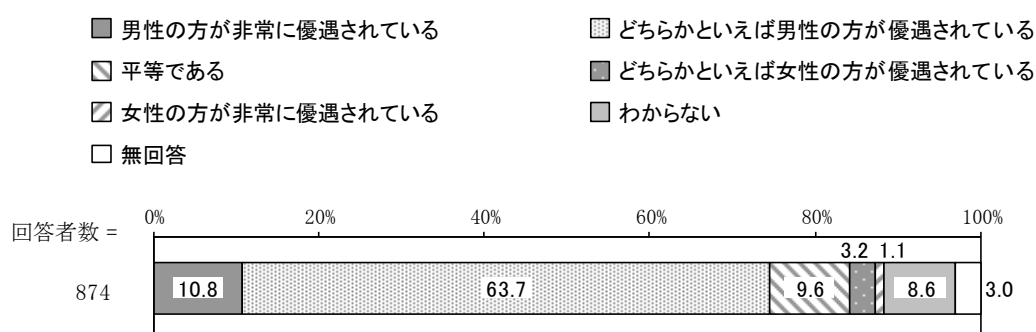
2 男女の平等感について

2-1 社会全体の男女の地位評価

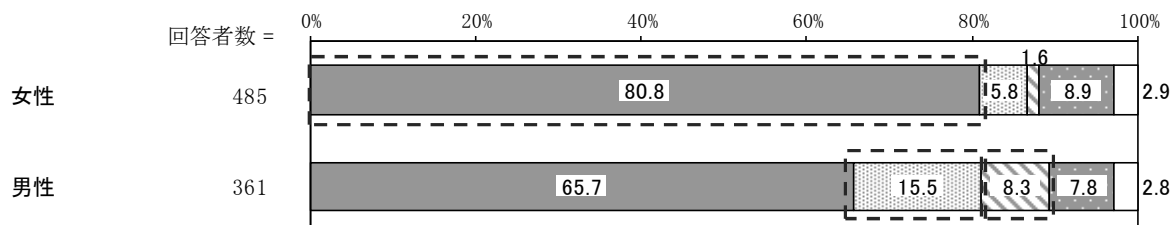
問1. 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“男性の方が優遇されている(※1)”の割合が74.5%、“女性の方が優遇されている(※2)”の割合が4.3%、「平等である」の割合が9.6%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている(※1)”の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「平等である」「女性の方が優遇されている(※2)」の割合が高くなっている。



【性別】



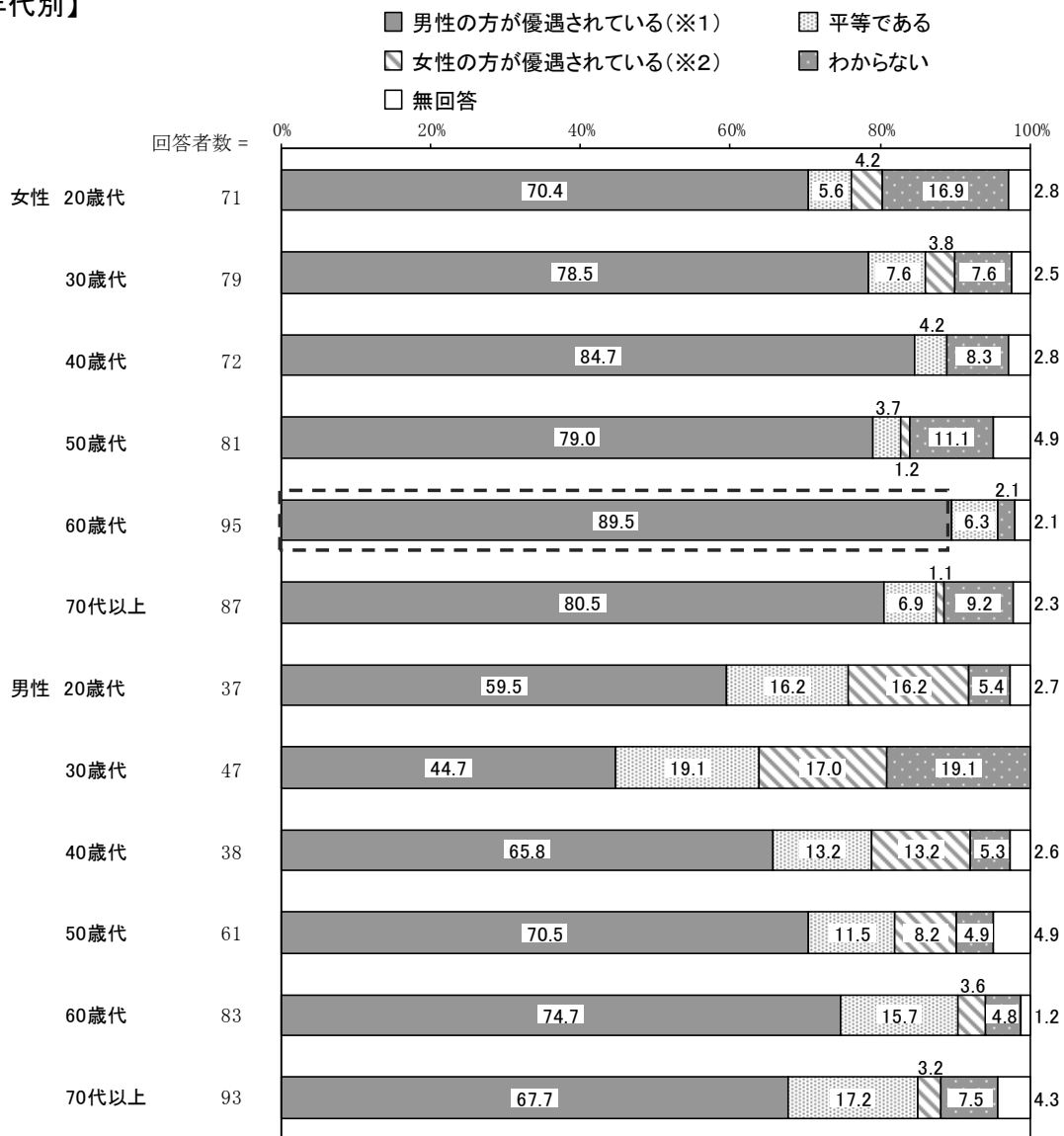
※1: 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2: 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

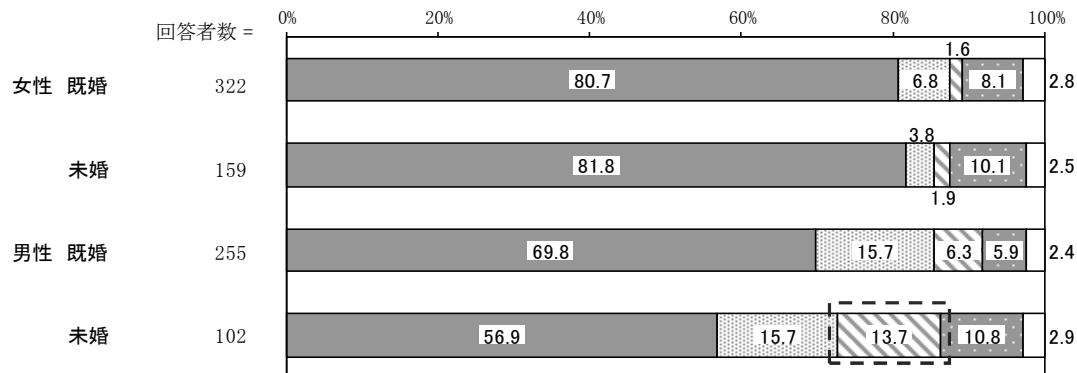
性・年代別で見ると、他に比べ、女性 60 歳代で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなっている。

性・婚姻別で見ると、他に比べ、男性未婚で“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が高くなっている。

【性・年代別】



【性・婚姻別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

国・愛知県との比較でみると、「平等である」の割合は、国・愛知県より低い数値となっている。
 豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年と比べて「平等である」の割合が減少して
 いる。

【国・愛知県との比較・経年比較】

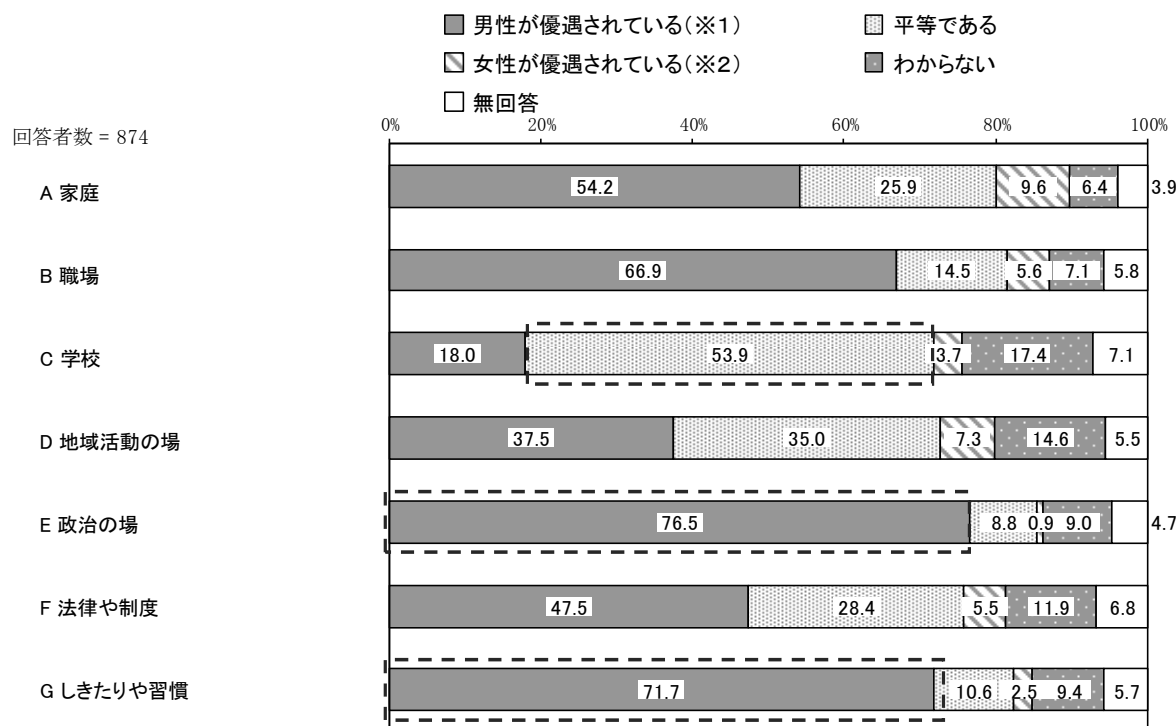
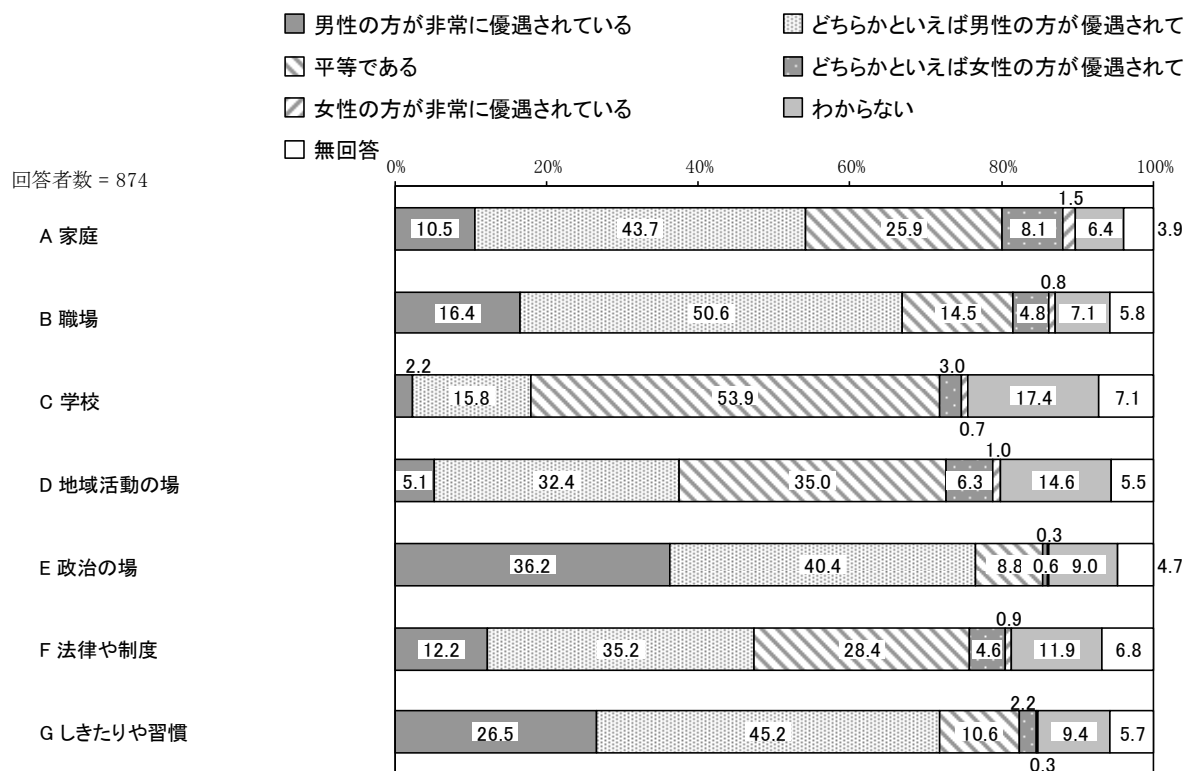
単位：％

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13 調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (R01.9)	11.3	62.8	21.2	2.8	0.3	1.6	—	74.2	3.0
女性	13.1	64.4	18.4	1.7	0.2	13.1	—	79.2	2.0
男性	9.2	61	24.5	4	0.3	9.2	—	68.2	4.4
愛知県 (H29.11)	19.4	54.0	11.3	4.8	1.7	6.1	2.6	73.4	6.5
女性	24.7	55.2	7.9	3.3	0.7	5.8	2.5	79.9	4.1
男性	12.3	52.1	16.5	6.9	2.8	6.6	2.8	64.4	9.7
豊橋市 (R01.8)	10.8	63.7	9.6	3.2	1.1	8.6	3.0	74.5	4.3
女性	14.0	66.8	5.8	1.4	0.2	8.9	2.9	80.8	1.6
男性	5.5	60.1	15.5	5.8	2.5	7.8	2.8	65.6	8.3
豊橋市 (H28.8)	8.4	64.8	13.4	5.7	0.2	6.0	1.5	73.2	5.9
女性	10.8	68.3	8.8	2.9	0.2	7.6	1.4	79.1	3.1
男性	5.3	60.0	19.6	9.3	0.2	3.8	1.7	65.3	9.5
豊橋市 (H26.9)	8.6	60.2	11.3	6.1	0.9	7.4	5.6	68.8	7.0
女性	11.3	61.9	7.0	4.5	0.3	9.3	5.8	73.2	4.8
男性	5.0	58.1	16.5	8.2	1.6	5.2	5.4	63.1	9.8
豊橋市 (H23.6)	8.1	59.3	15.0	6.8	0.5	9.0	1.3	67.4	7.3
女性	10.9	63.3	9.6	4.3	0.3	10.1	1.3	74.2	4.6
男性	4.1	54.2	22.0	10.4	0.6	7.6	1.1	58.3	11.0
豊橋市 (H20.5)	10.5	62.3	12.1	5.4	0.7	7.1	2.0	72.8	6.0
女性	11.4	66.0	8.3	3.7	0.5	8.7	1.4	77.4	4.2
男性	9.5	57.9	17.3	7.3	1.0	5.6	1.4	67.5	8.3
豊橋市 (H17.5)	10.6	60.6	11.1	7.1	0.6	8.8	1.3	71.2	7.7
女性	13.5	64.5	6.2	3.6	0.2	10.6	1.5	78.0	3.7
男性	6.8	54.9	18.0	11.9	1.2	6.3	0.9	61.7	13.1
豊橋市 (H13.8)	19.8	55.4	7.7	4.3	0.4	10.9	1.4	75.2	4.7
女性	25.6	55.4	3.9	4.1	0.0	9.7	1.2	81.0	4.1
男性	12.4	56.1	12.7	4.4	1.0	12.1	1.3	68.5	5.4

2-2 各場面および分野の男女の地位評価

問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
A～Gの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『E 政治の場』、『G しきたりや習慣』において、“男性が優遇されている(※1)”の割合が高くなっている。また、『C 学校』において「平等である」の割合が高く、約5割となっている。

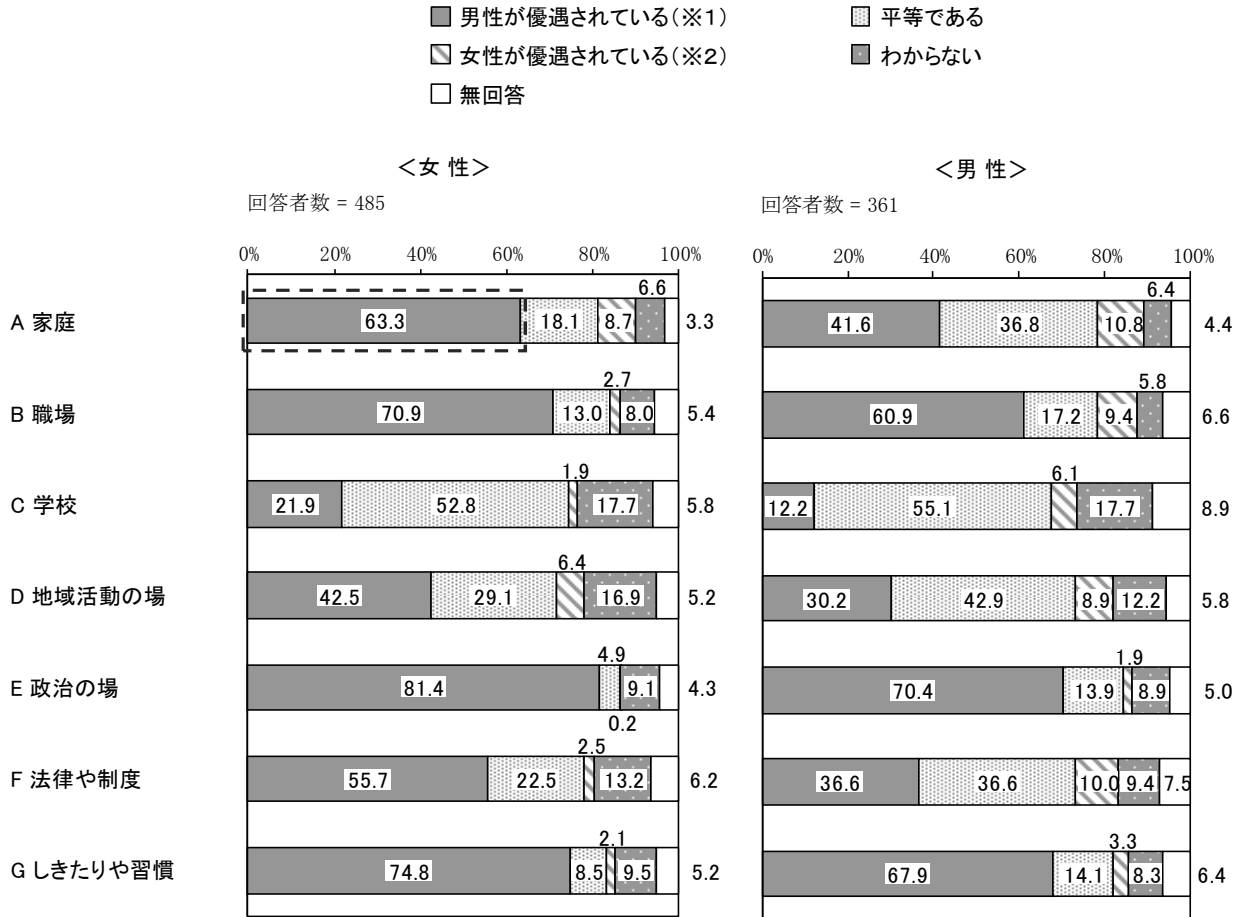


※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

性別でみると、いずれの項目においても、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている(※1)”の割合が高く、特に『A 家庭』では約22ポイント高くなっている。

【性別】

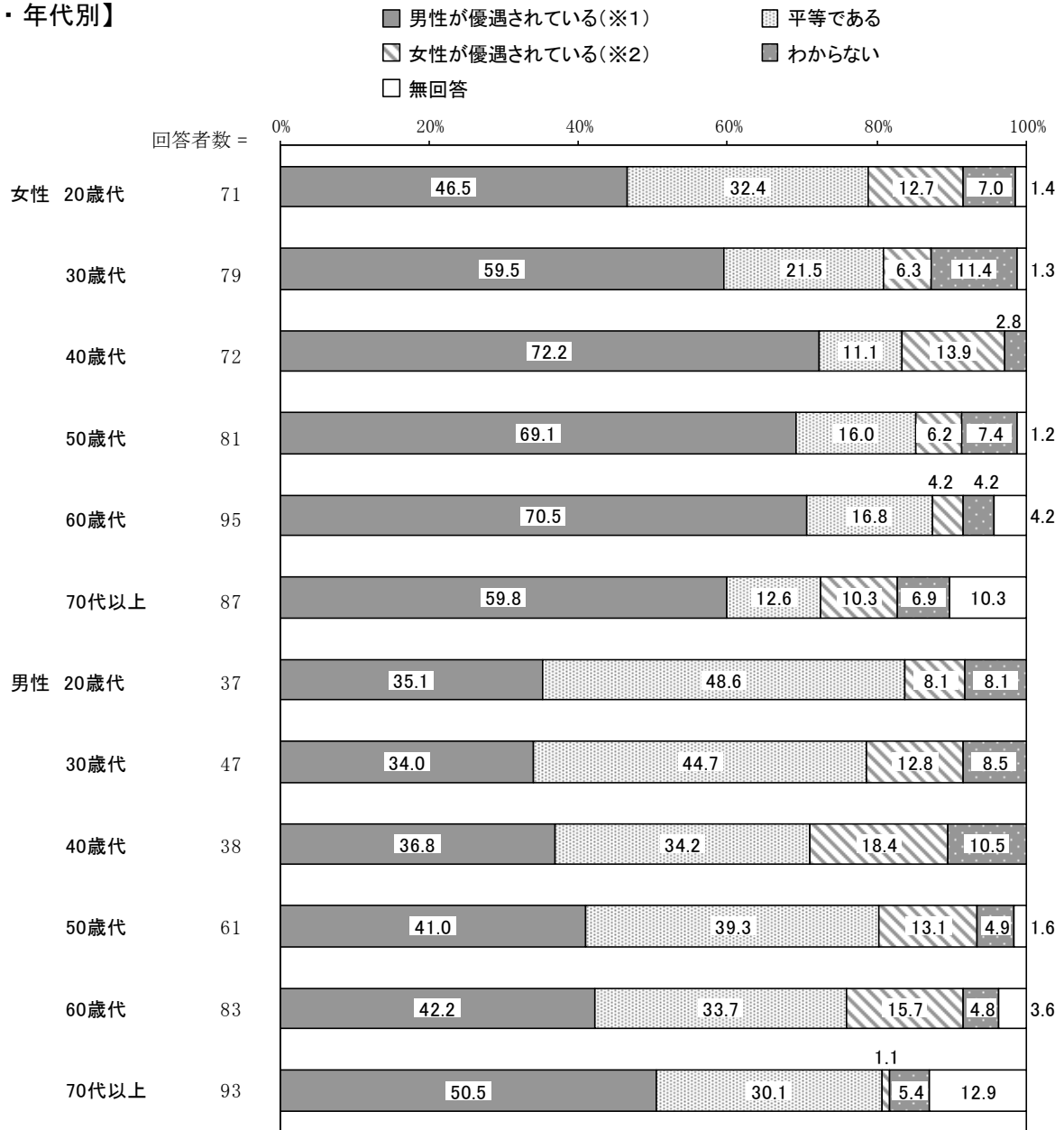


※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

A 家庭

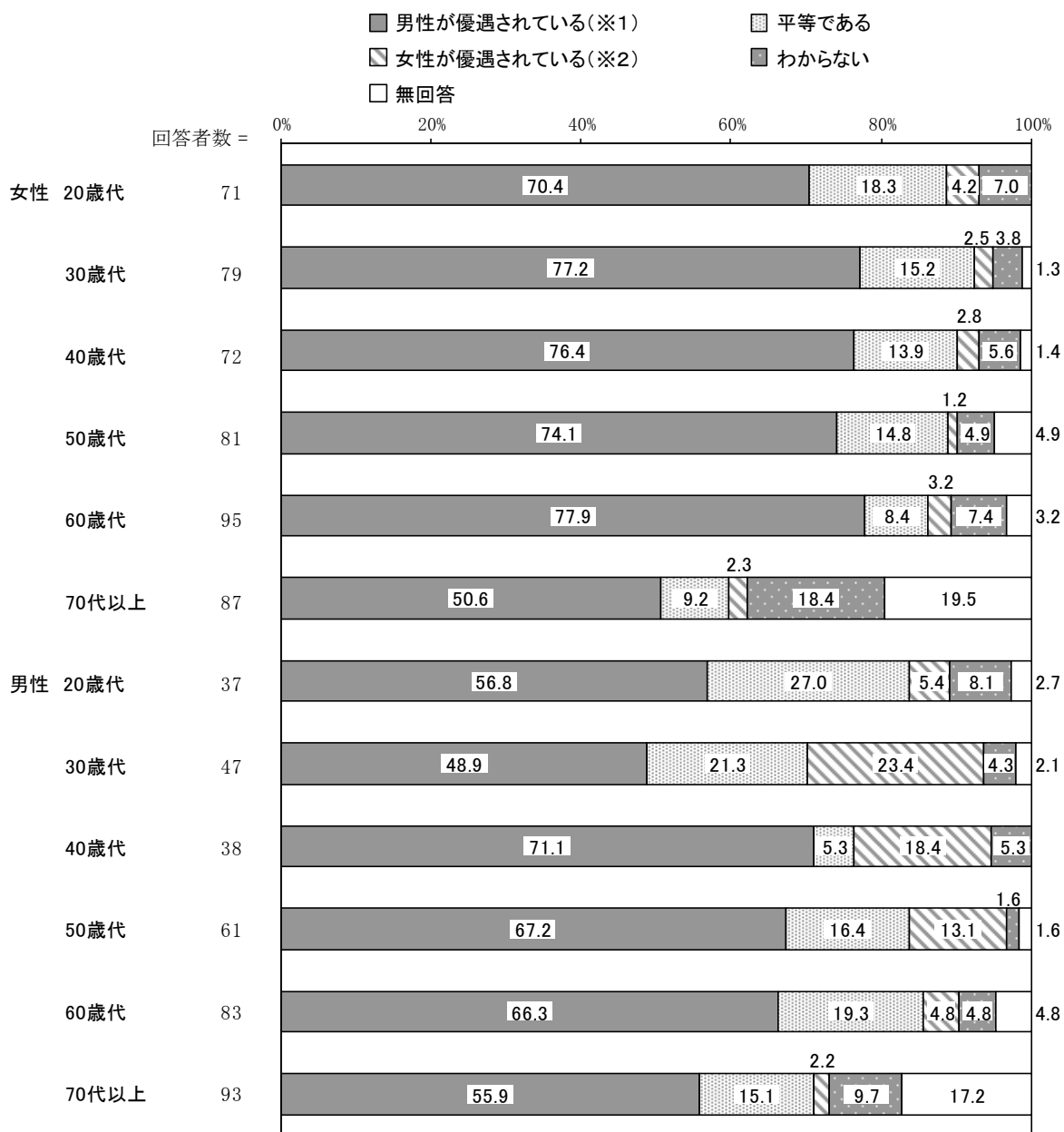
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

B 職場

【性・年代別】

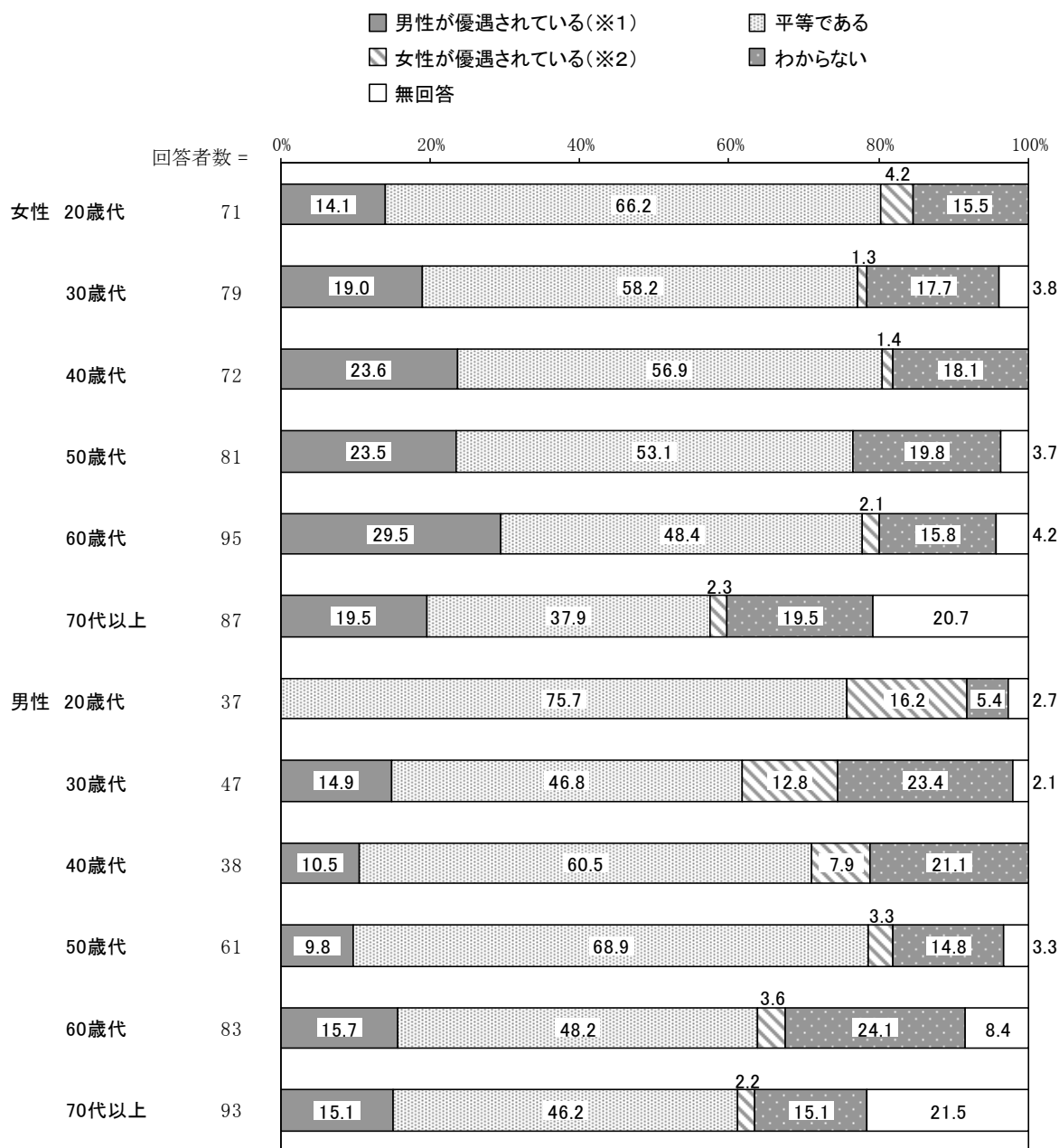


※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

C 学校

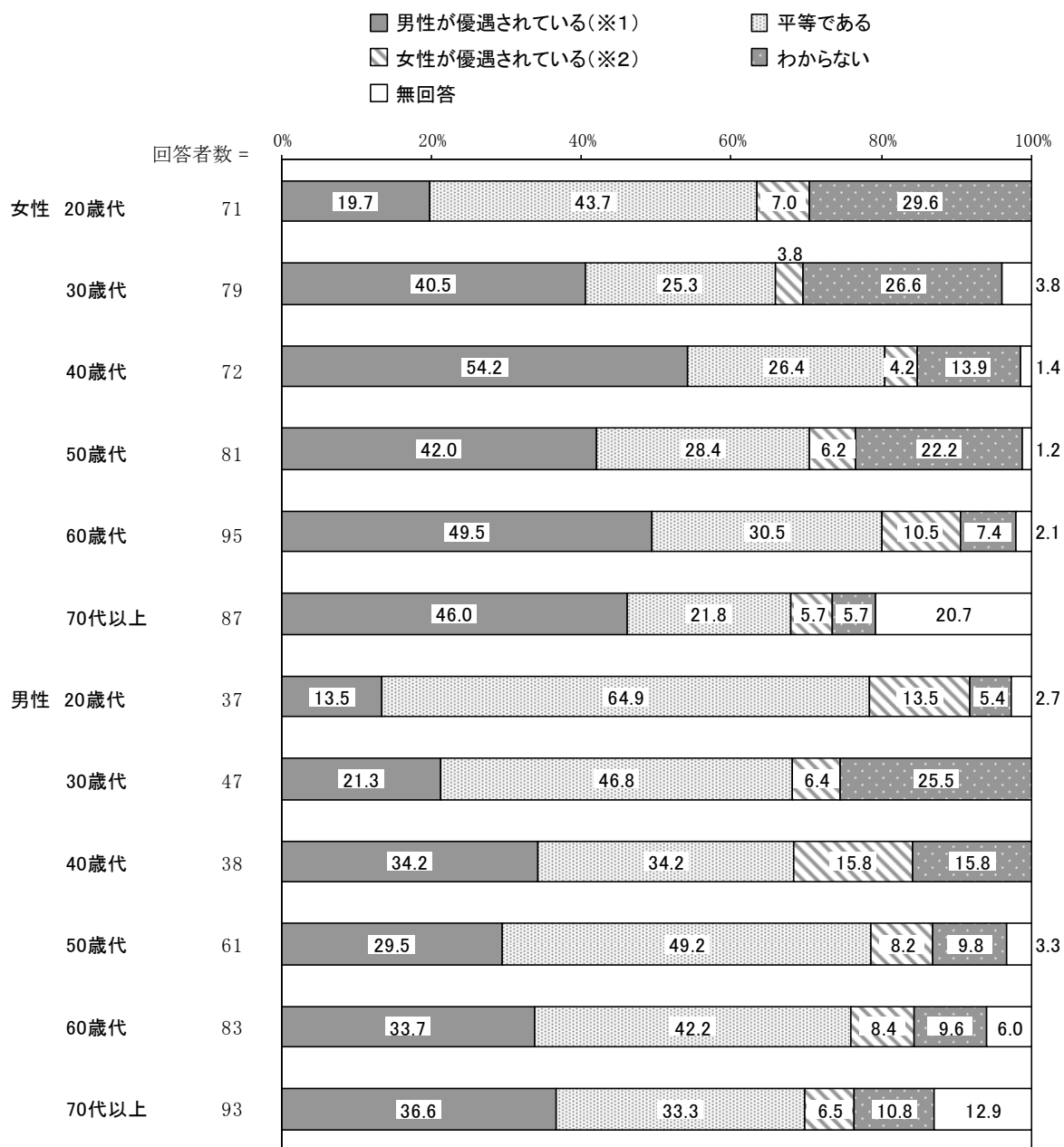
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

D 地域活動の場

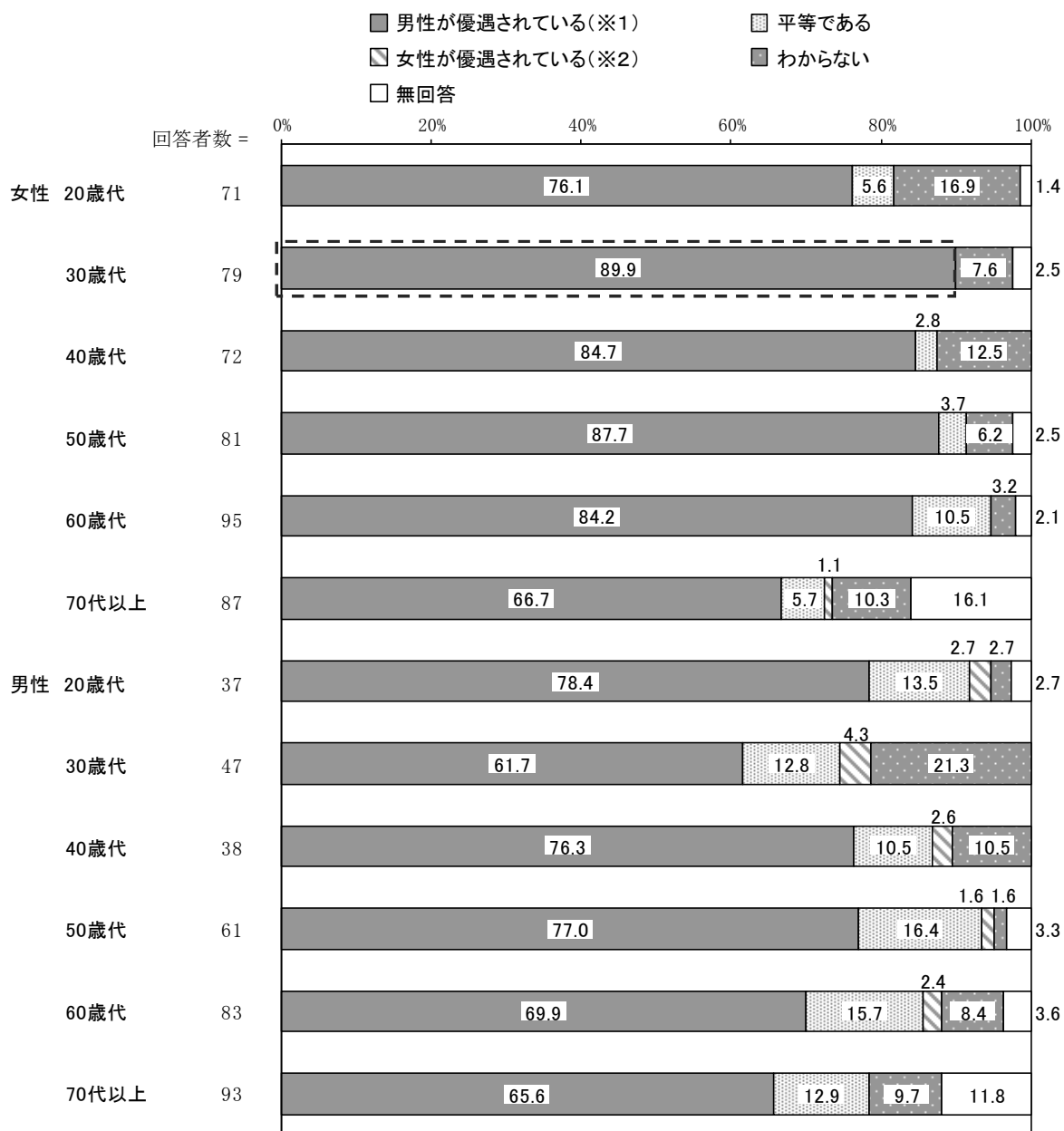
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

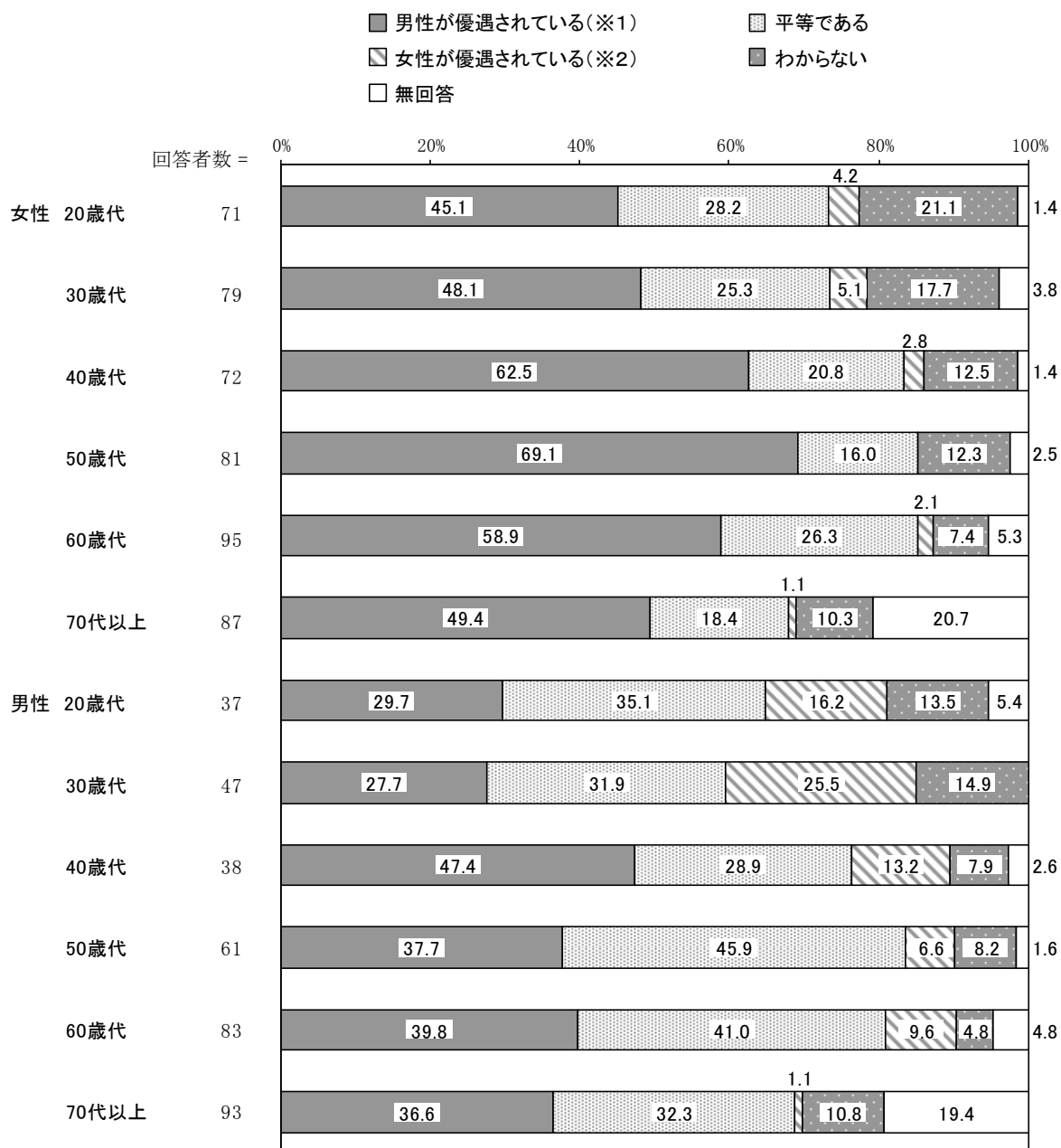
※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

E 政治の場
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

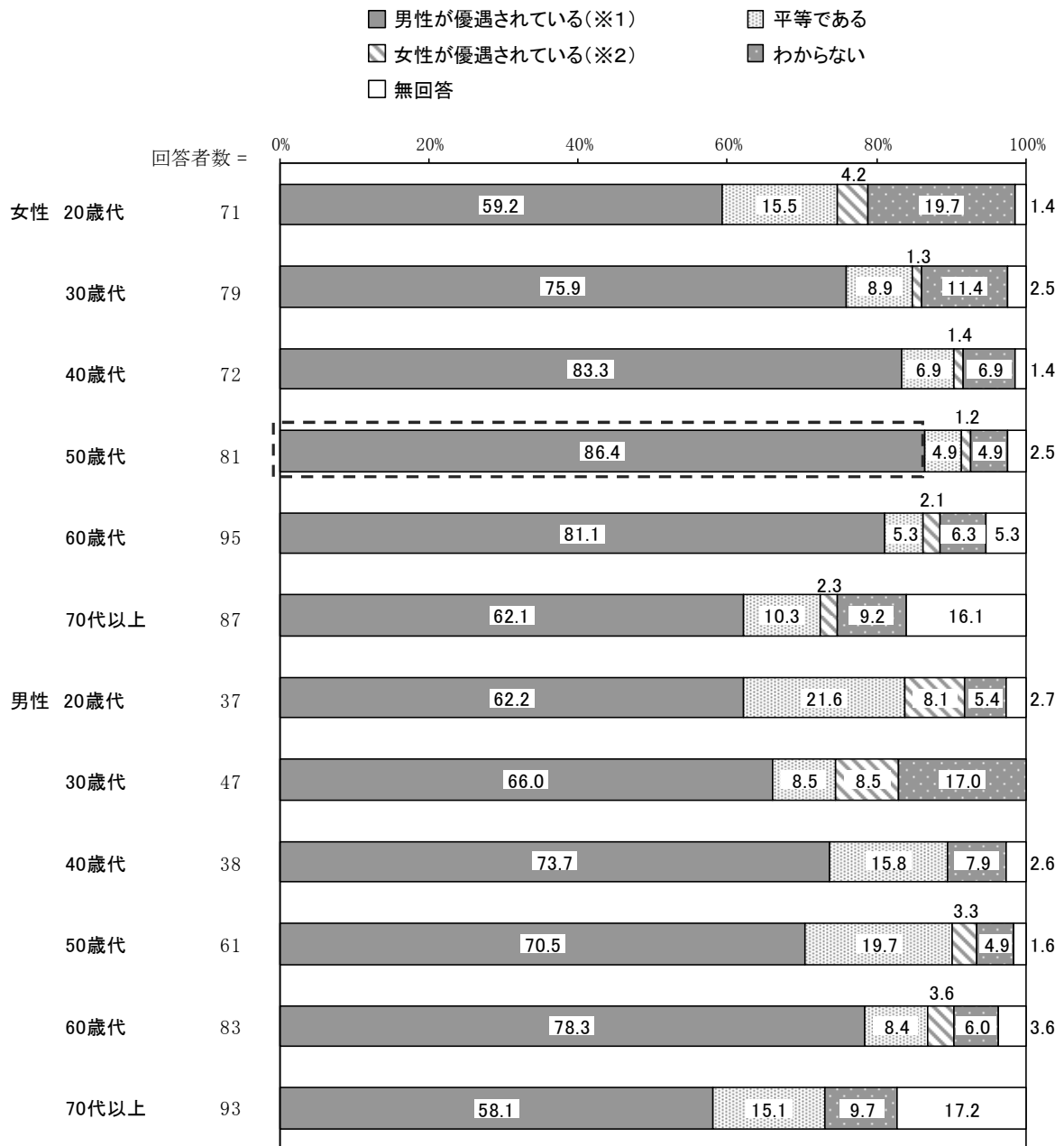
F 法律や制度
【性・年代別】



※1 : 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2 : 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

G しきたりや習慣

【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

国・愛知県との比較でみると、「平等である」の割合は、各項目で愛知県と同程度の数値となっているが、国より低い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成28年と比べて『A 家庭』『B 職場』『G しきたりや習慣』で“男性の方が優遇されている”の割合が増加している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

A 家庭

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない (H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (R01.9)	9.3	35.6	45.5	6.5	0.7	2.4	—	43.5	6.7
女性	11.7	39.9	39.1	5.8	0.7	2.8	—	50.3	5.4
男性	6.5	30.8	52.7	7.3	0.7	1.9	—	35.4	8.5
愛知県 (H29.11)	15.8	37.8	25.3	8.4	3.8	6.2	2.6	53.6	12.2
女性	20.8	41.4	19.8	7.4	2.7	5.9	2.1	62.2	10.1
男性	9.2	32.5	33.0	9.7	5.6	6.9	3.1	41.7	15.3
豊橋市 (R01.8)	10.5	43.7	25.9	8.1	1.5	6.4	3.9	54.2	9.6
女性	14.2	49.1	18.1	7.0	1.6	6.6	3.3	63.3	8.6
男性	5.3	36.3	36.8	9.4	1.4	6.4	4.4	41.6	10.8
豊橋市 (H28.8)	9.3	40.0	32.0	8.7	1.3	4.6	4.1	49.3	10.0
女性	12.8	45.9	24.3	6.8	1.4	4.5	4.1	58.7	8.2
男性	5.0	31.3	42.3	11.2	1.2	4.8	4.1	36.3	12.4
豊橋市 (H26.9)	9.4	41.0	31.3	7.3	1.5	5.9	3.5	50.4	8.8
女性	13.6	44.4	23.4	6.5	1.2	6.8	4.1	58.0	7.7
男性	4.5	36.7	40.6	8.3	1.9	5.0	2.9	41.2	10.2
豊橋市 (H23.6)	9.7	41.4	30.4	9.3	1.5	5.1	2.5	51.1	10.8
女性	13.1	47.3	23.2	8.6	1.2	4.3	2.3	60.4	9.8
男性	5.2	34.1	39.3	10.6	1.9	6.3	2.6	39.3	12.5
豊橋市 (H20.5)	14.5	42.8	27.9	7.8	0.9	4.6	1.6	57.2	8.7
女性	18.6	47.3	21.7	5.5	0.6	5.0	1.4	65.8	6.1
男性	9.7	36.9	36.1	10.9	1.2	4.0	1.2	46.6	12.1
豊橋市 (H17.5)	14.2	47.0	23.3	6.2	0.5	4.4	4.4	61.2	6.7
女性	20.0	48.4	18.1	4.9	0.5	4.2	3.9	68.4	5.4
男性	5.6	45.1	31.3	7.9	0.5	4.7	4.9	50.7	8.4
豊橋市 (H13.8)	22.2	38.4	21.6	5.5	1.8	7.7	2.7	60.6	7.3
女性	28.4	37.3	17.0	4.5	1.4	8.5	3.0	65.7	5.9
男性	15.2	40.6	28.2	5.7	2.3	6.2	1.8	55.8	8.0

B 職場

単位：％

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	13.6	39.8	30.7	4.5	0.5	10.9	—	56.6	4.7
女性	14.4	39.7	28.4	4.3	0.4	12.8	—	57.7	3.4
男性	12.8	40.0	33.3	4.8	0.5	8.7	—	55.3	6.2
愛知県 (H29.11)	25.0	40.1	17.2	6.6	2.9	5.2	2.9	65.1	9.5
女性	30.3	40.4	15.0	4.9	1.1	5.5	2.7	70.8	6.0
男性	17.9	39.4	20.1	9.2	5.4	4.9	3.1	57.3	14.6
豊橋市 (R01.8)	16.4	50.6	14.5	4.8	0.8	7.1	5.8	67.0	5.6
女性	19.8	51.1	13.0	2.5	0.2	8.0	5.4	70.9	2.7
男性	10.8	50.1	17.2	7.8	1.7	5.8	6.6	60.9	9.5
豊橋市 (H28.8)	15.9	44.0	19.2	6.4	1.2	7.2	6.2	59.9	7.6
女性	18.9	43.6	17.8	4.1	0.7	8.1	6.7	62.5	4.8
男性	12.0	44.5	21.1	9.6	1.9	6.0	5.0	56.5	11.5
豊橋市 (H26.9)	16.0	44.5	17.4	5.8	1.6	8.8	5.9	60.5	7.4
女性	20.2	43.3	13.8	3.8	0.7	11.9	6.3	63.5	4.5
男性	11.1	45.8	21.7	8.0	2.7	5.2	5.4	56.9	10.7
豊橋市 (H23.6)	14.6	50.1	17.7	6.5	0.4	7.2	3.5	64.7	6.9
女性	18.7	51.6	13.8	4.5	0.0	8.1	3.3	70.3	4.5
男性	9.1	48.6	22.9	9.1	0.9	6.3	3.2	57.7	10.0
豊橋市 (H20.5)	16.5	52.7	14.7	5.3	0.5	6.9	3.4	69.2	5.8
女性	19.5	52.0	12.0	3.4	0.5	9.4	3.3	71.5	3.9
男性	13.1	53.4	18.5	7.3	0.6	4.2	3.0	66.5	7.9
豊橋市 (H17.5)	15.9	50.3	13.5	5.1	0.6	7.0	7.7	66.2	5.7
女性	19.4	51.6	9.8	3.3	0.0	9.0	7.0	71.0	3.3
男性	11.2	48.6	19.2	7.7	1.2	4.2	7.9	59.8	8.9
豊橋市 (H13.8)	26.6	43.3	12.2	3.5	1.4	6.2	6.8	69.9	4.9
女性	32.3	43.0	9.1	2.2	1.4	6.3	5.7	75.3	3.6
男性	19.1	44.4	16.8	4.9	1.6	5.7	7.5	63.5	6.5

C 学校

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない (H13 調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (R01.9)	3.3	15.2	61.2	2.3	0.3	17.7	—	16.0	3.2
女性	3.8	16.0	59.8	2.0	0.4	18.1	—	18.7	2.9
男性	2.7	14.3	62.8	2.6	0.3	17.3	—	12.6	3.5
愛知県 (H29.11)	2.6	12.4	63.3	4.0	1.4	13.1	3.1	15.0	5.4
女性	3.3	12.8	63.8	3.1	0.4	14.1	2.6	16.1	3.4
男性	1.7	11.8	62.8	5.4	2.8	11.8	3.8	13.5	8.2
豊橋市 (R01.8)	2.2	15.8	53.9	3.0	0.7	17.4	7.1	18.0	3.7
女性	2.3	19.6	52.8	1.6	0.2	17.7	5.8	21.9	1.8
男性	1.7	10.5	55.1	4.7	1.4	17.7	8.9	12.2	6.1
豊橋市 (H28.8)	1.8	13.8	53.0	3.6	0.6	18.1	9.1	15.6	4.2
女性	2.0	16.9	52.3	1.8	0.2	16.6	10.3	18.9	2.0
男性	1.7	9.3	54.3	6.2	1.2	20.1	7.2	11.0	7.4
豊橋市 (H26.9)	1.6	13.0	52.6	2.8	1.0	19.8	9.2	14.6	3.8
女性	2.3	16.7	48.6	1.8	0.0	21.2	9.3	19.0	1.8
男性	0.8	8.5	57.7	4.1	2.1	18.1	8.7	9.3	6.2
豊橋市 (H23.6)	2.4	11.6	58.4	5.4	0.2	16.7	5.5	14.0	5.6
女性	2.8	14.1	57.4	4.0	0.0	16.6	5.1	16.9	4.0
男性	1.9	7.8	59.8	7.3	0.4	17.3	5.4	9.7	7.7
豊橋市 (H20.5)	2.2	13.6	59.1	4.6	0.6	16.0	3.9	15.8	5.2
女性	3.1	17.2	55.5	3.4	0.3	16.8	3.6	20.3	3.7
男性	1.2	9.3	64.3	6.0	1.0	14.7	3.6	10.5	6.9
豊橋市 (H17.5)	2.1	12.2	56.0	3.2	0.7	17.7	8.1	14.3	3.9
女性	2.4	14.8	52.9	2.1	0.3	20.2	7.2	17.3	2.4
男性	1.4	8.4	61.9	4.4	1.2	13.8	8.9	9.8	5.6
豊橋市 (H13.8)	3.7	15.9	54.8	3.2	1.5	13.2	7.7	19.6	4.7
女性	5.7	19.9	49.1	2.4	0.8	15.8	6.3	25.6	3.2
男性	1.3	10.9	62.3	4.7	1.8	10.6	8.5	12.2	6.5

D 地域活動の場

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	7.0	27.7	46.5	8.7	1.6	8.6	—	33.5	11.8
女性	7.7	30.3	45.7	7.0	1.1	8.1	—	36.7	11.1
男性	6.1	24.7	47.4	10.5	2.1	9.1	—	29.8	12.7
愛知県 (H29.11)	6.5	25.4	40.2	9.0	1.6	14.8	2.6	31.9	10.6
女性	8.0	29.9	35.4	7.5	0.9	16.3	2.1	37.8	8.4
男性	4.3	19.1	47.2	11.1	2.4	12.7	3.1	23.4	13.5
豊橋市 (R01.8)	5.1	32.4	35.0	6.3	1.0	14.6	5.5	37.5	7.3
女性	5.6	36.9	29.1	5.8	0.6	16.9	5.2	42.5	6.4
男性	4.4	25.8	42.9	7.2	1.7	12.2	5.8	30.2	8.9
豊橋市 (H28.8)	4.8	33.6	36.0	6.9	0.5	11.9	6.4	38.4	7.4
女性	6.7	37.7	30.5	4.7	0.5	12.8	7.2	44.4	5.2
男性	2.4	28.0	43.1	10.0	0.5	11.0	5.0	30.4	10.5
豊橋市 (H26.9)	5.2	30.1	34.0	7.7	0.9	16.2	5.9	35.3	8.6
女性	6.6	33.3	27.9	5.8	0.2	20.4	5.8	39.9	6.0
男性	3.5	26.4	41.0	10.1	1.7	11.7	5.6	29.9	11.8
豊橋市 (H23.6)	7.0	35.1	33.4	5.9	0.1	14.5	4.0	42.1	6.0
女性	8.5	39.5	25.9	5.0	0.2	17.1	4.0	48.0	5.2
男性	5.2	28.5	44.1	7.1	0.0	11.7	3.5	33.7	7.1
豊橋市 (H20.5)	5.5	28.2	39.3	9.0	0.9	13.1	3.9	33.8	9.9
女性	7.2	34.9	33.7	5.9	0.6	14.4	3.3	42.1	6.6
男性	3.6	20.6	46.2	12.7	1.0	11.9	4.0	24.2	13.7
豊橋市 (H17.5)	5.4	30.3	37.3	7.3	0.2	12.3	7.2	35.7	7.5
女性	6.4	33.9	32.6	6.4	0.0	14.0	6.8	40.2	6.4
男性	4.0	24.8	45.3	8.9	0.5	9.6	7.0	28.7	9.3
豊橋市 (H13.8)	10.5	33.9	30.1	7.3	1.2	12.1	5.0	44.4	8.5
女性	13.2	36.9	24.3	4.3	1.0	15.2	5.1	50.1	5.3
男性	7.5	30.5	37.2	10.9	1.3	8.5	4.1	38.0	12.2

E 政治の場

単位：％

	男性の方が非常に優遇されている (A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている (B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている (C)	女性の方が非常に優遇されている (D)	わからない	無回答	男性の方が優遇されている (A+B)	女性の方が優遇されている (C+D)
国 (R01.9)	35.0	44.0	14.4	1.1	0.1	5.4	—	79.0	1.2
女性	37.9	44.5	11.0	0.8	0.1	5.8	—	82.4	0.9
男性	31.7	43.5	18.3	1.4	0.2	5.0	—	75.2	1.5
愛知県 (H29.11)	40.8	37.5	10.3	1.7	0.4	6.7	2.6	78.3	2.1
女性	47.5	35.5	7.4	0.9	0.2	6.5	2.0	83.0	1.1
男性	31.3	40.3	14.4	3.0	0.5	7.3	3.3	71.5	3.5
豊橋市 (R01.8)	36.2	40.4	8.8	0.6	0.3	9.0	4.7	76.6	0.9
女性	43.1	38.4	4.9	0.2	—	9.1	4.3	81.5	0.2
男性	26.6	43.8	13.9	1.1	0.8	8.9	5.0	70.4	1.9

F 法律や制度

単位：％

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	10.3	36.6	39.7	4.0	0.4	9.0	—	45.3	5.7
女性	12.4	39.7	33.3	3.1	0.2	11.2	—	51.6	4.5
男性	7.8	33.2	46.8	5.1	0.6	6.5	—	37.8	7.0
豊橋市 (R01.8)	12.2	35.2	28.4	4.6	0.9	11.9	6.8	47.4	5.5
女性	16.3	39.4	22.5	2.3	0.2	13.2	6.2	55.7	2.5
男性	6.4	30.2	36.6	8.0	1.9	9.4	7.5	36.6	9.9
豊橋市 (H28.8)	7.8	35.3	32.0	5.7	1.4	11.9	6.0	43.1	7.1
女性	10.6	38.7	25.8	4.0	0.2	14.4	6.3	49.3	4.2
男性	4.1	30.9	39.7	8.1	3.1	8.9	5.3	35.0	11.2
豊橋市 (H26.9)	7.3	31.9	33.5	7.1	1.4	13.2	5.6	39.2	8.5
女性	10.0	35.8	25.4	5.6	0.2	17.2	5.8	45.8	5.8
男性	4.1	27.4	42.7	8.9	2.9	8.7	5.2	31.5	11.8
豊橋市 (H23.6)	7.3	31.5	32.7	8.8	0.9	14.7	4.1	38.8	9.7
女性	10.3	36.0	24.7	6.3	0.3	18.4	4.0	46.3	6.6
男性	3.0	25.7	43.2	12.3	1.7	10.4	3.7	28.7	14.0
豊橋市 (H20.5)	6.7	32.5	34.5	7.9	0.9	13.9	3.6	39.2	8.8
女性	9.5	40.6	25.4	3.9	0.3	17.0	3.3	50.1	4.2
男性	3.4	23.4	45.4	12.9	1.4	10.1	3.4	26.8	14.3
豊橋市 (H17.5)	6.5	35.8	30.2	7.7	0.8	12.4	6.6	42.3	8.4
女性	9.4	42.3	21.8	5.7	0.3	14.5	5.9	51.8	6.0
男性	2.6	26.4	42.5	10.7	1.4	9.3	7.0	29.0	12.1
豊橋市 (H13.8)	13.1	34.6	29.8	5.0	1.4	11.4	4.8	47.7	6.4
女性	18.7	39.6	18.3	3.6	0.6	14.4	4.7	58.3	4.2
男性	6.2	29.2	44.4	7.0	2.3	7.0	3.9	35.4	9.3

G しきたりや習慣

単位：%

	男性の方が非常に優遇されている(A)	どちらかといえば男性の方が優遇されている(B)	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている(C)	女性の方が非常に優遇されている(D)	わからない(H13調査はどちらともいえない)	無回答	男性の方が優遇されている(A+B)	女性の方が優遇されている(C+D)
国 (R01.9)	19.1	51.0	22.6	2.1	0.2	5.0	—	70.4	3.2
女性	20.3	51.2	20.5	1.9	0.1	6.0	—	71.9	2.9
男性	17.6	50.9	25.0	2.3	0.3	4.0	—	68.6	3.5
愛知県 (H29.11)	30.2	44.7	12.1	3.1	0.7	6.7	2.4	74.9	3.8
女性	36.1	43.6	8.7	2.2	0.2	7.0	2.1	79.7	2.5
男性	22.2	45.7	17.2	4.3	1.2	6.6	2.8	67.9	5.6
豊橋市 (R01.8)	26.5	45.2	10.6	2.2	0.3	9.4	5.7	71.7	2.5
女性	32.4	42.5	8.5	1.9	0.2	9.5	5.2	74.9	2.1
男性	17.7	50.1	14.1	2.8	0.6	8.3	6.4	67.8	3.4
豊橋市 (H28.8)	17.7	50.1	15.3	3.3	0.5	7.8	5.4	67.8	3.8
女性	22.3	49.2	12.3	2.5	0.4	7.9	5.4	71.5	2.9
男性	11.5	51.7	18.9	4.5	0.7	7.7	5.0	63.2	5.2
豊橋市 (H26.9)	18.6	49.7	13.8	2.7	0.7	9.4	5.1	68.3	3.4
女性	23.2	47.6	10.3	1.8	0.2	10.8	6.1	70.8	2.0
男性	13.4	51.5	18.3	3.7	1.4	8.0	3.9	64.9	5.1
豊橋市 (H23.6)	18.8	50.0	14.4	2.3	0.4	10.7	3.4	68.8	2.7
女性	24.4	49.6	10.3	1.3	0.0	11.1	3.3	74.0	1.3
男性	11.0	51.0	20.1	3.7	0.9	10.4	3.0	62.0	4.6
豊橋市 (H20.5)	21.0	49.9	14.5	2.7	0.7	8.3	2.8	70.9	3.4
女性	26.2	50.2	9.7	1.6	0.5	9.5	2.3	76.4	2.0
男性	14.9	50.2	20.4	4.2	0.8	6.7	2.8	65.1	5.0
豊橋市 (H17.5)	22.6	49.2	12.0	2.6	0.0	7.8	5.9	71.8	2.6
女性	28.8	47.1	9.4	1.5	0.0	8.0	5.2	75.9	1.5
男性	13.6	53.3	15.9	4.0	0.0	7.2	6.1	66.8	4.0
豊橋市 (H13.8)	39.0	41.2	7.7	1.6	0.6	6.7	3.1	80.2	2.2
女性	46.7	35.5	5.3	1.2	0.2	8.3	2.8	82.2	1.4
男性	28.9	49.6	10.6	2.1	1.0	4.4	3.4	78.5	3.1

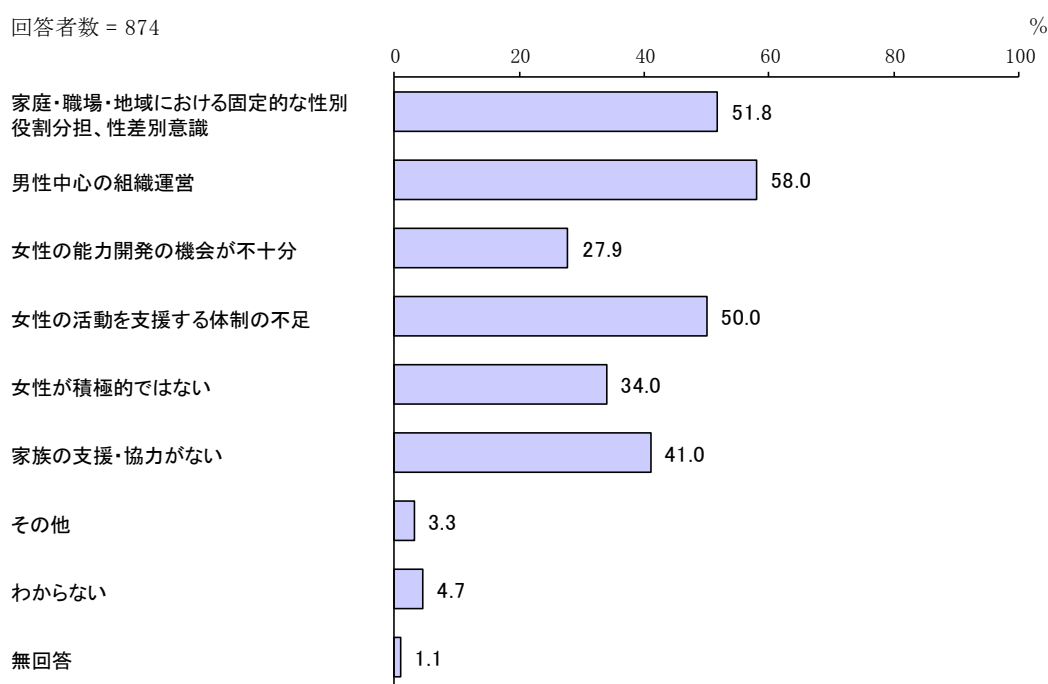
3 男女の意思決定について

3-1 政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い理由

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「男性中心の組織運営」の割合が58.0%と最も高く、次いで「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が51.8%、「女性の活動を支援する体制の不足」の割合が50.0%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」「家族の支援・協力が無い」の割合が高くなっている。



【性別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援する体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が無い	その他	わからない	無回答
女性	485	59.2	58.8	29.3	50.3	35.9	48.5	3.5	3.5	1.0
男性	361	41.0	57.6	26.0	49.0	32.7	30.2	2.8	6.6	1.4

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 歳代で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が、女性 30 歳代、男性 50 歳代、60 歳代で「男性中心の組織運営」の割合が高く、約 7 割となっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	家庭・職場・地域における 固定的な性別役割分担、 性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が 不十分	女性の活動を支援する 体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が ない	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	71	59.2	60.6	19.7	43.7	36.6	39.4	2.8	5.6	—
30 歳代	79	60.8	67.1	25.3	45.6	38.0	50.6	—	3.8	1.3
40 歳代	72	63.9	52.8	29.2	54.2	27.8	51.4	5.6	1.4	—
50 歳代	81	67.9	69.1	37.0	60.5	32.1	55.6	4.9	1.2	—
60 歳代	95	62.1	63.2	29.5	50.5	37.9	49.5	4.2	2.1	—
70 代以上	87	42.5	40.2	33.3	47.1	41.4	43.7	3.4	6.9	4.6
男性 20 歳代	37	48.6	59.5	18.9	40.5	29.7	24.3	2.7	10.8	—
30 歳代	47	51.1	53.2	17.0	36.2	27.7	29.8	—	8.5	—
40 歳代	38	42.1	47.4	23.7	39.5	36.8	23.7	5.3	5.3	—
50 歳代	61	37.7	68.9	24.6	45.9	32.8	39.3	6.6	1.6	1.6
60 歳代	83	38.6	67.5	27.7	59.0	37.3	32.5	—	6.0	—
70 代以上	93	37.6	48.4	34.4	57.0	30.1	28.0	3.2	7.5	4.3

豊橋市の平成 28 年の調査との比較でみると、女性で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」「家族の支援・協力が無い」が増加している。

【経年比較】

単位：％

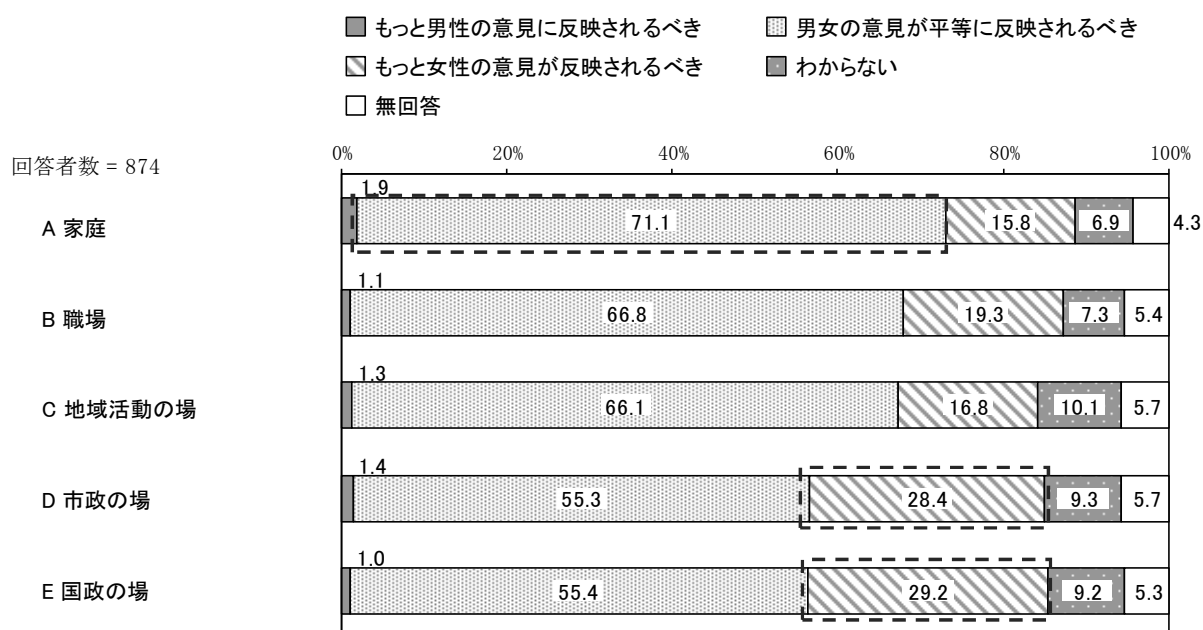
	家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識	男性中心の組織運営	女性の能力開発の機会が不十分	女性の活動を支援する体制の不足	女性が積極的ではない	家族の支援・協力が無い	その他	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	51.8	58.0	27.9	50.0	34.0	41.0	3.3	4.7	1.1
女性	59.2	58.8	29.3	50.3	35.9	48.5	3.5	3.5	1.0
男性	41.0	57.6	26.0	49.0	32.7	30.2	2.8	6.6	1.4
豊橋市（H28.8）	44.1	55.7	30.7	48.6	36.0	35.8	2.8	5.4	0.5
女性	48.8	54.1	33.2	51.5	34.8	46.1	2.9	4.9	0.4
男性	38.8	57.9	27.3	44.7	37.6	22.5	2.9	6.0	0.5
豊橋市（H26.9）	45.2	52.8	25.1	45.9	31.1	31.8	3.4	5.9	2.9
女性	48.3	51.1	26.2	45.3	32.3	36.5	2.7	5.6	4.0
男性	41.6	54.6	23.9	47.0	28.9	26.2	4.1	6.2	1.7

3-2 各場面の意見の反映度

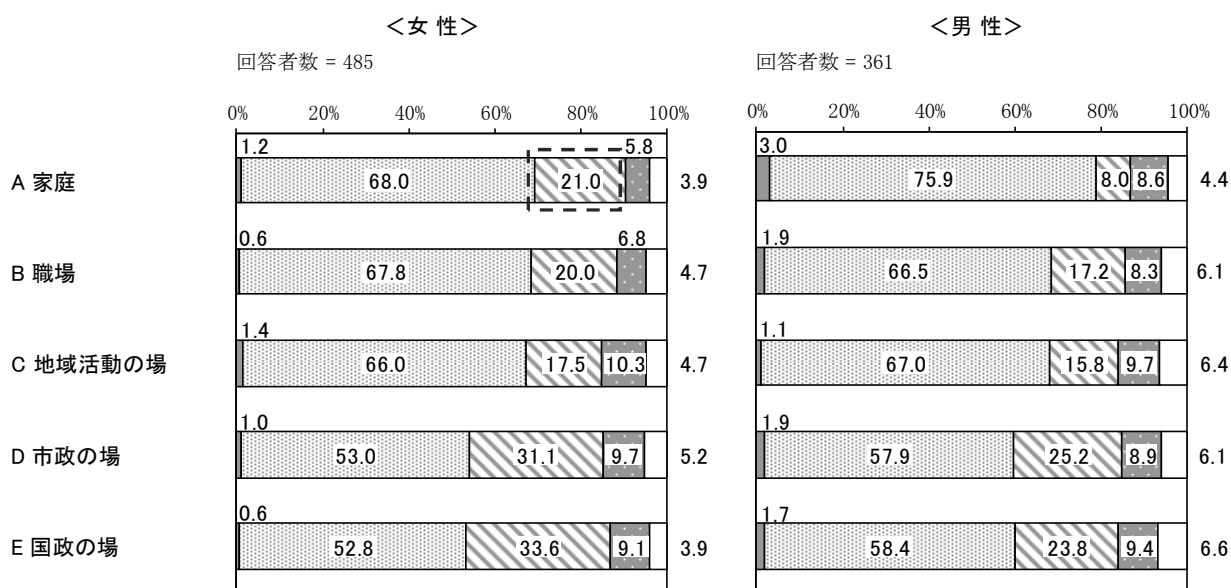
問4. 次の各場面における男女の意見の反映のされ方について、どのように思いますか。
A～Eの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『A 家庭』で「男女の意見が平等に反映されるべき」の割合が高く、約7割となっている。一方、『D 市政の場』、『E 国政の場』で「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が高く、約3割となっている。

性別でみると、すべての項目で、男性に比べ女性で「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が高くなっており、特に、『A 家庭』で男女の差が大きくなっている。



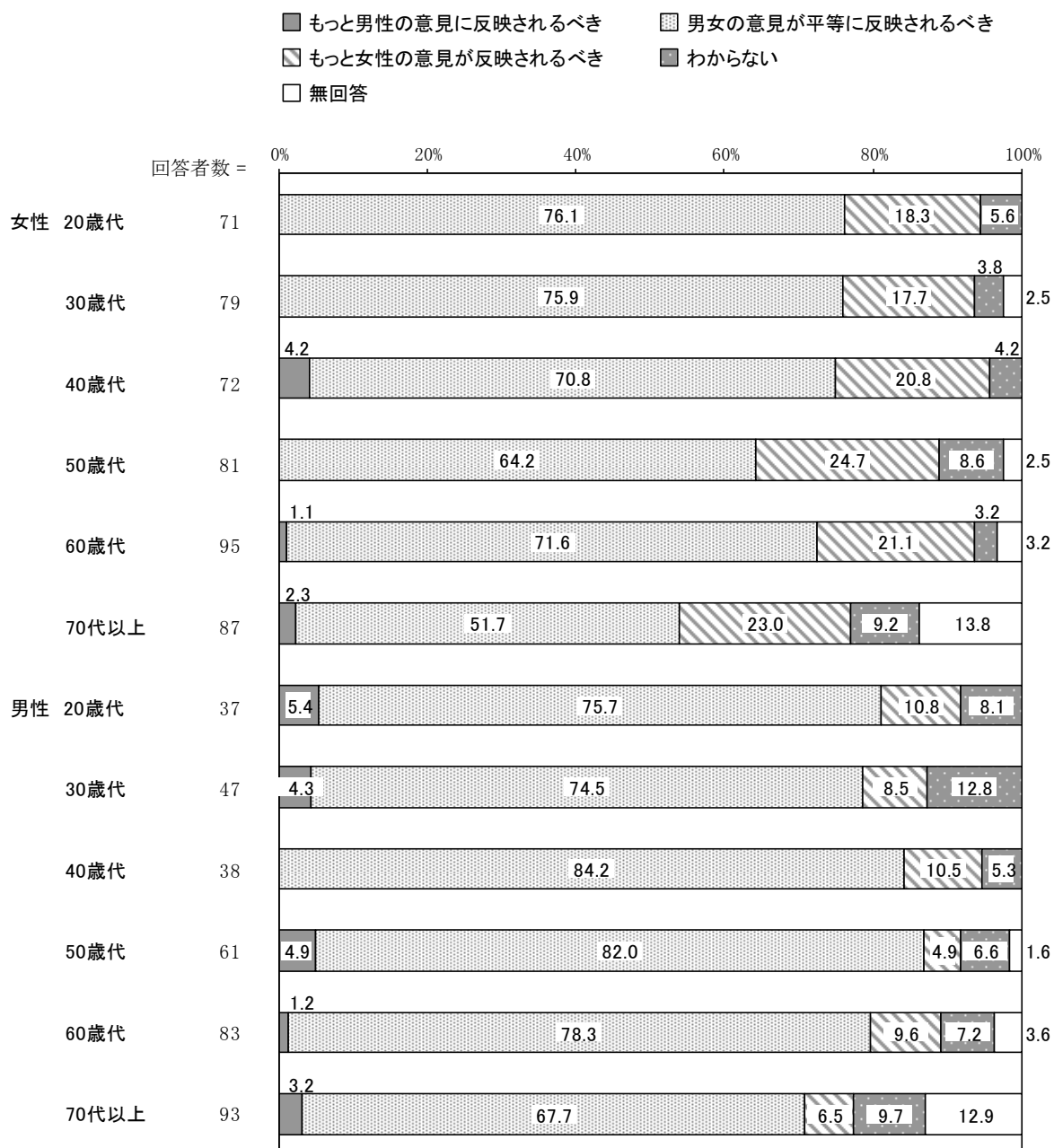
【性別】



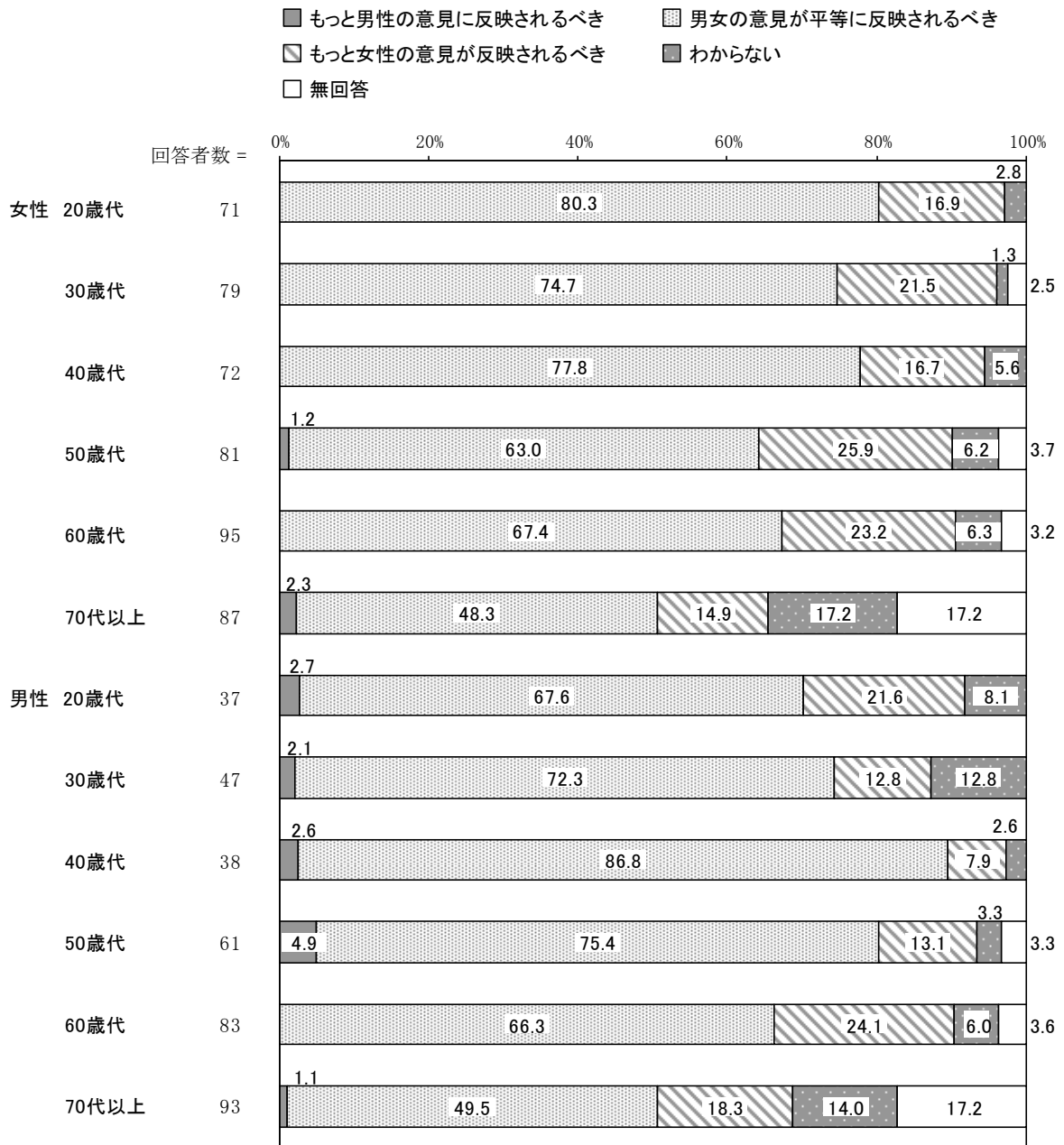
性・年代別でみると、『D 市政の場』『E 国政の場』における女性 30 歳代から 50 歳代で「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

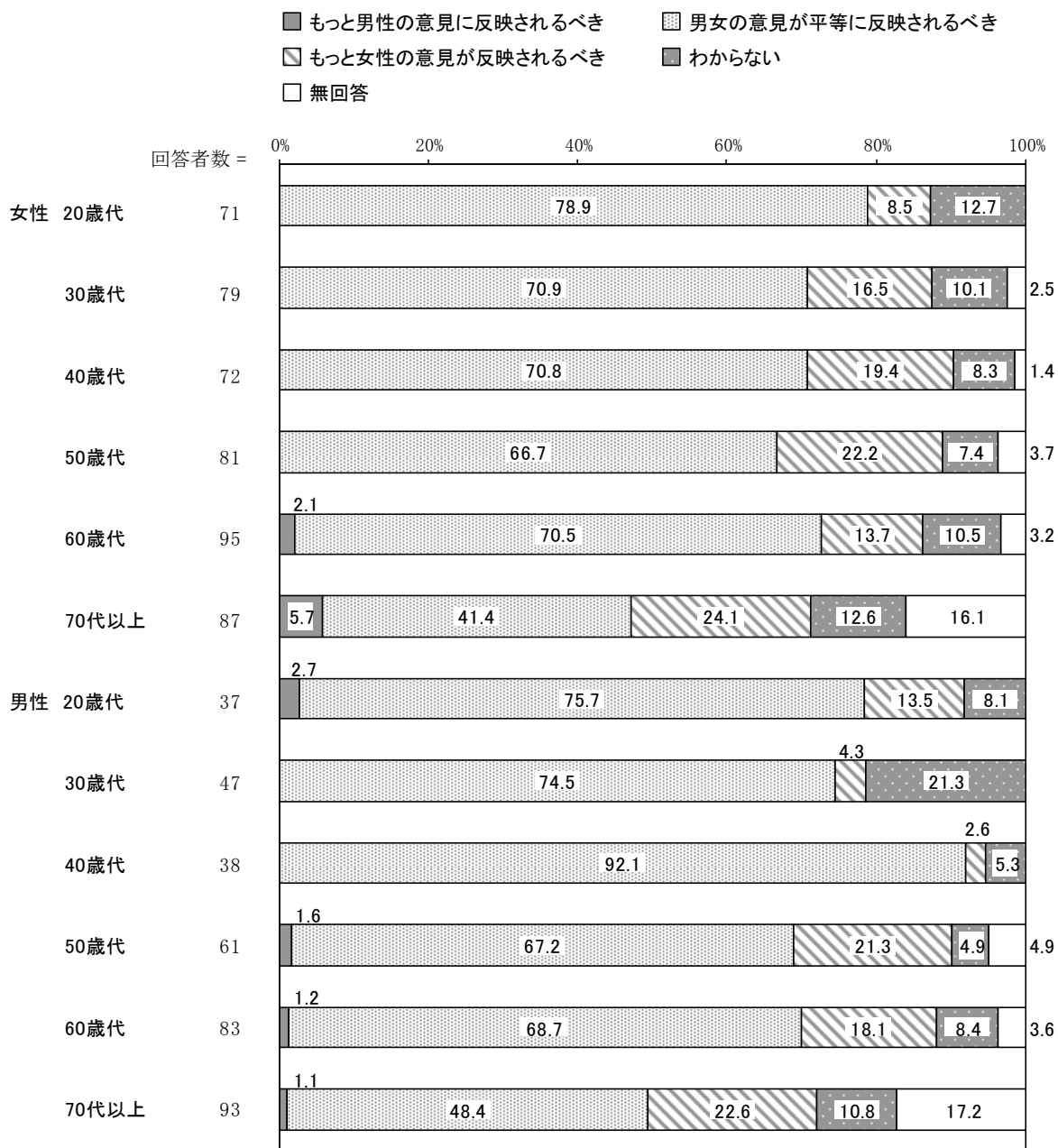
A 家庭



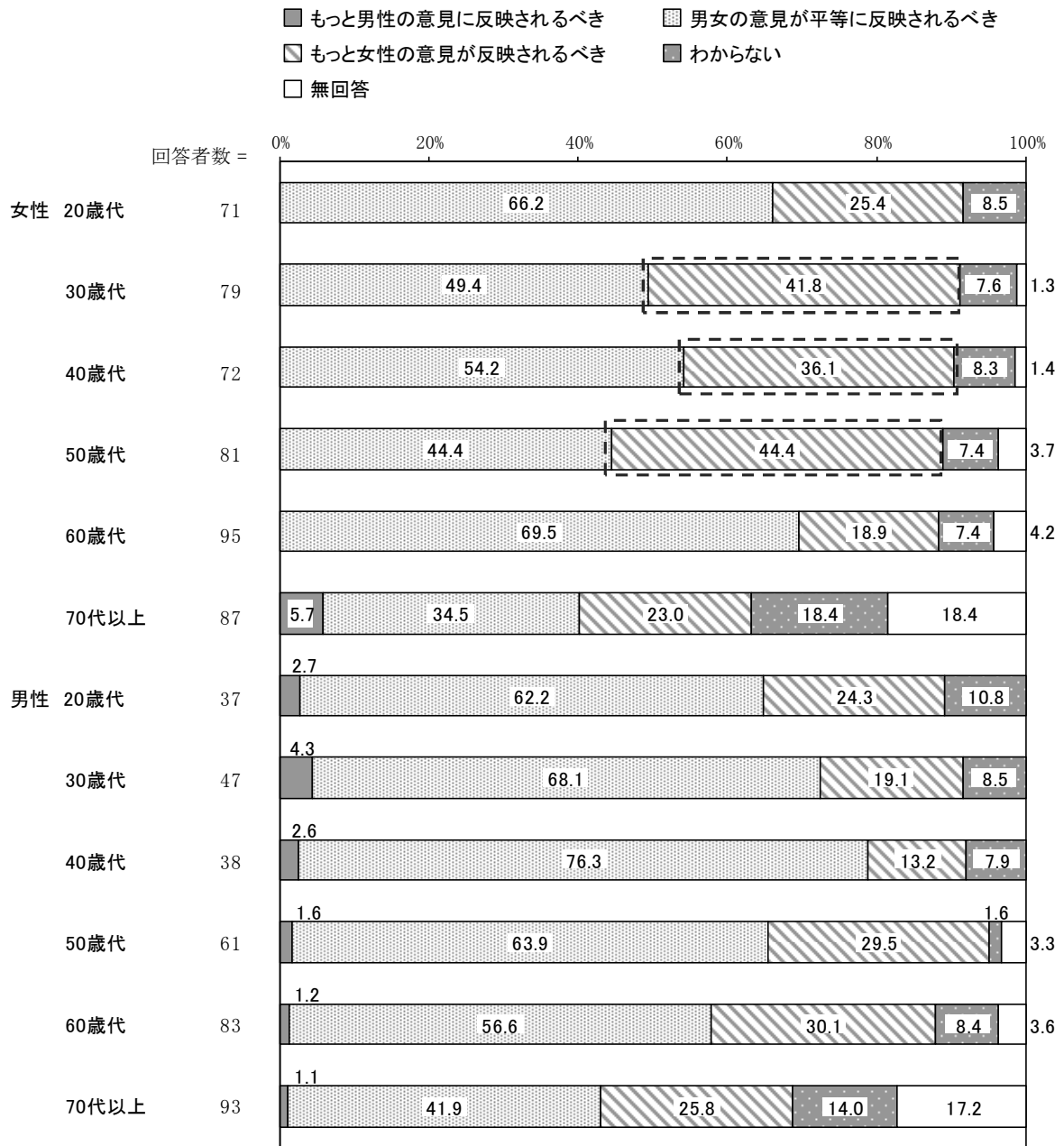
B 職場



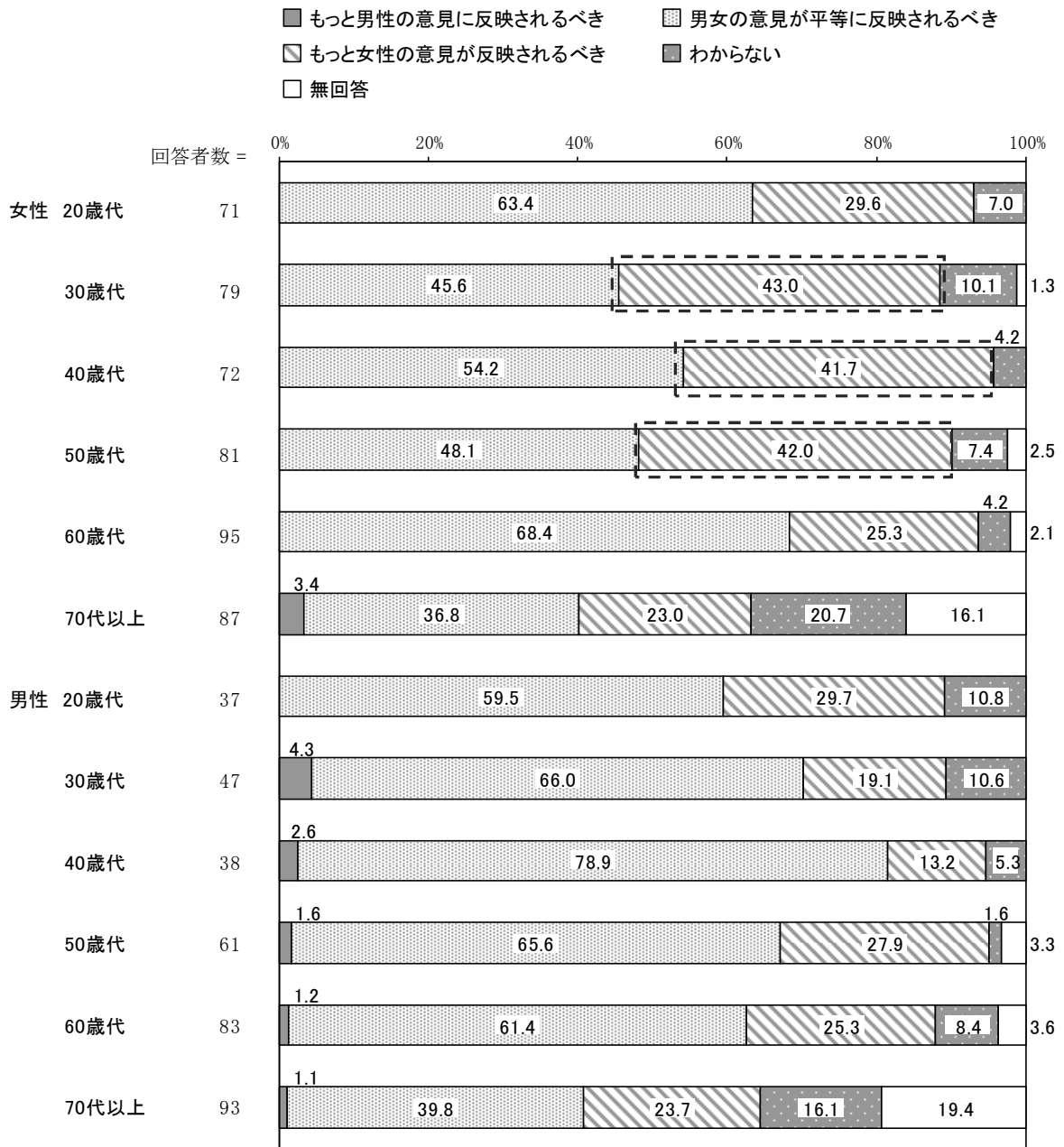
C 地域活動の場



D 市政の場



E 国政の場



豊橋市の平成 28 年の調査との比較でみると、『D 市政の場』『E 国政の場』において「もっと女性の意見が反映されるべき」の割合が増加している。

【経年比較】

A 家庭

単位：％

	もっと男性の意見が 反映されるべき	男女の意見が平等に 反映されるべき	もっと女性の意見が 反映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	1.9	71.1	15.8	6.9	4.3
女性	1.2	68.0	21.0	5.8	3.9
男性	3.0	75.9	8.0	8.6	4.4
豊橋市（H28.8）	3.7	71.6	13.9	6.6	4.2
女性	2.5	67.9	19.5	5.8	4.3
男性	5.5	76.3	6.7	7.4	4.1
豊橋市（H26.9）	6.0	51.0	27.2	11.6	4.1
女性	3.3	42.5	35.8	13.4	5.0
男性	9.3	60.6	17.3	9.7	3.1

B 職場

単位：％

	もっと男性の意見が 反映されるべき	男女の意見が平等に 反映されるべき	もっと女性の意見が 反映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	1.1	66.8	19.3	7.3	5.4
女性	0.6	67.8	20.0	6.8	4.7
男性	1.9	66.5	17.2	8.3	6.1
豊橋市（H28.8）	2.8	64.9	17.8	8.5	6.0
女性	1.8	63.6	19.8	9.0	5.8
男性	4.3	67.0	15.3	7.7	5.7
豊橋市（H26.9）	4.7	31.7	39.0	18.8	5.8
女性	3.3	26.7	41.1	23.1	5.8
男性	6.4	37.7	36.1	14.0	5.8

C 地域活動の場

単位：％

	もっと男性の意見が 反映されるべき	男女の意見が平等に 反映されるべき	もっと女性の意見が 反映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	1.3	66.1	16.8	10.1	5.7
女性	1.4	66.0	17.5	10.3	4.7
男性	1.1	67.0	15.8	9.7	6.4
豊橋市（H28.8）	1.8	67.8	15.2	9.7	5.5
女性	1.8	64.9	16.8	10.6	5.9
男性	1.9	72.0	12.9	8.6	4.5
豊橋市（H26.9）	3.4	39.9	28.5	23.0	5.2
女性	2.5	33.5	30.3	28.0	5.6
男性	4.5	47.4	26.2	17.5	4.5

D 市政の場

単位：％

	もっと男性の意見が 反映されるべき	男女の意見が平等に 反映されるべき	もっと女性の意見が 反映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	1.4	55.3	28.4	9.3	5.7
女性	1.0	53.0	31.1	9.7	5.2
男性	1.9	57.9	25.2	8.9	6.1
豊橋市（H28.8）	1.7	63.2	20.1	9.9	5.1
女性	1.4	60.5	21.8	10.5	5.8
男性	2.2	66.3	17.7	9.6	4.3
豊橋市（H26.9）	3.1	19.3	45.0	27.7	4.9
女性	3.3	14.8	46.3	30.5	5.1
男性	2.9	25.0	43.1	24.5	4.5

E 国政の場

単位：％

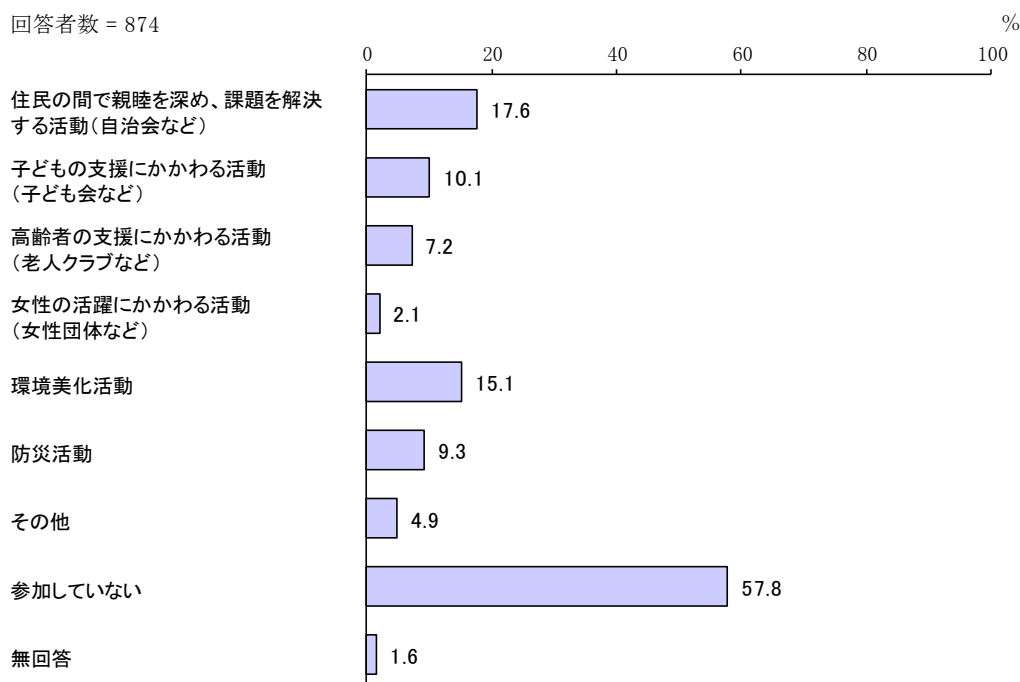
	もっと男性の意見が 映されるべき	男女の意見が平等に反 映されるべき	もっと女性の意見が反 映されるべき	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	1.0	55.4	29.2	9.2	5.3
女性	0.6	52.8	33.6	9.1	3.9
男性	1.7	58.4	23.8	9.4	6.6
豊橋市（H28.8）	1.9	60.1	22.5	9.8	5.7
女性	1.3	58.2	24.5	9.7	6.3
男性	2.9	62.2	20.1	10.3	4.5
豊橋市（H26.9）	3.6	17.7	48.9	25.3	4.5
女性	3.2	13.3	49.6	29.0	5.0
男性	4.3	23.1	47.8	21.0	3.9

4 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

4-1 参加している地域活動

問5. 現在、地域のどのような活動に参加していますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「参加していない」の割合が57.8%と最も高く、次いで「住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）」の割合が17.6%、「環境美化活動」の割合が15.1%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「環境美化活動」「防災活動」の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 歳代で「住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）」「子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）」の割合が、男性 70 代以上で「環境美化活動」「防災活動」の割合が高くなっている。また、男女とも 20 歳代で「参加していない」の割合が高く、8 割を超えている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数（件）	住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）	子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）	高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）	女性の活躍にかかわる活動（女性団体など）	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答
女性	485	15.9	<u>12.4</u>	6.6	3.1	12.8	7.0	4.1	59.8	1.9
男性	361	19.1	6.6	8.3	0.8	<u>18.0</u>	<u>12.5</u>	6.1	56.0	1.4

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数（件）	住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）	子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）	高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）	女性の活躍にかかわる活動（女性団体など）	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答
女性 20 歳代	71	—	2.8	—	1.4	2.8	1.4	1.4	<u>90.1</u>	—
30 歳代	79	16.5	24.1	1.3	—	13.9	3.8	1.3	64.6	—
40 歳代	72	<u>29.2</u>	<u>36.1</u>	1.4	1.4	11.1	11.1	1.4	41.7	1.4
50 歳代	81	14.8	6.2	1.2	2.5	12.3	7.4	11.1	60.5	—
60 歳代	95	18.9	3.2	9.5	5.3	18.9	9.5	5.3	55.8	1.1
70 代以上	87	14.9	5.7	23.0	6.9	14.9	8.0	3.4	49.4	8.0
男性 20 歳代	37	5.4	2.7	—	—	2.7	8.1	—	<u>83.8</u>	—
30 歳代	47	21.3	8.5	—	2.1	14.9	8.5	4.3	63.8	—
40 歳代	38	18.4	10.5	2.6	—	15.8	2.6	10.5	50.0	—
50 歳代	61	19.7	8.2	1.6	1.6	24.6	16.4	4.9	52.5	—
60 歳代	83	20.5	3.6	4.8	1.2	14.5	12.0	4.8	61.4	—
70 代以上	93	22.6	7.5	25.8	—	<u>25.8</u>	<u>18.3</u>	8.6	40.9	5.4

豊橋市の平成 28 年の調査との比較でみると、大きな差異はみられない。

【経年比較】

単位：%

	住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）	子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）	高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）	女性の支援にかかわる活動（女性団体など）	環境美化活動	防災活動	その他	参加していない	無回答
豊橋市（R01.8）	17.6	10.1	7.2	2.1	15.1	9.3	4.9	57.8	1.6
女性	15.9	12.4	6.6	3.1	12.8	7.0	4.1	59.8	1.9
男性	19.1	6.6	8.3	0.8	18.0	12.5	6.1	56.0	1.4
豊橋市（H28.8）	20.4	10.0	7.3	3.0	15.1	10.2	5.4	55.4	1.6
女性	17.7	11.4	7.4	5.2	13.2	8.1	4.5	57.1	2.0
男性	23.0	7.9	6.9	0.2	17.0	12.9	6.2	53.8	1.0
豊橋市（H26.9）	17.5	10.0	7.8	2.0	14.1	8.8	4.3	56.3	3.5
女性	14.9	11.1	7.5	2.7	11.8	7.8	3.2	57.9	4.5
男性	20.6	8.9	8.3	1.2	16.9	9.9	5.8	54.6	2.1

4-2 平日・休日の活動時間

問6. 次のA～Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。
平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。

平日では、男女とも『A 仕事（収入の得られる労働）』の時間が最も長くなっている。

休日では、男性では『G 趣味・レジャーなどの余暇活動』が最も長いのにに対し、女性では『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』が最も長くなっている。

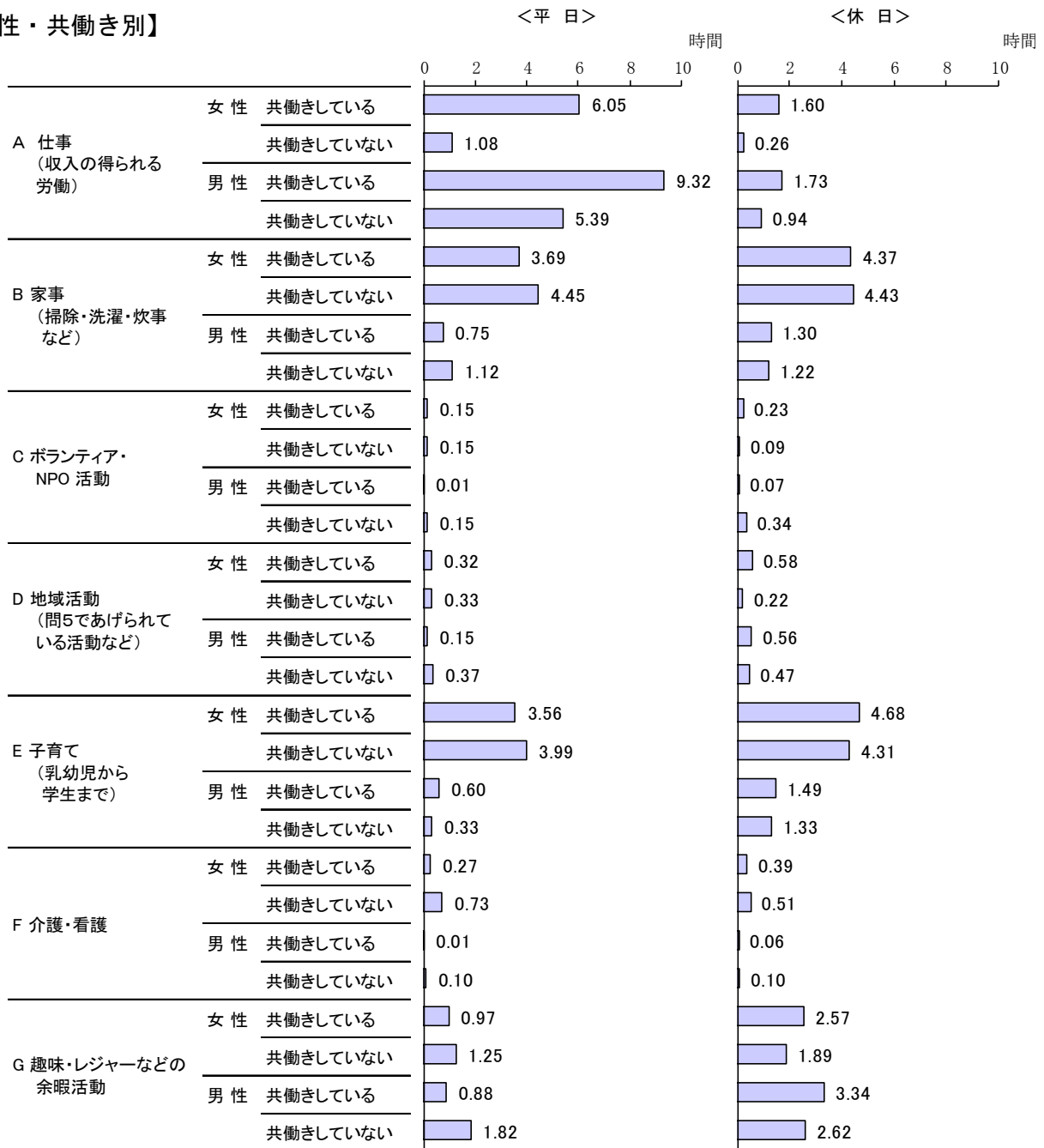
単位：時間

	平日			休日		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性
A 仕事（収入の得られる労働）	5.80	4.90	7.04	1.20	1.23	1.18
B 家事（掃除・洗濯・炊事など）	2.47	3.39	1.00	2.83	3.82	1.32
C ボランティア・NPO活動	0.12	0.15	0.06	0.16	0.17	0.17
D 地域活動（問5で挙げられている活動など）	0.25	0.29	0.20	0.39	0.37	0.42
E 子育て（乳幼児から学生まで）	1.86	2.85	0.33	2.48	3.43	1.00
F 介護・看護	0.28	0.41	0.08	0.29	0.41	0.12
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	1.31	1.20	1.50	3.16	2.91	3.47

性・共働き別でみると、『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』については、女性の共働きしている人は平日 3.69 時間、休日 4.37 時間で休日の方が長い。男性の共働きしている人は平日 0.75 時間、休日 1.30 時間で女性に比べ短い。また、女性の共働きしていない人では、平日 4.45 時間、休日 4.43 時間でほとんど差がない。

『E 子育て（乳幼児から学生まで）』については、男性の共働きしている人は平日 0.60 時間、休日 1.49 時間で、共働きしていない人の平日 0.33 時間、休日 1.33 時間と比べ、長い。

【性・共働き別】



※ 女性 共働きしている 回答者数 = 188 : 共働きしていない 回答者数 = 98
 ※ 男性 共働きしている 回答者数 = 114 : 共働きしていない 回答者数 = 111

豊橋市の平成28年調査との比較でみると、平日では『E 子育て（乳幼児から学生まで）』の時間が長くなっている。休日では『E 子育て（乳幼児から学生まで）』の時間が長くなり、『F 介護・看護』の時間が短くなっている。

【経年比較】

単位：時間

平日	A 仕事 (収入の得られる労働)	B 家事 (掃除・洗濯・炊事等)	C ボランティア・NPO活動	D 地域活動 (問5で挙げられている活動など)	E 子育て (乳幼児から学生まで)	F 介護・看護	G 趣味・レジャーなどの 余暇活動
豊橋市 (R01.8)	5.80	2.47	0.12	0.25	1.86	0.28	1.31
女性	4.90	3.39	0.15	0.29	2.85	0.41	1.20
男性	7.04	1.00	0.06	0.20	0.33	0.08	1.50
豊橋市 (H28.8)	5.56	2.54	0.12	0.18	1.32	0.36	1.27
女性	4.56	3.78	0.14	0.21	2.04	0.52	1.24
男性	6.83	0.87	0.04	0.13	0.41	0.17	1.31
豊橋市 (H26.9)	5.35	2.34	0.06	0.17	1.70	0.31	1.26
女性	4.34	3.67	0.07	0.17	2.87	0.40	1.23
男性	6.45	0.74	0.05	0.17	0.39	0.17	1.31
休日	A 仕事 (収入の得られる労働)	B 家事 (掃除・洗濯・炊事等)	C ボランティア・NPO活動	D 地域活動 (問5で挙げられている活動など)	E 子育て (乳幼児から学生まで)	F 介護・看護	G 趣味・レジャーなどの 余暇活動
豊橋市 (R01.8)	1.20	2.83	0.16	0.39	2.48	0.29	3.16
女性	1.23	3.82	0.17	0.37	3.43	0.41	2.91
男性	1.18	1.32	0.17	0.42	1.00	0.12	3.47
豊橋市 (H28.8)	1.19	2.74	0.09	0.32	1.89	0.42	2.76
女性	1.18	3.87	0.09	0.30	2.58	0.54	2.37
男性	1.18	1.27	0.09	0.32	1.04	0.28	3.25
豊橋市 (H26.9)	1.06	2.66	0.05	0.27	2.31	0.35	2.81
女性	0.96	3.99	0.04	0.22	3.49	0.49	2.55
男性	1.20	1.06	0.06	0.34	1.00	0.14	3.06

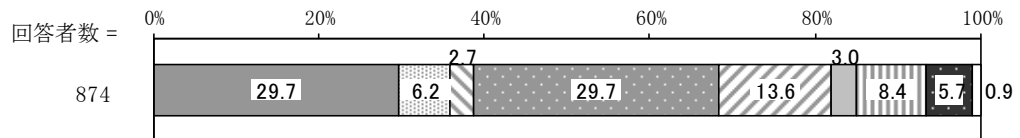
4-3 望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係

問7. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

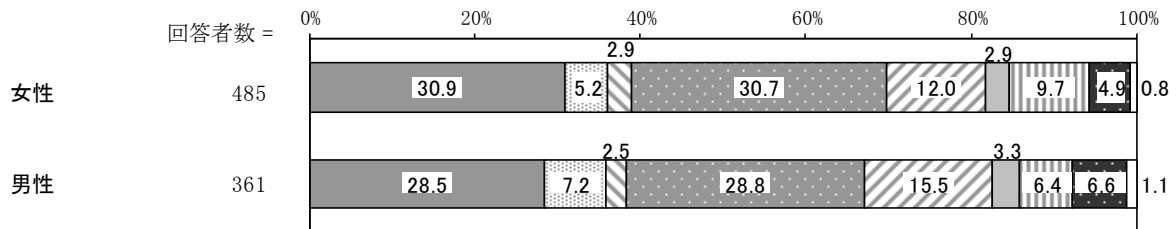
『家庭』を優先したい、「『家庭』と『仕事』を優先したい」の割合が29.7%と最も高く、次いで、「『家庭』と『地域・個人の活動』を優先したい」の割合が13.6%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

- 「家庭」を優先したい
- 「仕事」を優先したい
- 「地域・個人の活動」を優先したい
- 「家庭」と「仕事」を優先したい
- 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先したい
- 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先したい
- 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先したい
- わからない
- 無回答



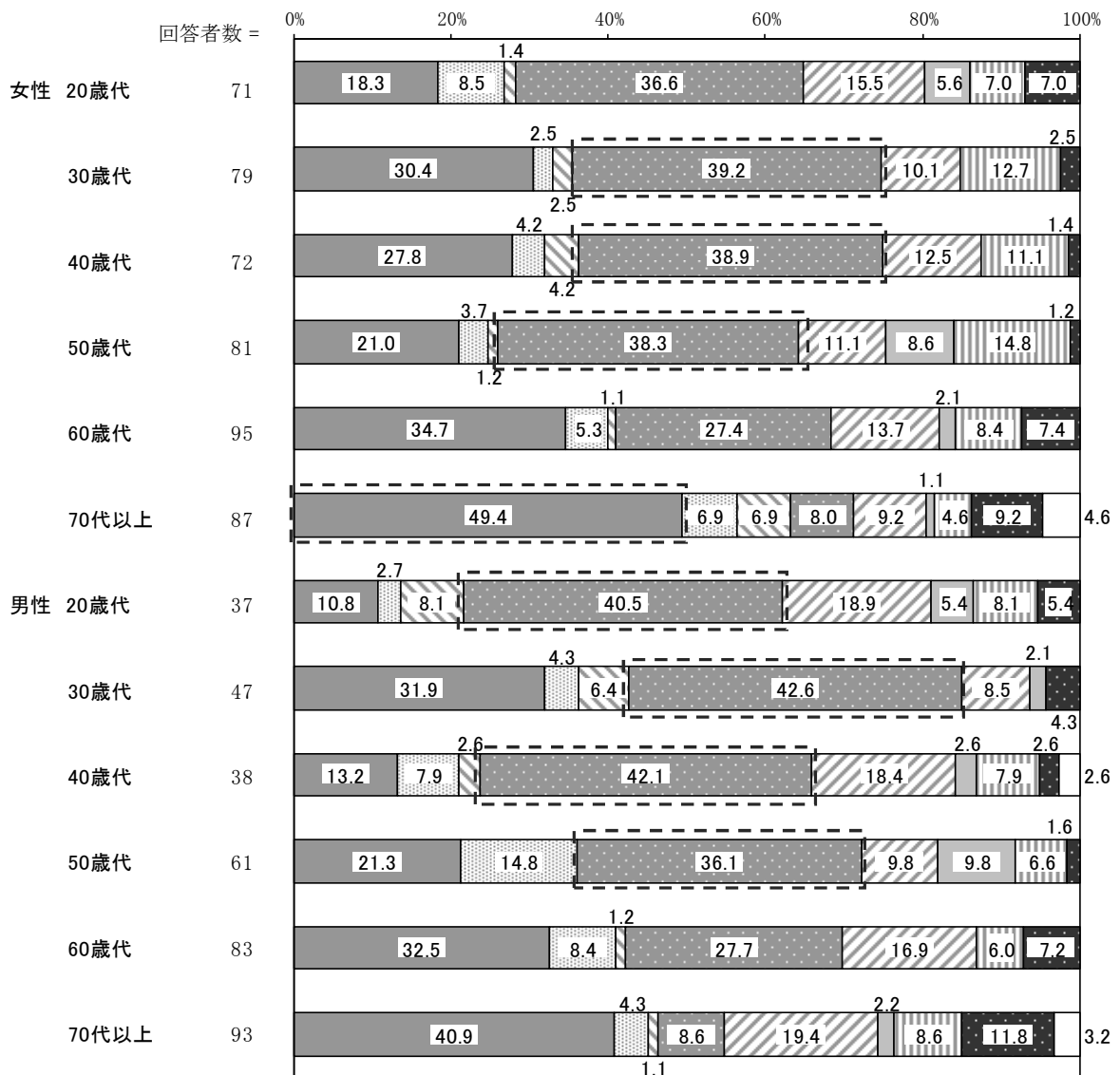
【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性の70代以上で「『家庭』を優先したい」の割合が、女性30歳代から50歳代、男性20歳代から50歳代で「『家庭』と『仕事』を優先したい」の割合が高くなっている。

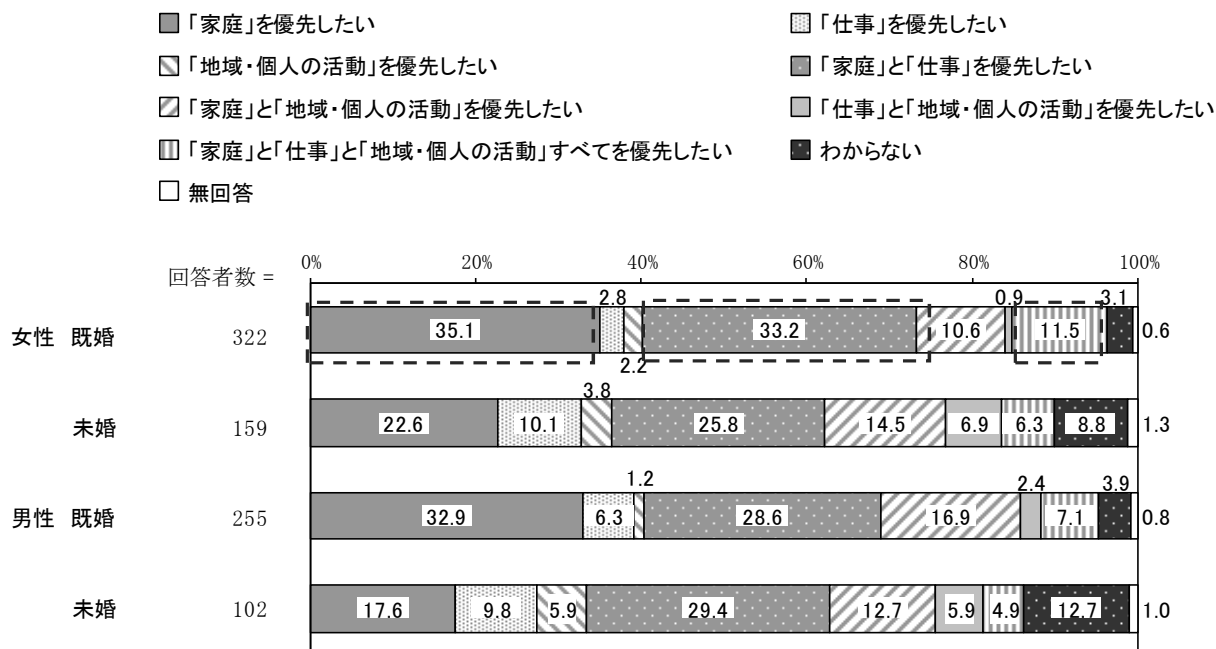
【性・年代別】

- 「家庭」を優先したい
- ▨ 「地域・個人の活動」を優先したい
- ▩ 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先したい
- ▧ 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先したい
- 無回答
- ▤ 「仕事」を優先したい
- ▦ 「家庭」と「仕事」を優先したい
- ▨ 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先したい
- わからない



性・婚姻別で見ると、女性既婚で「『家庭』を優先したい」「『家庭』と『仕事』を優先したい」「『家庭』と『仕事』と『地域・個人の活動』すべてを優先したい」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】



国・愛知県との比較でみると、国、県に比べ、豊橋市で「『家庭』と『仕事』と『地域活動』をすべて優先したい」の割合が低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：％

	「家庭」を優先したい	「仕事」を優先したい	「地域・個人の活動」を優先したい	「家庭」と「仕事」を優先したい	「家庭」と「地域・個人の活動」を優先したい	「仕事」と「地域・個人の活動」を優先したい	「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先したい	その他	わからない	無回答
国（R01.9）	28.4	9.9	4.7	28.7	10.1	3.3	13.1	—	1.9	—
女性	35.1	5.0	3.6	27.2	10.9	2.3	14.4	—	1.5	—
男性	20.7	15.5	5.8	30.4	9.3	4.4	11.6	—	2.3	—
愛知県（H29.11）	24.2	5.0	4.7	32.3	9.1	4.0	15.5	0.8	2.0	2.6
女性	27.6	2.5	3.4	29.4	11.2	3.2	17.8	0.6	2.1	2.2
男性	19.4	8.2	6.4	36.3	6.4	5.0	12.3	1.0	1.9	3.0
豊橋市（R01.8）	29.7	6.2	2.7	29.7	13.6	3.0	8.4	—	5.7	0.9
女性	30.9	5.2	2.9	30.7	12.0	2.9	9.7	—	4.9	0.8
男性	28.5	7.2	2.5	28.8	15.5	3.3	6.4	—	6.6	1.1
豊橋市（H28.8）	36.4	8.5	0.5	36.8	5.0	1.1	4.4	—	5.7	1.6
女性	40.5	4.7	0.5	36.2	4.9	0.7	5.4	—	5.8	1.3
男性	30.9	13.6	0.5	38.0	5.0	1.7	3.3	—	5.5	1.4
豊橋市（H26.9）	40.1	7.1	0.3	33.8	3.7	1.0	4.1	—	6.2	3.7
女性	44.1	4.0	0.2	33.3	3.5	0.3	3.8	—	5.8	5.0
男性	35.5	10.9	0.4	33.8	4.1	1.7	4.5	—	6.8	2.3
豊橋市（H23.6）	31.5	6.2	0.6	35.6	7.5	1.2	10.7	—	5.2	1.6
女性	36.7	3.8	0.2	34.8	7.3	0.0	10.4	—	5.3	1.5
男性	24.8	9.1	1.1	36.3	8.0	2.8	11.4	—	5.2	1.3

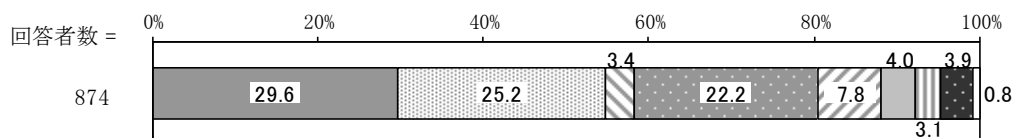
4-4 現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係

問8. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

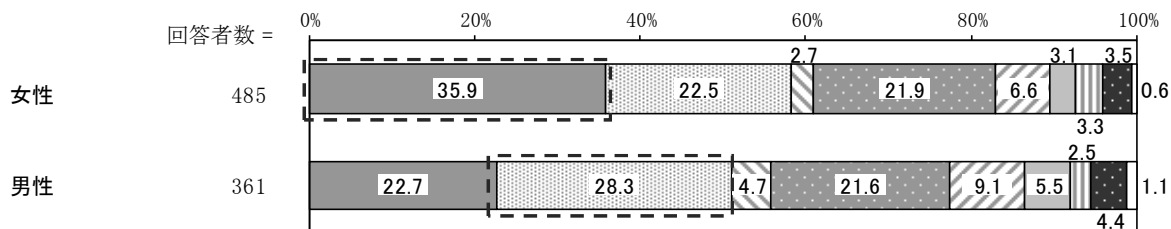
『家庭』を優先している」の割合が29.6%と最も高く、次いで『仕事』を優先している」の割合が25.2%、『家庭』と『仕事』を優先している」の割合が22.2%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で『家庭』を優先している」の割合が高く、女性に比べ、男性で『仕事』を優先している」の割合が高くなっている。

- 「家庭」を優先している
- 「仕事」を優先している
- ▨ 「地域・個人の活動」を優先している
- 「家庭」と「仕事」を優先している
- ▨ 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している
- 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している
- ▨ 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している
- わからない
- 無回答

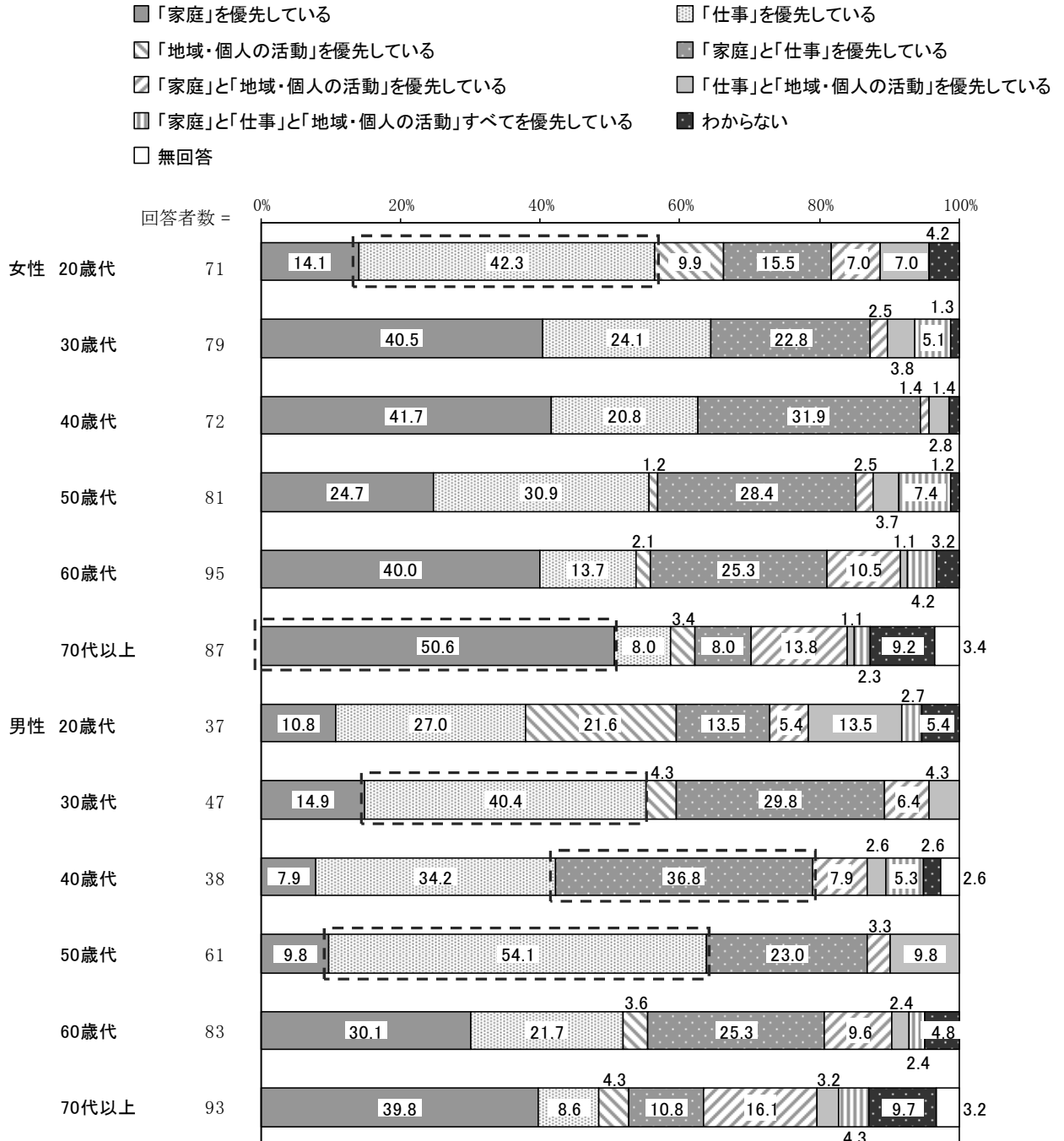


【性別】



性・年代別でみると、女性 20 歳代、男性 30 歳代、50 歳代で「『仕事』を優先している」の割合が、女性 70 代以上で「『家庭』を優先している」の割合が高くなっている。また、男性 40 歳代で「『家庭』と『仕事』を優先している」の割合が高くなっている。

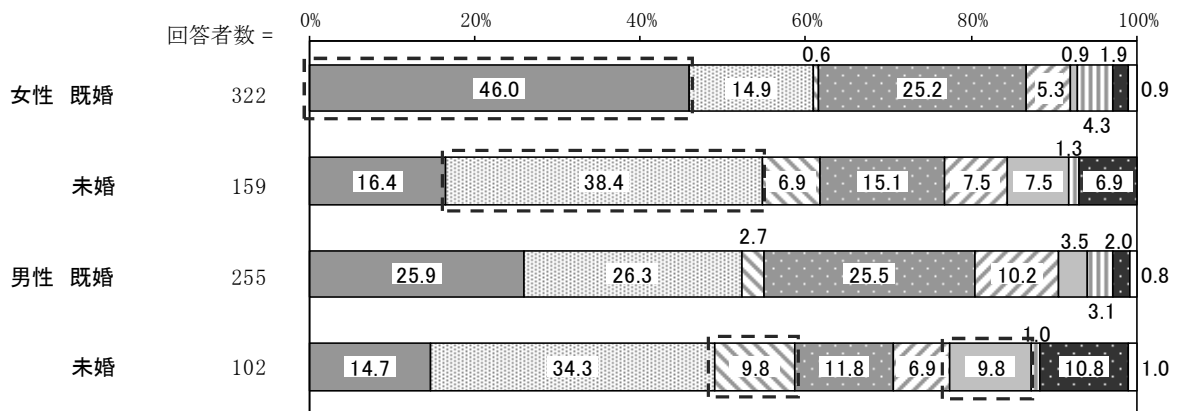
【性・年代別】



性・婚姻別でみると、女性既婚で『家庭』を優先している」の割合が、女性未婚で『仕事』を優先している」の割合が高くなっている。また、男性未婚で『地域・個人の活動』を優先している』『仕事』と『地域・個人の活動』を優先している」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

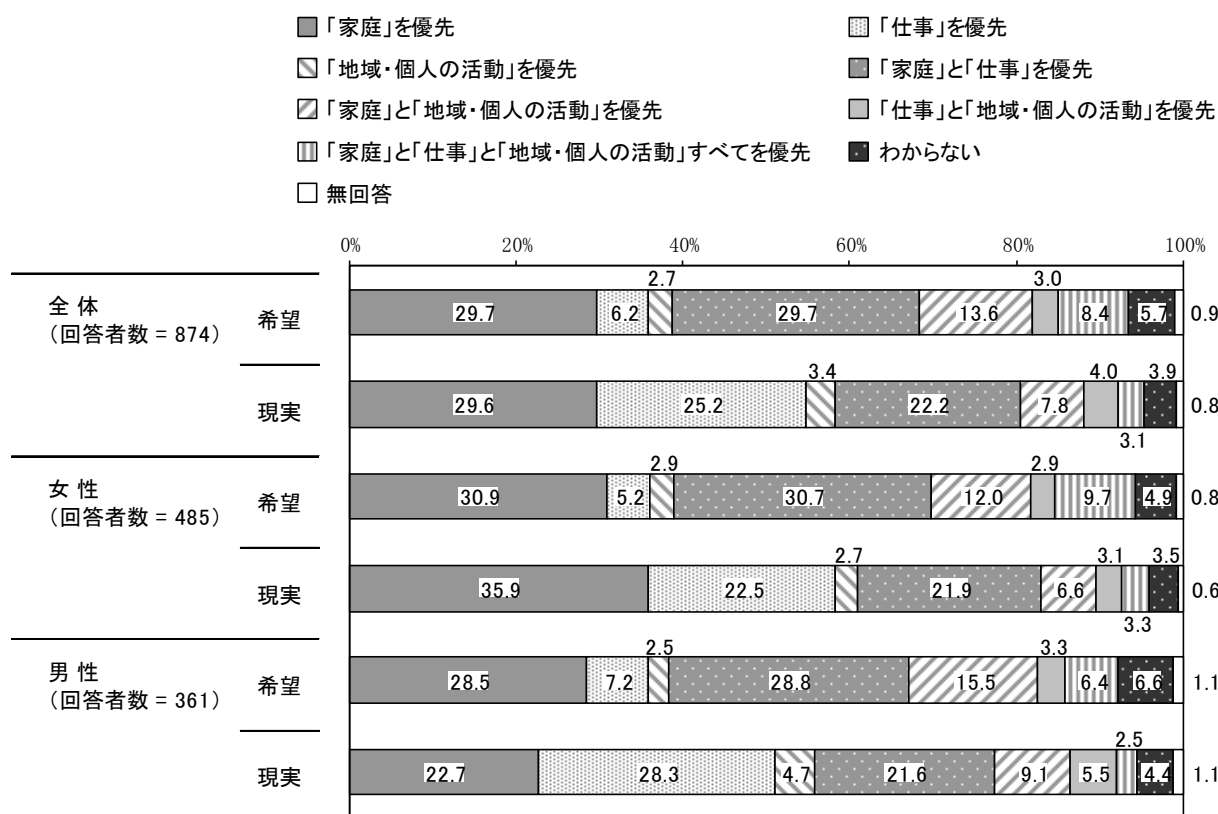
- 「家庭」を優先している
- 「仕事」を優先している
- ▨ 「地域・個人の活動」を優先している
- 「家庭」と「仕事」を優先している
- ▨ 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している
- 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している
- ▨ 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している
- わからない
- 無回答



「家庭」、「仕事」、「地域活動」との優先順位の希望と現実について比較すると、全体では、『仕事』を優先の割合が希望の6.2%に対し、現実には25.2%と増加しており、『家庭』を優先、『家庭』と『仕事』を優先と、『家庭』と『仕事』と『地域活動』すべてを優先において、現実には希望に対し減少している。

性別で見ると、男女ともに希望に対し現実の『仕事』を優先の割合が増加しており、『家庭』と『仕事』を優先の割合が減少する傾向は、全体と同様になっているが、女性の『家庭』を優先の割合については、希望が30.9%に対して現実が35.9%と増加している。

【「家庭」、「仕事」、「地域活動」の関わり方（希望と現実） 性別】



国・愛知県との比較でみると、愛知県に比べ、豊橋市で『家庭』を優先している」の割合が高くなっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成28年に比べ、令和元年で『家庭』を優先している」の割合が低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：%

	「家庭」を優先している	「仕事」を優先している	「地域・個人の活動」を優先している	「家庭」と「仕事」を優先している	「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している	「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している	「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している	その他	わからない	無回答
国（R01.9）	30.3	25.9	4.5	21.0	8.1	3.1	5.1	—	1.9	—
女性	39.9	16.6	3.7	21.0	9.6	2.1	5.3	—	1.6	—
男性	19.4	36.5	5.5	21.0	6.4	4.2	4.8	—	2.3	—
愛知県（H29.11）	24.6	36.5	2.7	18.3	4.4	3.2	3.4	1.2	3.2	2.5
女性	37.2	23.8	2.2	17.1	5.9	2.8	4.5	1.1	2.9	2.3
男性	7.1	54.5	3.3	20.0	2.3	3.8	1.7	1.4	3.1	2.8
豊橋市（R01.8）	29.6	25.2	3.4	22.2	7.8	4.0	3.1	—	3.9	0.8
女性	35.9	22.5	2.7	21.9	6.6	3.1	3.3	—	3.5	0.6
男性	22.7	28.3	4.7	21.6	9.1	5.5	2.5	—	4.4	1.1
豊橋市（H28.8）	34.8	29.6	0.7	22.2	4.0	1.2	2.4	—	4.3	0.6
女性	42.5	21.6	0.5	23.8	3.8	0.4	2.5	—	4.5	0.4
男性	24.6	40.4	1.0	20.6	4.3	2.4	2.2	—	4.3	0.2
豊橋市（H26.9）	38.3	26.7	0.5	20.6	2.7	0.8	1.8	—	5.3	3.3
女性	45.9	18.9	0.3	21.7	2.8	—	1.3	—	4.5	4.5
男性	29.7	35.5	0.8	19.0	2.5	1.7	2.3	—	6.4	1.9
豊橋市（H23.6）	32.5	21.7	0.6	30.3	4.3	1.0	4.1	—	3.6	1.8
女性	42.6	14.6	0.0	29.9	5.5	0.3	2.7	—	3.0	1.5
男性	19.2	31.1	1.5	31.3	3.0	1.9	5.8	—	4.3	1.7

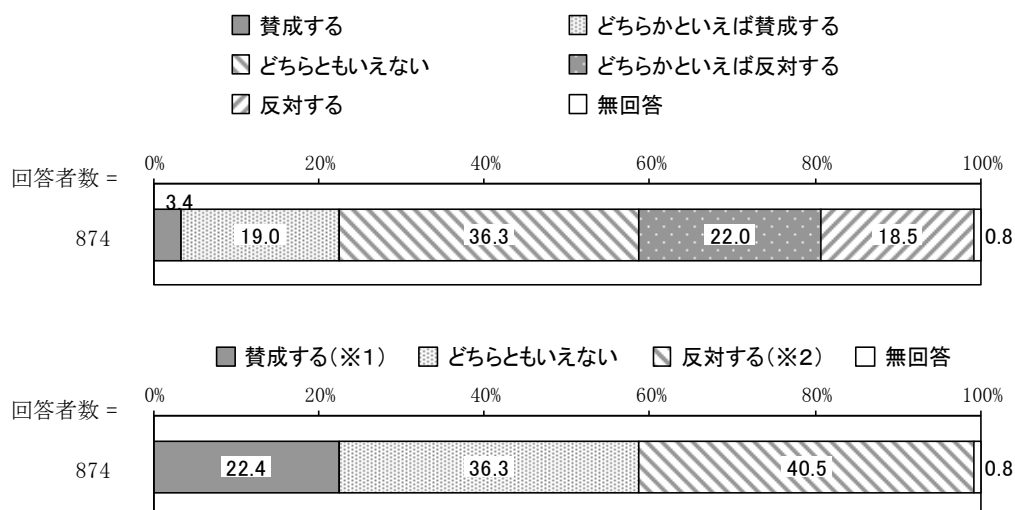
5 男女の働き方について

5-1 性別役割分担意識

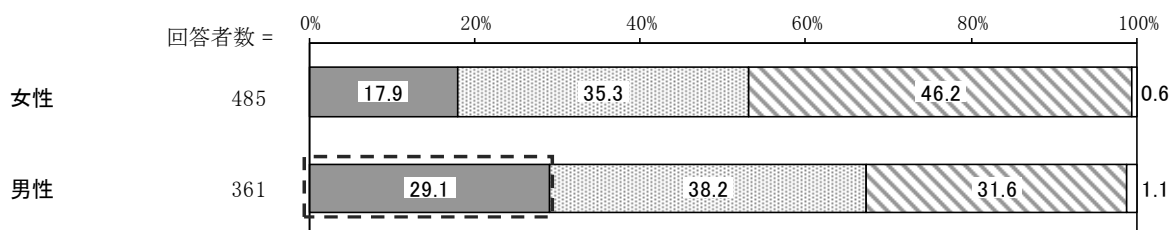
問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する（※1）”の割合が22.4%、“反対する（※2）”の割合が40.5%、「どちらともいえない」の割合が36.3%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で“賛成する（※1）”の割合が高くなっている。



【性別】

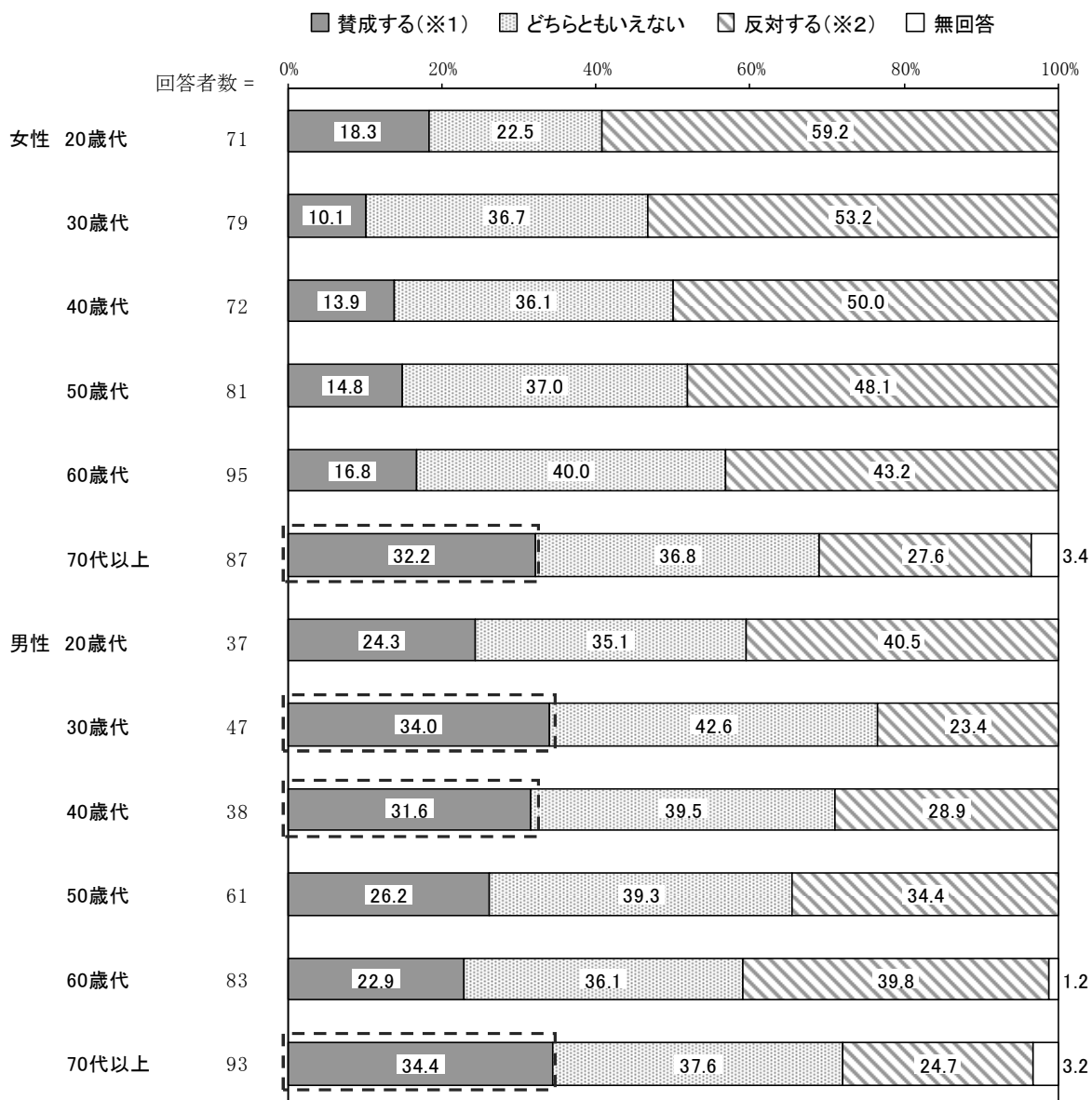


※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

性・年代別で見ると、女性で年代が低くなるにつれ「反対する（※2）」の割合が高くなっている。また、他に比べ、女性70代以上、男性30歳代、40歳代、70代以上で「賛成する（※1）」の割合が高く、3割を超えている。

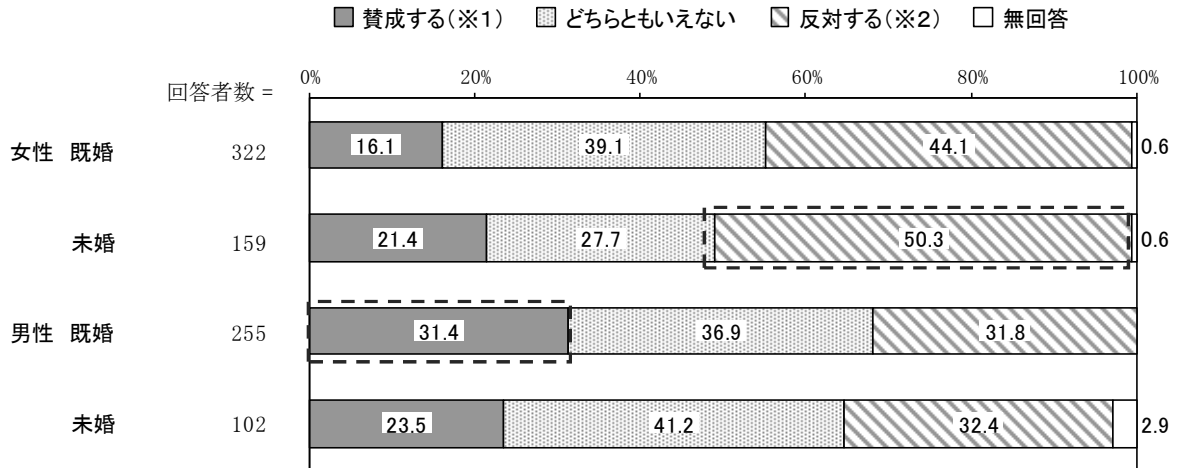
【性・年代別】



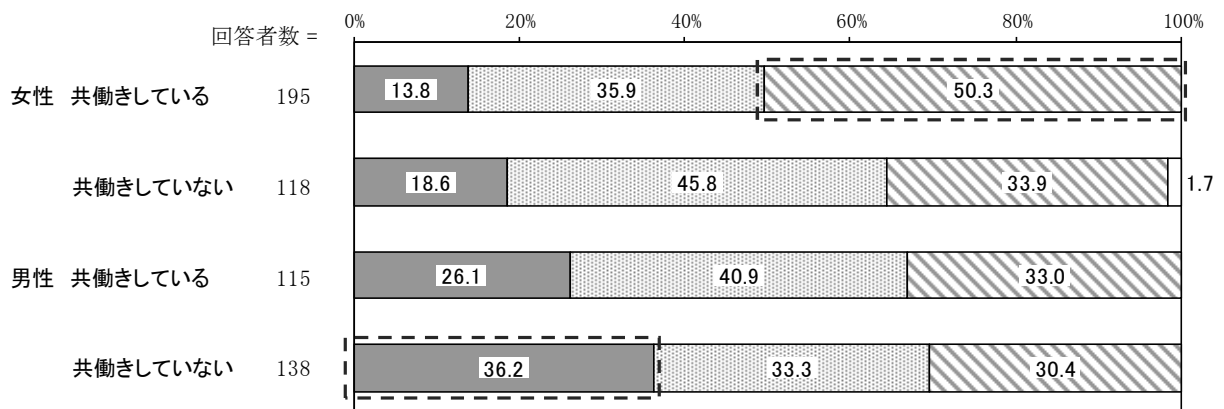
性・婚姻別で見ると、他に比べ、女性未婚で“反対する（※2）”の割合が、男性既婚で“賛成する（※1）”の割合が高くなっている。

性・共働き別で見ると、他に比べ、男性共働きしていないで“賛成する（※1）”の割合が高くなっている。また、女性共働きしているで“反対する（※2）”の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】



【性・共働き別】



※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

国・愛知県との比較でみると、国・愛知県に比べ、豊橋市で“賛成する”の割合が低くなっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和元年で“賛成する”の割合が最も低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：%

	賛成する そう思う (A)	どちらかといえば賛成する どちらかといえはそう思う (B)	どちらともいえない	どちらかといえば反対する どちらかといえはそうは思わない (C)	反対する そうは思わない (D)	わからない	無回答	肯定的 賛成する (A+B)	否定的 反対する (C+D)
国 (R01.9)	7.5	27.5	—	36.6	23.2	5.2	—	35.0	59.8
女性	6.5	24.6	—	38.5	24.9	5.5	—	31.1	63.4
男性	8.6	30.8	—	34.4	21.2	4.9	—	39.4	55.7
愛知県 (H29.11)	5.7	30.4	—	27.4	18.8	16.5	1.2	36.0	46.2
女性	4.2	30.1	—	27.3	20.9	16.2	1.4	34.3	48.2
男性	7.5	30.4	—	27.4	16.3	17.4	1.0	37.8	43.8
豊橋市 (R01.8)	3.4	19.0	36.3	22.0	18.5	—	0.8	22.4	40.5
女性	1.4	16.5	35.3	24.1	22.1	—	0.6	17.9	46.2
男性	5.8	23.3	38.2	19.4	12.2	—	1.1	29.1	31.6
豊橋市 (H28.8)	5.3	20.2	42.1	18.4	13.4	—	0.6	25.5	31.8
女性	5.6	17.7	42.2	18.7	15.3	—	0.5	23.3	34.0
男性	4.8	23.7	41.9	17.9	11.2	—	0.5	28.5	29.1
豊橋市 (H26.9)	5.9	23.0	39.2	17.1	12.6	—	2.2	28.9	29.7
女性	4.5	19.4	39.1	20.2	13.9	—	2.8	23.9	34.1
男性	7.4	27.2	39.8	13.4	10.9	—	1.4	34.6	24.3
豊橋市 (H23.6)	7.2	31.3	26.4	12.6	20.7	—	1.9	38.5	33.3
女性	5.1	27.9	27.7	13.3	24.9	—	1.2	33.0	38.2
男性	9.9	35.9	24.8	11.4	15.6	—	2.4	45.8	27.0
豊橋市 (H20.5)	6.4	28.2	28.3	15.1	21.4	—	0.6	34.6	36.5
女性	5.1	23.6	29.6	17.5	24.0	—	0.2	28.7	41.5
男性	8.3	34.5	27.2	11.9	17.5	—	0.6	42.9	29.4
豊橋市 (H17.5)	7.4	31.0	28.3	11.7	19.1	—	2.6	38.4	30.8
女性	5.9	28.7	29.5	13.7	20.0	—	2.3	34.5	33.7
男性	9.8	33.4	26.9	9.1	18.0	—	2.8	43.2	27.1
豊橋市 (H13.8)	9.4	30.8	27.5	13.3	18.3	—	0.6	40.2	31.6
女性	6.7	27.8	27.4	17.0	20.5	—	0.6	34.5	37.5
男性	12.7	33.9	28.7	9.3	15.0	—	0.5	46.6	24.3

5-2 性別役割分担意識に賛成する理由

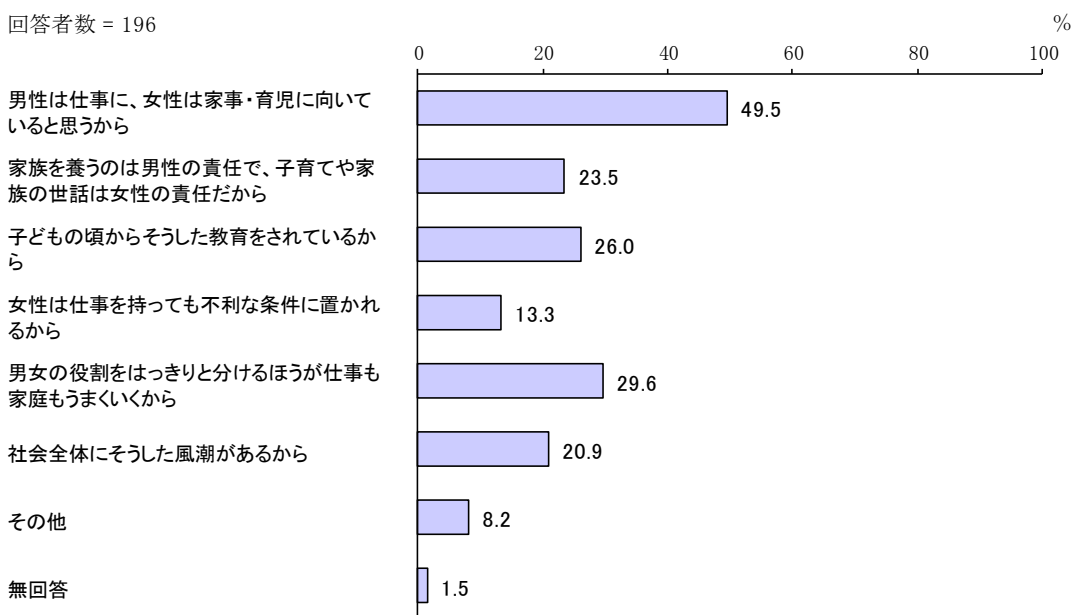
《問9で「1. 賛成する」、「2. どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問9-1. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が49.5%と最も高く、次いで「男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから」の割合が29.6%、「子どもの頃からそうした教育をされているから」の割合が26.0%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」「男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから」の割合が高くなっている。

回答者数 = 196



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性	87	50.6	14.9	24.1	18.4	25.3	23.0	6.9	2.3
男性	105	49.5	30.5	28.6	8.6	34.3	20.0	7.6	1.0

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 歳代、50 歳代、男性 30 歳代で「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が高くなっている。また、男性 60 歳代で「家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから	家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから	子どもの頃からそうした教育をされているから	女性は仕事を持っても不利な条件に置かれるから	男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから	社会全体にそうした風潮があるから	その他	無回答
女性 20 歳代	13	46.2	15.4	7.7	23.1	46.2	23.1	7.7	—
30 歳代	8	50.0	—	12.5	25.0	37.5	—	12.5	—
40 歳代	10	70.0	—	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	—
50 歳代	12	66.7	16.7	25.0	25.0	25.0	16.7	16.7	—
60 歳代	16	43.8	18.8	18.8	18.8	31.3	18.8	6.3	6.3
70 代以上	28	42.9	21.4	39.3	10.7	10.7	32.1	—	3.6
男性 20 歳代	9	33.3	22.2	33.3	—	55.6	11.1	—	—
30 歳代	16	68.8	12.5	18.8	6.3	37.5	6.3	12.5	—
40 歳代	12	41.7	8.3	16.7	—	41.7	41.7	16.7	—
50 歳代	16	43.8	31.3	25.0	25.0	43.8	6.3	12.5	—
60 歳代	19	47.4	52.6	31.6	10.5	15.8	31.6	5.3	—
70 代以上	32	53.1	37.5	37.5	6.3	28.1	21.9	3.1	3.1

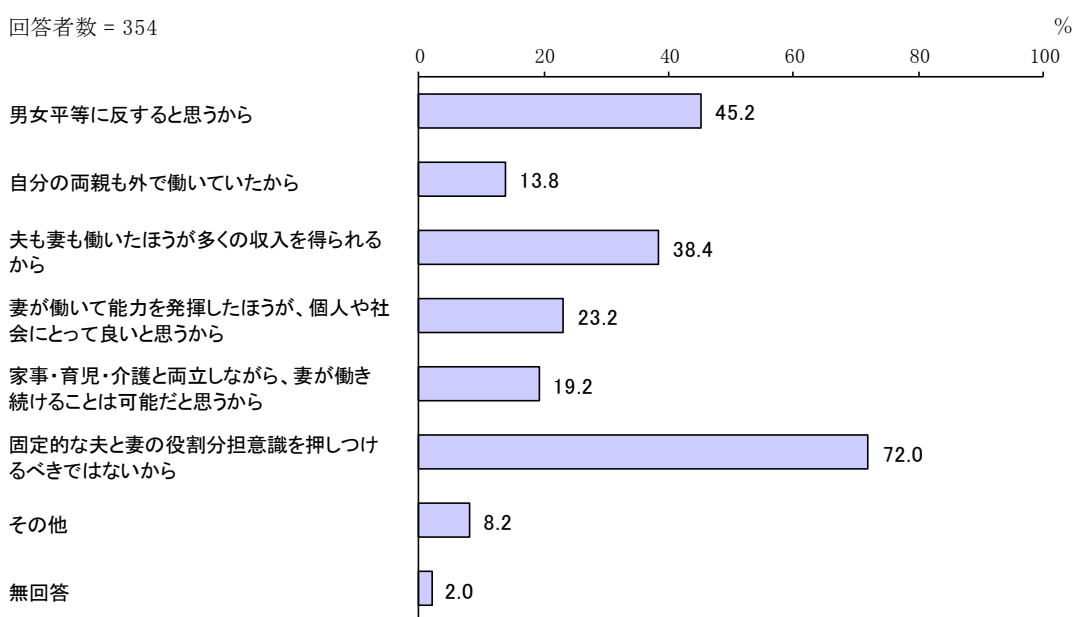
5-3 性別役割分担意識に反対する理由

《問9で「4. どちらかといえば反対する」、「5. 反対する」と回答した方にお聞きします》

問9-2. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が72.0%と最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」の割合が45.2%、「夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が38.4%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「自分の両親も外で働いていたから」「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから」の割合が高くなっている。



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男女平等に反すると思うから	自分の両親も外で働いていたから	夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから	妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから	その他	無回答
女性	224	41.5	<u>15.6</u>	38.8	18.8	17.4	<u>76.8</u>	8.9	1.8
男性	114	45.6	9.6	36.0	<u>31.6</u>	21.1	63.2	5.3	2.6

性・年代別でみると、男女とも20歳代、30歳代で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が高くなっている。また、男性20歳代で「男女平等に反すると思うから」の割合が、女性30歳代で「夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

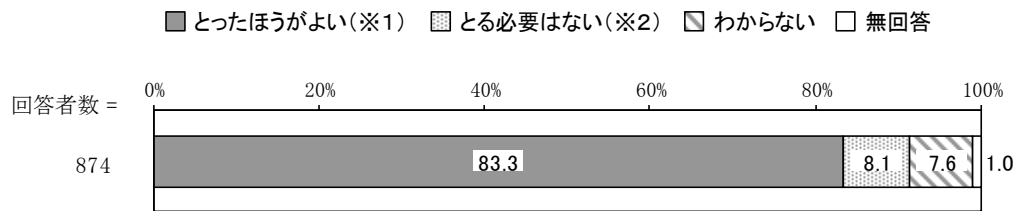
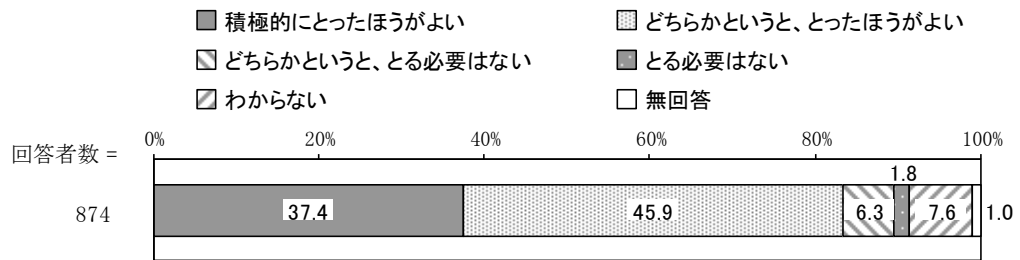
区分	回答者数(件)	男女平等に反すると思うから	自分の両親も外で働いていたから	夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから	妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから	その他	無回答
女性 20歳代	42	38.1	31.0	45.2	11.9	16.7	85.7	9.5	—
30歳代	42	42.9	14.3	59.5	26.2	23.8	83.3	14.3	2.4
40歳代	36	38.9	13.9	41.7	19.4	11.1	72.2	11.1	—
50歳代	39	53.8	15.4	33.3	15.4	23.1	74.4	10.3	—
60歳代	41	31.7	9.8	24.4	14.6	14.6	75.6	2.4	4.9
70代以上	24	45.8	4.2	20.8	29.2	12.5	62.5	4.2	4.2
男性 20歳代	15	60.0	13.3	46.7	6.7	26.7	80.0	13.3	—
30歳代	11	27.3	18.2	45.5	36.4	9.1	81.8	9.1	9.1
40歳代	11	18.2	36.4	36.4	45.5	18.2	72.7	—	—
50歳代	21	38.1	—	42.9	33.3	14.3	57.1	4.8	4.8
60歳代	33	51.5	3.0	30.3	42.4	30.3	60.6	3.0	—
70代以上	23	56.5	8.7	26.1	21.7	17.4	47.8	4.3	4.3

5-4 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方

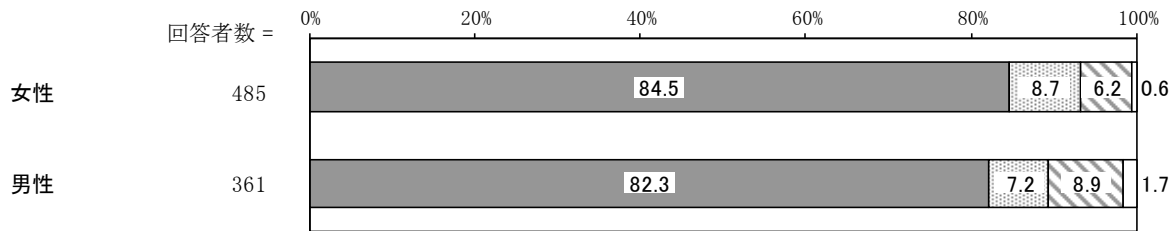
問10. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“とったほうがよい(※1)”の割合が83.3%、“とる必要はない(※2)”の割合が8.1%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。



【性別】

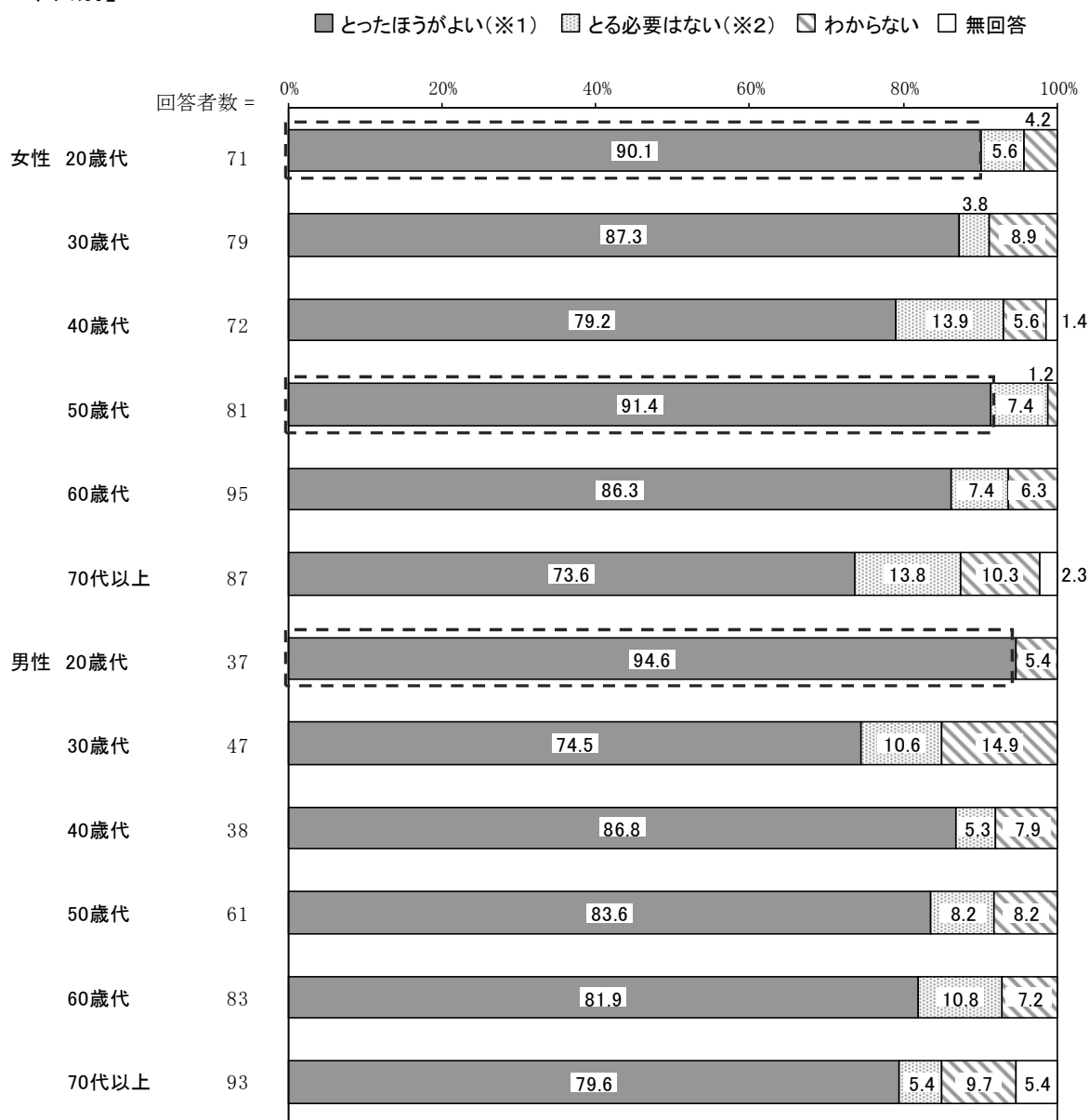


※1 : 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2 : 「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 歳代、50 歳代、男性 20 歳代で「とったほうがよい（※1）」の割合が高く、9 割を超えている。

【性・年代別】

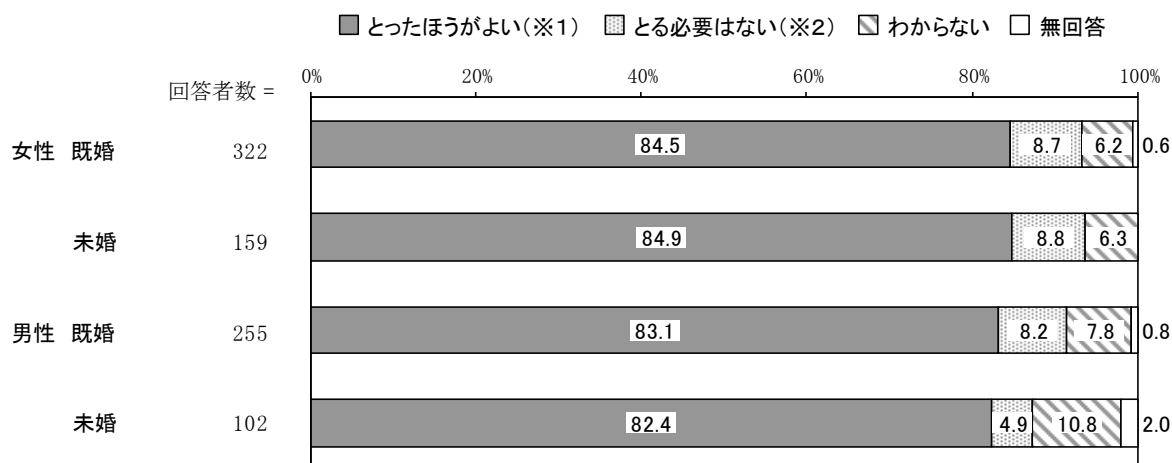


※1 : 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2 : 「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性・婚姻別、性・共働き別でみると、大きな差異はみられない。

【性・婚姻別】



【性・共働き別】

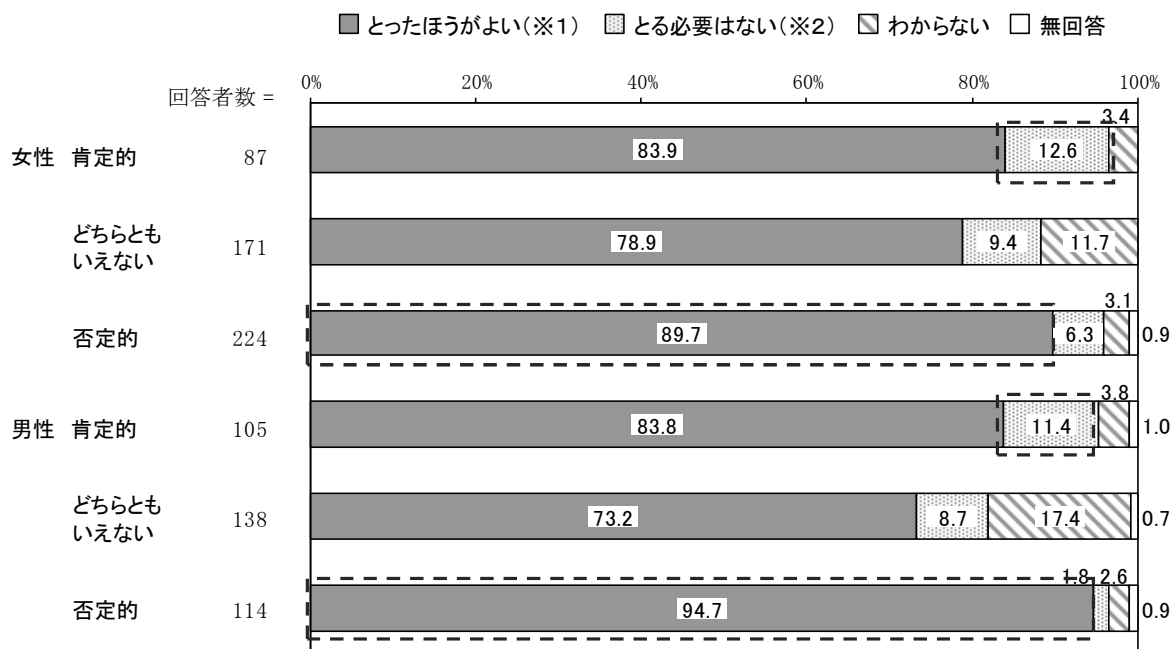


※1 : 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2 : 「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性別役割分担意識別でみると、男女とも肯定的で“とる必要はない(※2)”の割合が高く、否定的で“とったほうがよい(※1)”の割合が高くなっている。

【性別役割分担意識別】



※1 : 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2 : 「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

豊橋市の過去の調査との比較でみると、“とったほうがよい（※1）”の割合が過去最高となっている。

【経年比較】

単位：%

	積極的にとったほうがよい	どちらかというのとったほうがよい	どちらかというのとる必要はない	とる必要はない	わからない	無回答	とったほうがよい※1	とる必要はない※2
豊橋市 (R01.8)	37.4	45.9	6.3	1.8	7.6	1.0	83.3	8.1
女性	40.6	43.9	7.2	1.4	6.2	0.6	84.5	8.6
男性	33.2	49.0	5.0	2.2	8.9	1.7	82.2	7.2
豊橋市 (H28.8)	27.4	47.5	12.0	2.7	8.3	2.0	74.9	14.7
女性	30.6	46.5	10.3	2.5	8.6	1.4	77.1	12.8
男性	23.4	48.8	14.8	2.6	7.9	2.4	72.2	17.4
豊橋市 (H26.9)	29.2	47.5	7.5	2.3	10.5	3.1	76.7	9.8
女性	34.8	43.1	6.3	1.5	10.3	4.0	77.9	7.8
男性	22.7	52.6	8.5	3.3	10.9	1.9	75.3	11.8
豊橋市 (H23.6)	27.3	43.9	14.4	2.7	10.0	1.7	71.2	17.1
女性	29.4	44.8	13.4	1.8	9.0	1.7	74.1	15.3
男性	24.8	42.3	16.0	3.5	11.7	1.7	67.2	19.4

※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかというのとったほうがよい」の計

※2：「どちらかというのとる必要はない」と「とる必要はない」の計

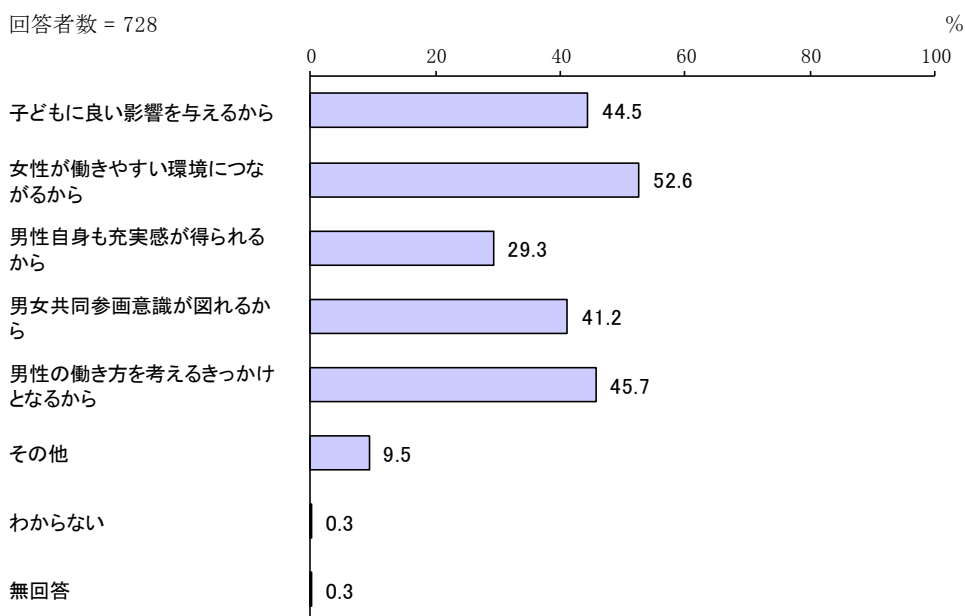
5-5 男性が育児や介護で休みをとったほうがよい理由

《問 10 で「1. 積極的にとったほうがよい」、「2. どちらかという、とったほうがよい」と回答した方にお聞きします。》

問 10-1. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

「女性が働きやすい環境につながるから」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「男性の働き方を考えるきっかけとなるから」の割合が 45.7%、「子どもに良い影響を与えるから」の割合が 44.5%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「子どもに良い影響を与えるから」「女性が働きやすい環境につながるから」「男性自身も充実感が得られるから」の割合が高くなっている。



【性別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	子どもに良い影響を与えるから	女性が働きやすい環境につながるから	男性自身も充実感が得られるから	男女共同参画意識が図れるから	男性の働き方を考えるきっかけとなるから	その他	わからない	無回答
女性	410	48.3	56.6	32.2	41.7	48.0	11.0	—	0.5
男性	297	39.4	47.5	24.2	38.4	43.4	7.4	0.7	—

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 歳代で「女性が働きやすい環境につながるから」の割合、男性 40 歳代で「男性の働き方を考えるきっかけとなるから」の割合が高くなっている。また、女性 50 歳代で「男女共同参画意識が図れるから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもに良い影響を与えるから	女性が働きやすい環境につながるから	男性自身も充実感が得られるから	男女共同参画意識が図れるから	男性の働き方を考えるきっかけとなるから	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	64	51.6	<u>70.3</u>	37.5	29.7	56.3	10.9	—	—
30 歳代	69	55.1	60.9	42.0	46.4	49.3	20.3	—	—
40 歳代	57	38.6	57.9	22.8	35.1	45.6	15.8	—	—
50 歳代	74	50.0	52.7	32.4	<u>51.4</u>	51.4	16.2	—	—
60 歳代	82	43.9	47.6	29.3	43.9	42.7	3.7	—	1.2
70 代以上	64	50.0	53.1	28.1	40.6	43.8	—	—	1.6
男性 20 歳代	35	51.4	60.0	17.1	34.3	51.4	20.0	—	—
30 歳代	35	48.6	22.9	20.0	20.0	51.4	17.1	—	—
40 歳代	33	30.3	33.3	21.2	24.2	<u>66.7</u>	15.2	3.0	—
50 歳代	51	19.6	45.1	23.5	45.1	45.1	3.9	2.0	—
60 歳代	68	36.8	57.4	16.2	45.6	38.2	2.9	—	—
70 代以上	74	50.0	52.7	39.2	43.2	29.7	—	—	—

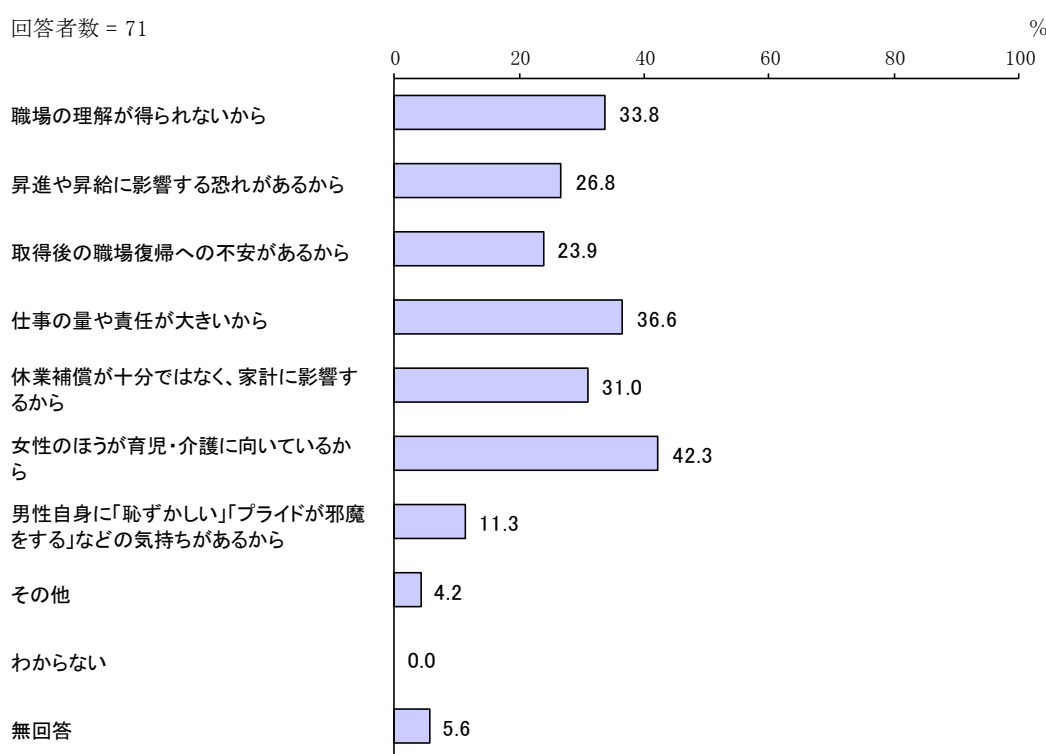
5-6 男性が育児や介護で休みをとらないほうがよい理由

《問10で「3 どちらかという、とる必要はない」、「4 とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問10-2. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が42.3%と最も高く、次いで「仕事の量や責任が大きいから」の割合が36.6%、「職場の理解が得られないから」の割合が33.8%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「昇進や昇給に影響する恐れがあるから」「取得後の職場復帰への不安があるから」「休業補償が十分ではなく、家計に影響するから」「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「職場の理解が得られないから」「仕事の量や責任が大きいから」「男性自身に『恥ずかしい』『プライドが邪魔をする』などの気持ちがあるから」の割合が高くなっている。



【性別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
女性	42	31.0	<u>28.6</u>	<u>31.0</u>	28.6	<u>38.1</u>	<u>47.6</u>	9.5	4.8	—	2.4
男性	26	<u>38.5</u>	19.2	15.4	<u>50.0</u>	15.4	34.6	<u>15.4</u>	—	—	11.5

性・年代別は、有効回答数が少ないため参考とする。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
女性 20歳代	4	25.0	50.0	—	25.0	50.0	75.0	—	—	—	—
30歳代	3	—	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—	—
40歳代	10	60.0	50.0	40.0	40.0	60.0	40.0	—	10.0	—	—
50歳代	6	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	50.0	—	—	—	—
60歳代	7	28.6	28.6	57.1	28.6	42.9	42.9	14.3	—	—	14.3
70代以上	12	16.7	8.3	16.7	25.0	16.7	50.0	16.7	8.3	—	—
男性 20歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	5	40.0	40.0	—	—	20.0	20.0	—	—	—	—
40歳代	2	100.0	50.0	50.0	50.0	—	—	100.0	—	—	—
50歳代	5	—	—	20.0	60.0	—	40.0	—	—	—	20.0
60歳代	9	33.3	11.1	22.2	55.6	22.2	33.3	—	—	—	11.1
70代以上	5	60.0	20.0	—	80.0	20.0	60.0	40.0	—	—	20.0

豊橋市の平成 28 年の調査との比較でみると、「取得後の職場復帰への不安があるから」「仕事の量や責任が大きいから」の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：％

	職場の理解が得られないから	昇進や昇給に影響する恐れがあるから	取得後の職場復帰への不安があるから	仕事の量や責任が大きいから	休業補償が十分ではなく、家計に影響するから	女性のほうが育児・介護に向いているから	男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから	その他	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	33.8	26.8	23.9	36.6	31.0	42.3	11.3	4.2	0.0	5.6
女性	31.0	28.6	31.0	28.6	38.1	47.6	9.5	4.8	0.0	2.4
男性	38.5	19.2	15.4	50.0	15.4	34.6	15.4	0.0	0.0	11.5
豊橋市（H28.8）	32.2	28.1	30.8	52.1	32.9	41.1	11.6	6.2	0.0	2.7
女性	28.2	29.6	32.4	45.1	28.2	46.5	14.1	7.0	0.0	2.8
男性	37.0	27.4	30.1	57.5	38.4	35.6	9.6	5.5	0.0	2.7
豊橋市（H26.9）	66.1	46.3	46.5	46.5	41.4	16.5	27.2	2.9	5.0	3.0
女性	73.5	50.1	49.1	47.3	46.8	15.9	33.3	3.3	3.2	3.8
男性	57.7	41.9	43.5	45.4	35.1	17.1	19.8	2.5	7.2	1.9
豊橋市（H23.6）	63.9	42.6	44.4	46.3	43.4	17.5	30.9	3.9	2.2	1.4
女性	68.3	45.8	46.4	43.8	47.3	16.1	37.5	3.8	2.0	1.3
男性	58.3	38.4	42.3	50.1	38.2	19.2	21.8	4.1	2.6	1.5

※平成 28 年調査では、「どちらかという、とる必要はない」「とる必要はない」と回答した人が答えています。

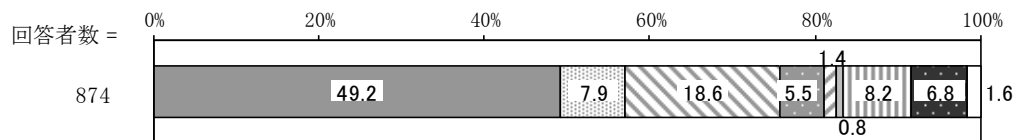
5-7 女性が仕事をすることについての考え方

問 11. 女性が仕事をするについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

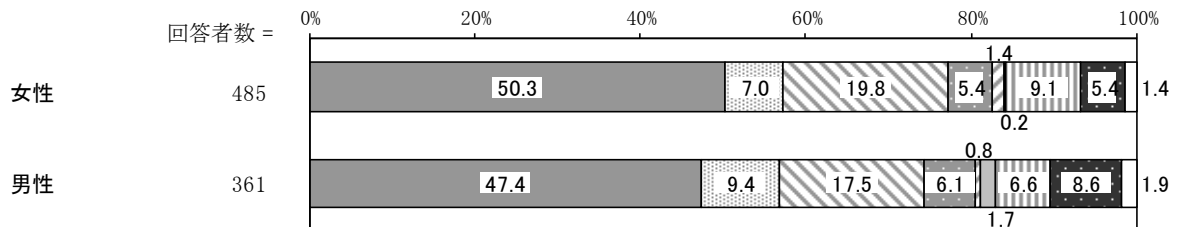
「子どもができれば産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」の割合が49.2%と最も高く、次いで「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が18.6%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

- 子どもができれば産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
- ▨ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
- ▧ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
- 子どもができるまでは仕事をするのがよい
- ▩ 結婚するまでは仕事をするのがよい
- 女性は仕事をしない方がよい
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



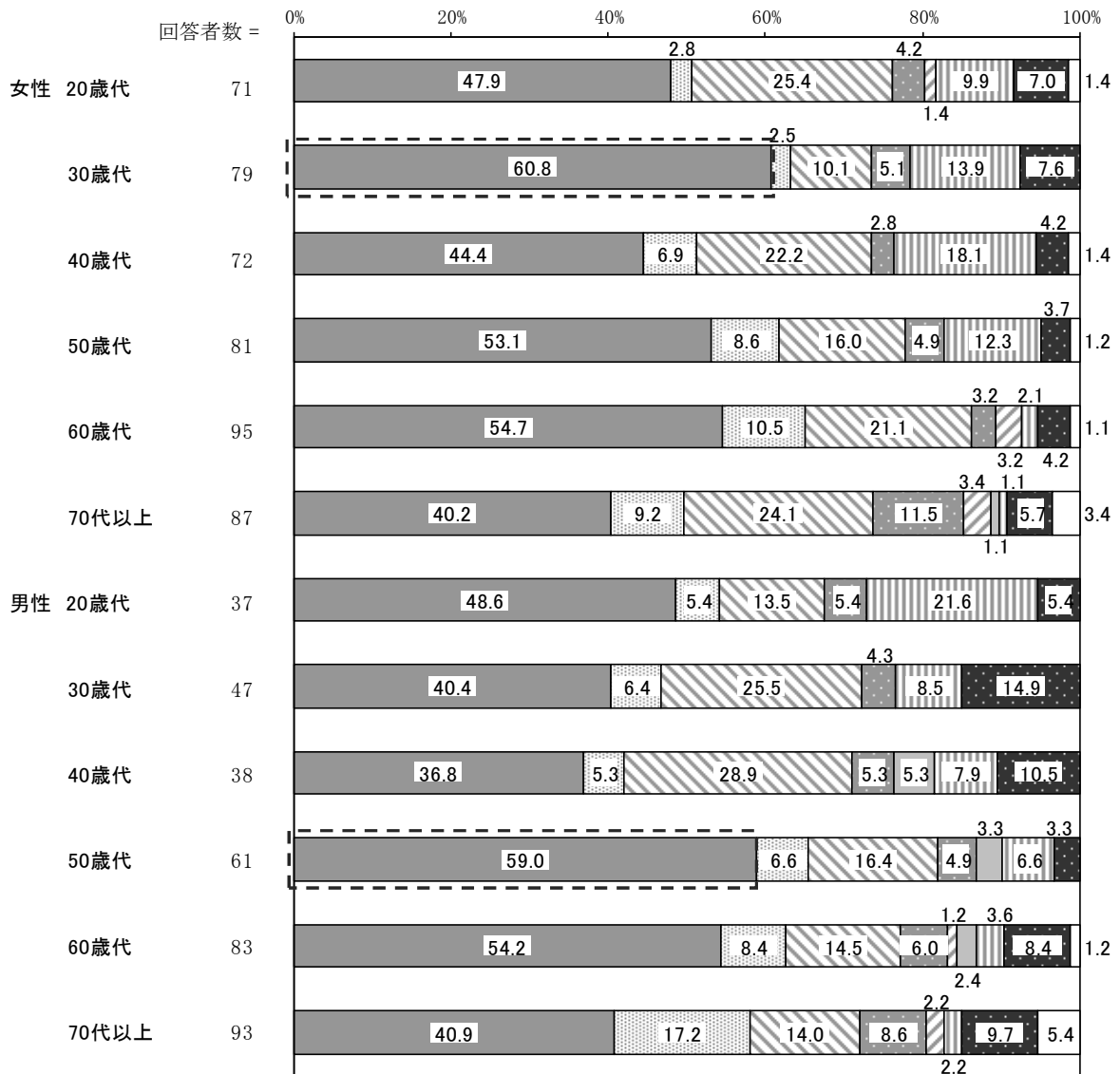
【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 歳代、男性 50 歳代で「子どもができたなら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

- 子どもができたなら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
- ▨ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
- ▧ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
- 子どもができるまでは仕事をするのがよい
- ▨ 結婚するまでは仕事をするのがよい
- 女性は仕事をしない方がよい
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



豊橋市の平成 28 年の調査との比較でみると、「子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」の割合が高くなり、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：%

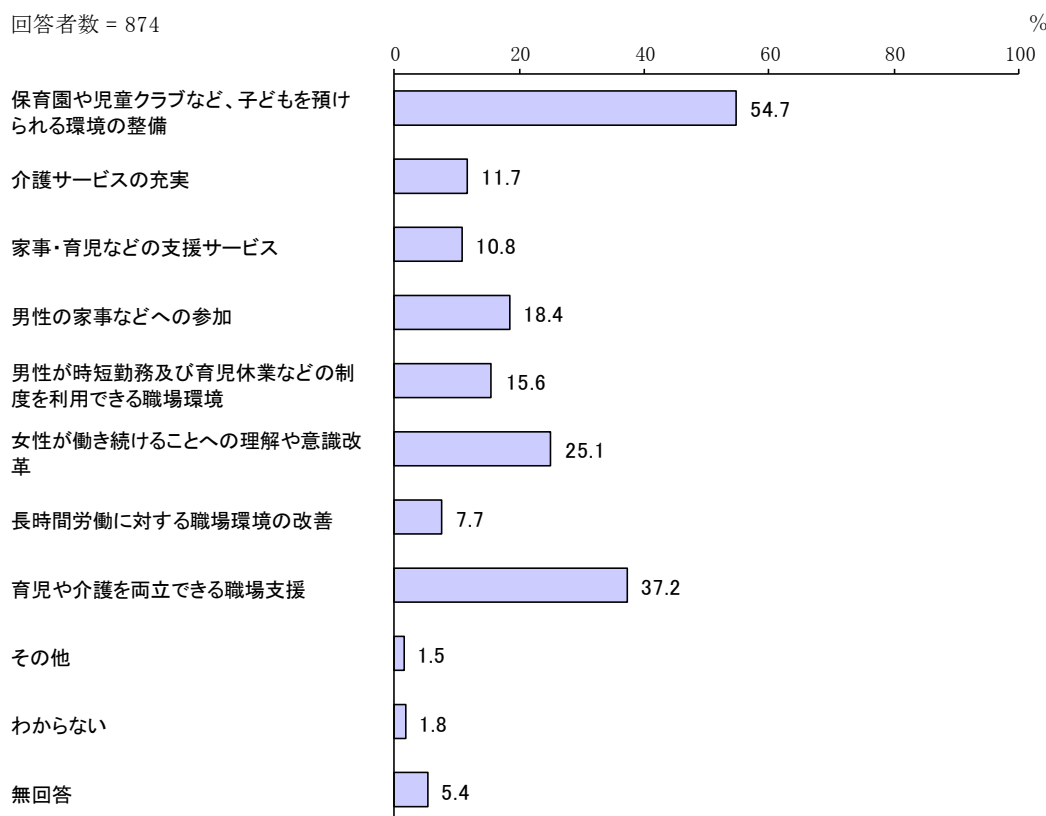
	子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい (平成28年までは)産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい	子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい	子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい	子どもができるまでは仕事をするのがよい	結婚するまでは仕事をするのがよい	女性は仕事をしない方がよい	その他	わからない	無回答
豊橋市 (R01.8)	49.2	7.9	18.6	5.5	1.4	0.8	8.2	6.8	1.6
女性	50.3	7.0	19.8	5.4	1.4	0.2	9.1	5.4	1.4
男性	47.4	9.4	17.5	6.1	0.8	1.7	6.6	8.6	1.9
豊橋市 (H28.8)	31.9	12.7	24.9	8.6	3.7	0.2	8.4	6.0	3.6
女性	31.2	12.6	24.5	8.8	4.1	0.4	9.7	5.2	3.4
男性	32.1	13.4	25.8	8.4	3.3	0.0	6.7	6.9	3.3
豊橋市 (H26.9)	44.4	10.0	20.6	7.0	2.8	0.5	3.2	6.1	5.3
女性	42.1	9.3	23.2	6.3	3.6	0.3	3.8	5.6	5.6
男性	47.0	10.9	17.5	7.8	1.9	0.8	2.5	6.8	4.9

5-8 女性の就労継続に必要な事項

問 12. 女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、次の中から2つ選んで○をつけてください。

「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が54.7%と最も高く、次いで「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が37.2%、「女性が働き続けることへの理解や意識改革」の割合が25.1%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「男性の家事などへの参加」「女性が働き続けることへの理解や意識改革」「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高くなっている。



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなどを預けられる環境の整備、子ども	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性	485	55.1	11.1	9.1	21.6	14.8	28.2	6.0	40.8	0.8	0.4	4.5
男性	361	53.2	12.7	13.3	13.9	17.5	21.1	9.7	33.2	2.2	3.6	6.1

性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 歳代、男性 30 歳代で「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が、女性 50 歳代で「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなどを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	71	54.9	7.0	11.3	23.9	22.5	19.7	7.0	36.6	—	—	7.0
30 歳代	79	62.0	2.5	5.1	31.6	20.3	29.1	6.3	32.9	—	—	5.1
40 歳代	72	54.2	4.2	9.7	26.4	12.5	29.2	6.9	44.4	4.2	—	4.2
50 歳代	81	46.9	18.5	8.6	17.3	11.1	28.4	8.6	50.6	—	—	3.7
60 歳代	95	58.9	13.7	10.5	12.6	12.6	32.6	4.2	44.2	—	—	4.2
70 代以上	87	52.9	18.4	9.2	20.7	11.5	28.7	3.4	35.6	1.1	2.3	3.4
男性 20 歳代	37	56.8	13.5	8.1	18.9	35.1	18.9	16.2	13.5	8.1	—	2.7
30 歳代	47	61.7	2.1	8.5	17.0	19.1	21.3	21.3	25.5	2.1	4.3	4.3
40 歳代	38	39.5	15.8	10.5	15.8	21.1	21.1	13.2	36.8	—	7.9	5.3
50 歳代	61	57.4	9.8	14.8	18.0	11.5	19.7	4.9	31.1	4.9	—	9.8
60 歳代	83	56.6	16.9	12.0	13.3	14.5	25.3	3.6	43.4	—	2.4	3.6
70 代以上	93	47.3	15.1	19.4	7.5	15.1	19.4	7.5	36.6	1.1	6.5	7.5

性・婚姻別でみると、他に比べ、男性未婚で「長時間労働に対する職場環境の改善」の割合が高くなっている。

性・共働き別でみると、男女とも、共働きしていないに比べ、共働きしているで「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が高くなっている。また、他に比べ、女性共働きしていないで「女性が働き続けることへの理解や意識改革」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなどを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 既婚	322	57.1	9.0	8.1	22.4	14.9	28.9	5.6	39.1	0.9	0.3	5.9
未婚	159	51.6	15.1	11.3	20.8	14.5	26.4	6.9	43.4	0.6	0.6	1.9
男性 既婚	255	54.1	12.2	13.7	14.9	16.1	23.1	6.3	37.6	1.6	3.1	5.5
未婚	102	51.0	13.7	11.8	11.8	21.6	16.7	18.6	23.5	3.9	4.9	5.9

【性・共働き別】

単位：％

区分	回答者数(件)	保育園や児童クラブなどを預けられる環境の整備	介護サービスの充実	家事・育児などの支援サービス	男性の家事などへの参加	男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境	女性が働き続けることへの理解や意識改革	長時間労働に対する職場環境の改善	育児や介護を両立できる職場支援	その他	わからない	無回答
女性 共働きしている	195	62.6	8.2	7.2	23.6	10.8	22.6	5.6	42.1	1.0	—	7.2
共働きしていない	118	50.0	9.3	9.3	22.0	22.0	40.7	4.2	32.2	0.8	0.8	3.4
男性 共働きしている	115	60.0	11.3	7.8	15.7	14.8	22.6	5.2	39.1	0.9	2.6	7.8
共働きしていない	138	49.3	13.0	18.8	14.5	17.4	23.9	7.2	36.2	1.4	3.6	3.6

5-9 女性の再就職における基準

《女性にお聞きします》

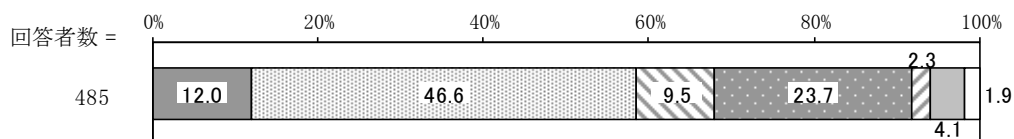
問 13. 離職した女性が、再就職を考えたとき何を基準にすると思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい」の割合が46.6%と最も高く、次いで「働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい」の割合が23.7%、「これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい」の割合が12.0%となっている。

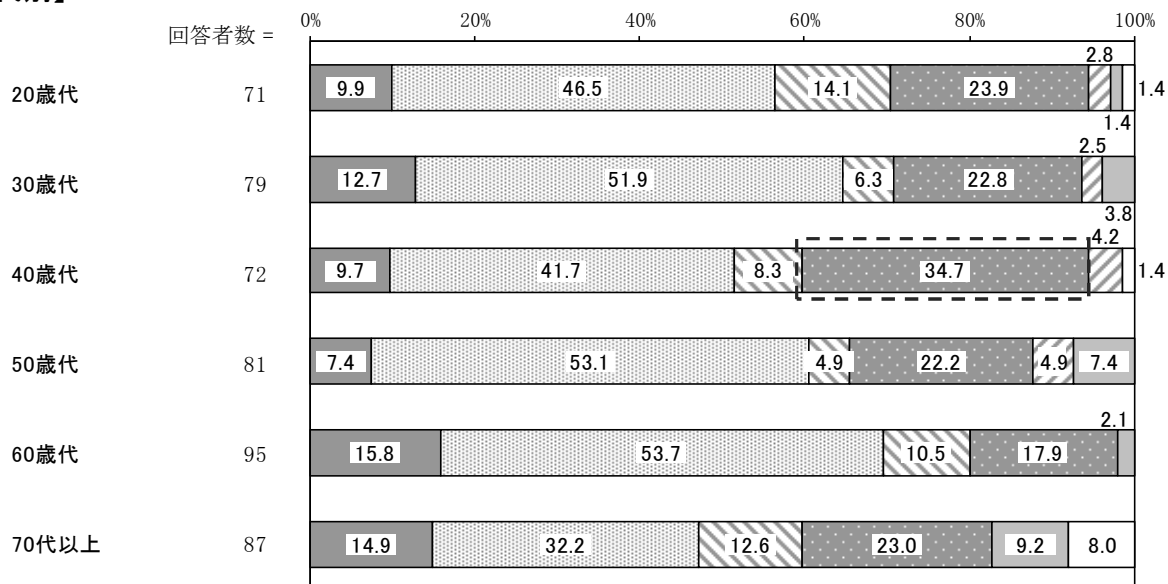
年代別で見ると、他に比べ、40歳代で「働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい」の割合が高くなっている。

婚姻別で見ると、大きな差異はみられない。

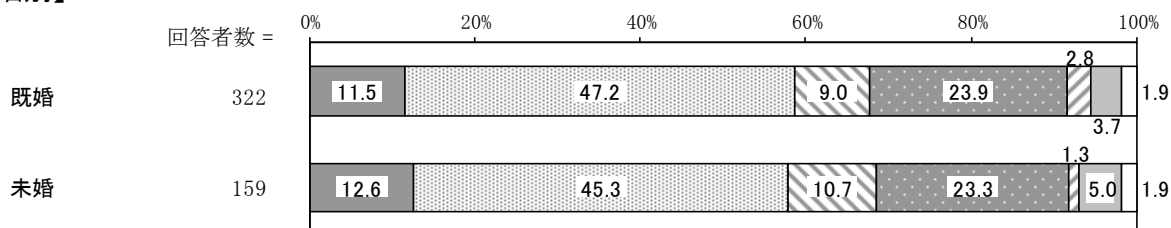
- これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
- ▨ 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
- ▧ これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
- 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
- その他
- わからない
- 無回答



【年代別】

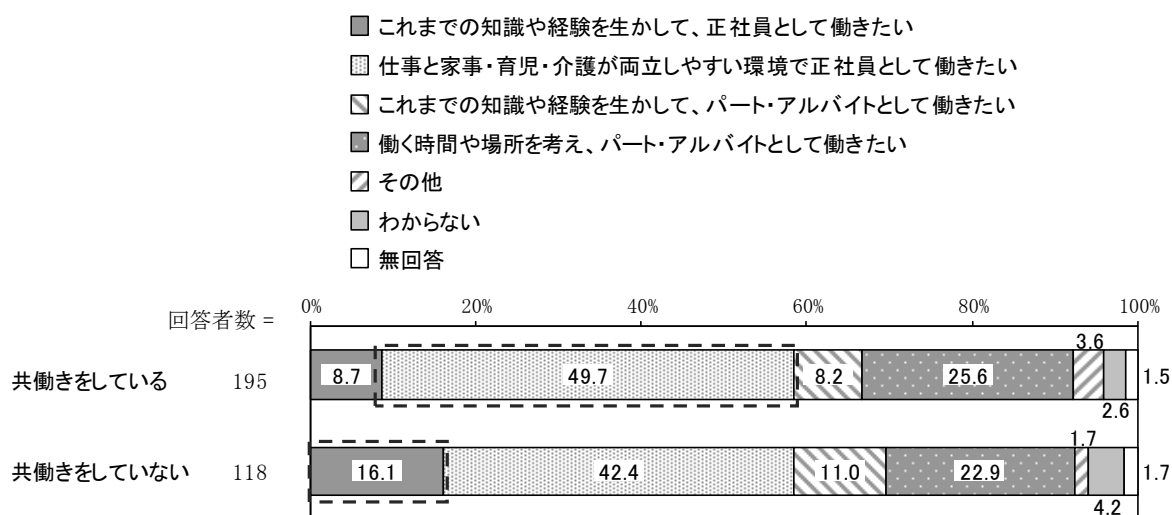


【婚姻別】



共働き別でみると、共働きしていない人に比べ、共働きしている人で「仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい」の割合が高くなっている。また、共働きしている人に比べ、共働きしていない人で「これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい」の割合が高くなっている。

【共働き別】



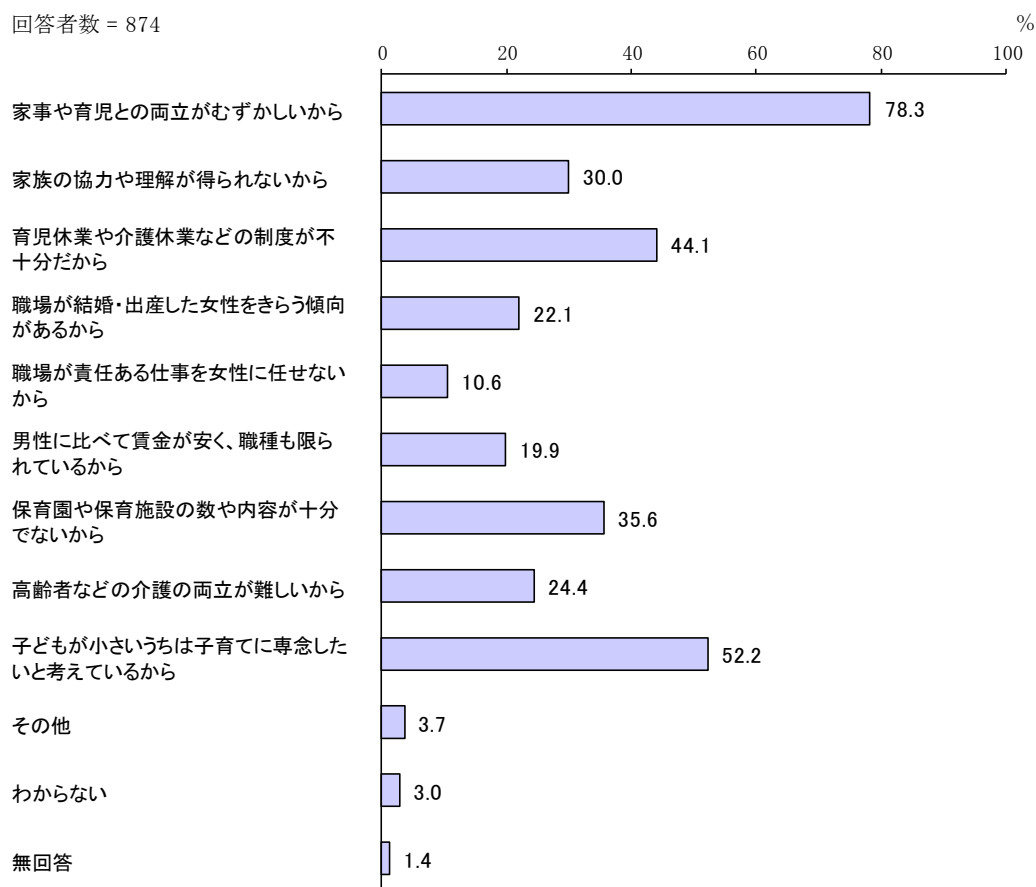
5-10 女性が結婚や出産を機に仕事をやめる理由

問 14. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性があります。その理由について、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家事や育児との両立がむずかしいから」の割合が78.3%と最も高く、次いで「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」の割合が52.2%、「育児休業や介護休業などの制度が不十分だから」の割合が44.1%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事や育児との両立がむずかしいから」「家族の協力や理解が得られないから」「子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから」の割合が高くなっている。

回答者数 = 874



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性をきらい傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育園や保育施設の数や内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性	485	81.6	37.3	46.2	23.9	12.0	19.4	37.3	26.2	55.1	3.5	1.6	0.8
男性	361	73.7	20.2	42.9	19.1	9.7	19.9	33.0	22.2	48.8	3.6	5.0	2.2

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 歳代、40 歳代、男性 20 歳代で「家事や育児との両立がむずかしいから」の割合が高く、約 9 割となっている。また、女性 20 歳代で「育児休業や介護休業などの制度が不十分だから」「保育園や保育施設の数や内容が十分でないから」の割合が、女性 30 歳代から 60 歳代で「家族の協力や理解が得られないから」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家事や育児との両立が むずかしいから	家族の協力や理解が 得られないから	育児休業や介護休業などの 制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性を きらい傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に 任せないから	職種も限られているから	男性に比べて賃金が安く、 職種も限られているから	保育園や保育施設の数や 内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が 難しいから	子どもが小さいうちは子育て に専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	71	91.5	33.8	53.5	22.5	15.5	21.1	53.5	21.1	59.2	4.2	—	—	
30 歳代	79	86.1	40.5	39.2	39.2	16.5	22.8	46.8	13.9	64.6	6.3	—	—	
40 歳代	72	93.1	40.3	43.1	29.2	16.7	27.8	30.6	27.8	63.9	8.3	—	—	
50 歳代	81	76.5	43.2	49.4	21.0	4.9	14.8	37.0	34.6	53.1	1.2	2.5	—	
60 歳代	95	73.7	41.1	49.5	15.8	11.6	17.9	35.8	26.3	48.4	2.1	1.1	1.1	
70 代以上	87	73.6	25.3	42.5	18.4	8.0	13.8	23.0	32.2	44.8	—	5.7	3.4	
男性 20 歳代	37	89.2	18.9	40.5	24.3	10.8	18.9	35.1	10.8	37.8	8.1	—	2.7	
30 歳代	47	76.6	21.3	46.8	23.4	10.6	17.0	29.8	12.8	55.3	2.1	4.3	2.1	
40 歳代	38	65.8	13.2	34.2	18.4	7.9	21.1	23.7	18.4	65.8	5.3	7.9	—	
50 歳代	61	86.9	24.6	37.7	18.0	9.8	18.0	32.8	23.0	47.5	6.6	3.3	—	
60 歳代	83	66.3	18.1	43.4	15.7	3.6	15.7	39.8	28.9	51.8	2.4	4.8	—	
70 代以上	93	68.8	22.6	48.4	19.4	15.1	26.9	31.2	26.9	41.9	1.1	6.5	6.5	

性・婚姻別でみると、他に比べ、女性未婚で「保育園や保育施設の数や内容が十分でないから」の割合が高くなっている。

性・共働き別でみると、他に比べ、女性共働きしているで「家事や育児との両立がむずかしいから」「家族の協力や理解が得られないから」「保育園や保育施設の数や内容が十分でないから」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	家事や育児との両立が むずかしいから	家族の協力や理解が 得られないから	育児休業や介護休業などの 制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性を きらい傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に 任せないから	職種も限られているから	男性に比べて賃金が安く、 職種も限られているから	保育園や保育施設の数や 内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が 難しいから	子どもが小さいうちは子育て に専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性 既婚	322	81.1	36.6	47.5	24.8	11.8	19.3	35.4	24.2	55.9	3.1	1.2	0.9	
未婚	159	82.4	39.0	42.8	22.0	11.3	19.5	41.5	29.6	54.1	4.4	2.5	0.6	
男性 既婚	255	73.3	22.7	42.4	18.4	9.8	21.2	32.2	21.6	53.7	3.1	4.3	1.6	
未婚	102	76.5	14.7	45.1	20.6	9.8	17.6	36.3	23.5	38.2	4.9	5.9	2.9	

【性・共働き別】

単位：％

区分	回答者数(件)	家事や育児との両立が むずかしいから	家族の協力や理解が 得られないから	育児休業や介護休業などの 制度が不十分だから	職場が結婚・出産した女性を きらい傾向があるから	職場が責任ある仕事を女性に 任せないから	職種も限られているから	男性に比べて賃金が安く、 職種も限られているから	保育園や保育施設の数や 内容が十分でないから	高齢者などの介護の両立が 難しいから	子どもが小さいうちは子育て に専念したいと考えているから	その他	わからない	無回答
女性 共働きしている	195	85.1	40.0	44.1	24.6	12.8	22.1	39.0	24.1	61.0	2.6	1.0	—	
共働きしていない	118	74.6	32.2	50.8	25.4	9.3	15.3	28.0	22.0	49.2	3.4	1.7	2.5	
男性 共働きしている	115	78.3	18.3	37.4	16.5	8.7	20.0	33.0	16.5	53.0	1.7	3.5	—	
共働きしていない	138	70.3	26.8	47.1	20.3	10.9	22.5	31.9	26.1	55.1	2.9	5.1	2.9	

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年に比べ、「保育施設の数や内容が十分でないから」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

	家事や育児との両立がむずかしいから	家族の協力や理解が得られないから	育児休業や介護休業などの制度が不十分だから	企業が結婚・出産した女性をきらく傾向があるから	企業が責任ある仕事を女性に任せないから	男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから	保育施設の数や内容が十分でないから	高齢者などの介護との両立が難しいから	子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから	女性自身に職業に対する熱意や積極性が不足しているから	その他	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	78.3	30.0	44.1	22.1	10.6	19.9	35.6	24.4	52.2	—	3.7	3.0	1.4
女性	81.6	37.3	46.2	23.9	12.0	19.4	37.3	26.2	55.1	—	3.5	1.6	0.8
男性	73.7	20.2	42.9	19.1	9.7	19.9	33.0	22.2	48.8	—	3.6	5.0	2.2
豊橋市（H28.8）	79.6	28.2	45.8	21.5	11.4	17.7	29.9	29.0	54.6	—	2.7	2.5	1.7
女性	78.2	36.2	45.6	24.1	11.0	16.9	30.6	30.1	59.1	—	2.5	2.2	1.3
男性	81.8	18.2	46.2	18.2	12.2	18.7	29.4	27.8	49.3	—	3.1	2.9	1.9
豊橋市（H26.9）	70.5	11.2	26.6	10.6	2.7	5.7	15.6	3.3	31.4	—	1.8	2.4	4.0
女性	69.8	13.4	23.4	10.4	1.3	6.3	15.8	4.1	33.7	—	1.5	2.0	4.8
男性	70.9	8.7	30.5	10.9	4.3	5.0	15.3	2.1	28.5	—	2.1	2.9	3.1
豊橋市（H23.6）	69.4	16.1	32.2	13.4	4.4	9.0	21.6	6.4	—	6.7	3.9	1.7	2.2
女性	69.0	21.1	32.5	14.8	3.6	8.5	21.1	7.5	—	5.0	4.1	1.3	1.8
男性	70.4	9.3	32.2	11.4	5.6	9.5	22.5	5.2	—	9.1	3.7	2.2	1.9

※令和元年調査、平成 28 年調査では、過去の調査と回答できる個数が異なります。

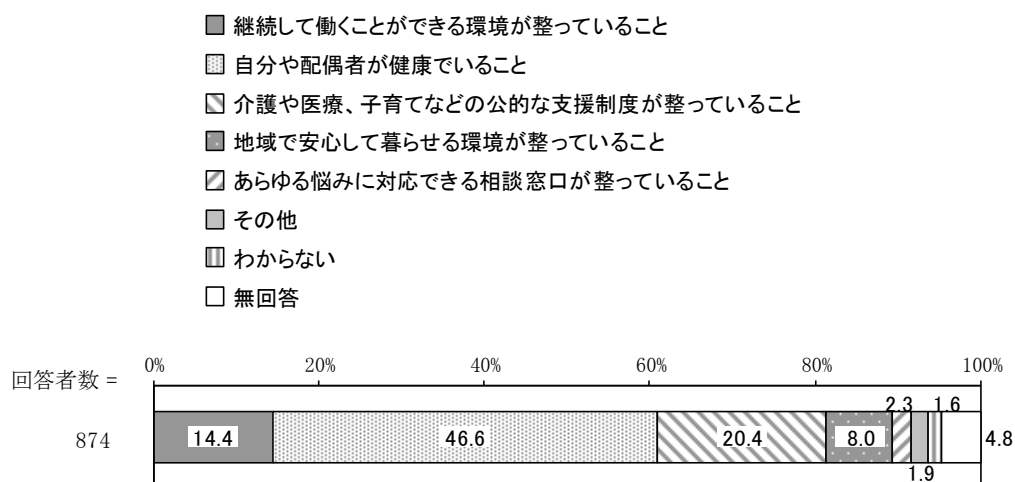
6 生涯を通じた生活について

6-1 生涯を通じて安心して暮らすための必要事項

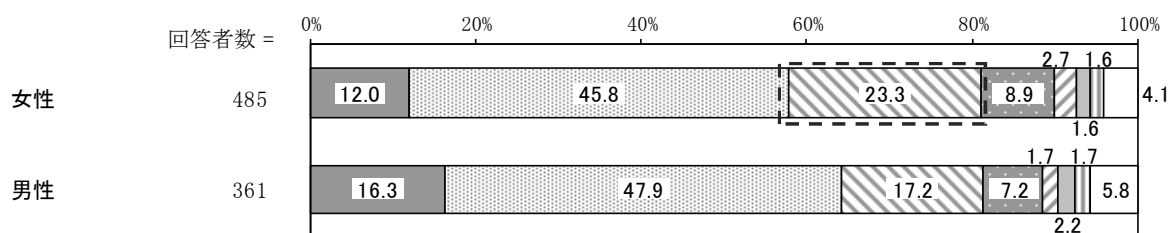
問 15. 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

「自分や配偶者が健康でいること」の割合が46.6%と最も高く、次いで「介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること」の割合が20.4%、「継続して働くことができる環境が整っていること」の割合が14.4%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること」の割合が高くなっている。

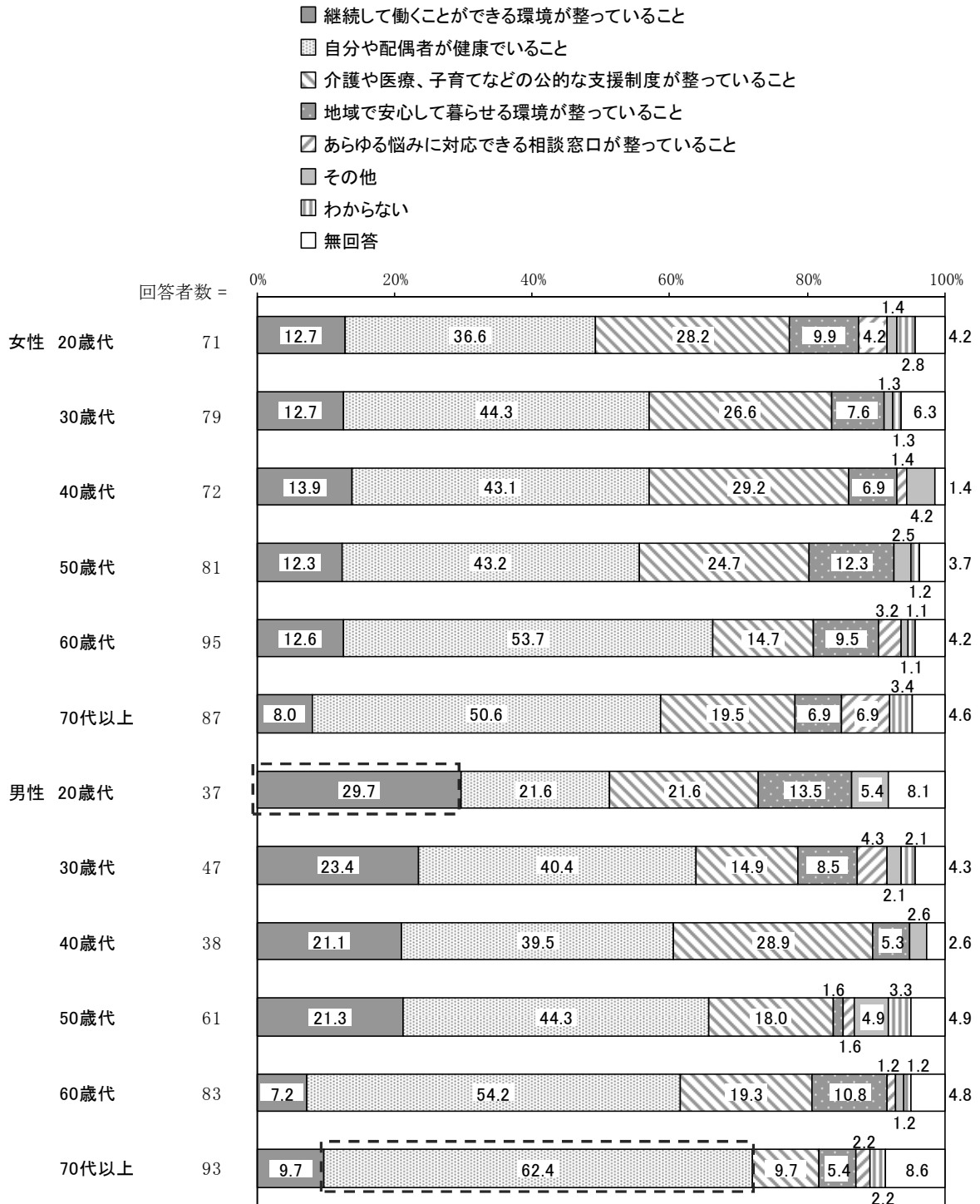


【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、男性 70 代以上で「自分や配偶者が健康でいること」の割合が高くなっている。また、男性 20 歳代で「継続して働くことができる環境が整っていること」の割合が高くなっている。

【性・年代別】



7 子どもへの男女共同参画教育について

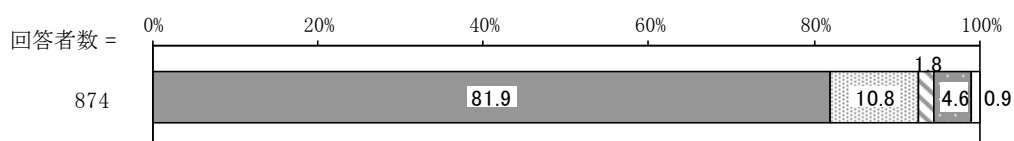
7-1 子育てについての考え方

問 16. 子育ての方針について、どのように考えますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

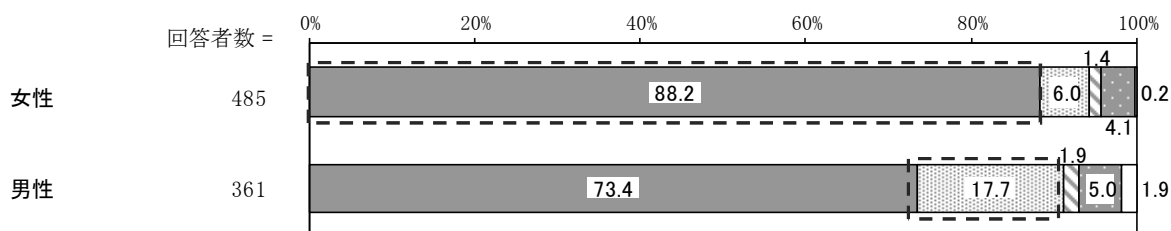
「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が81.9%と最も高く、次いで「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が10.8%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高くなっている。

- 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性(その子らしさ)を尊重するのがよい
- ▨ 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
- その他
- わからない
- 無回答

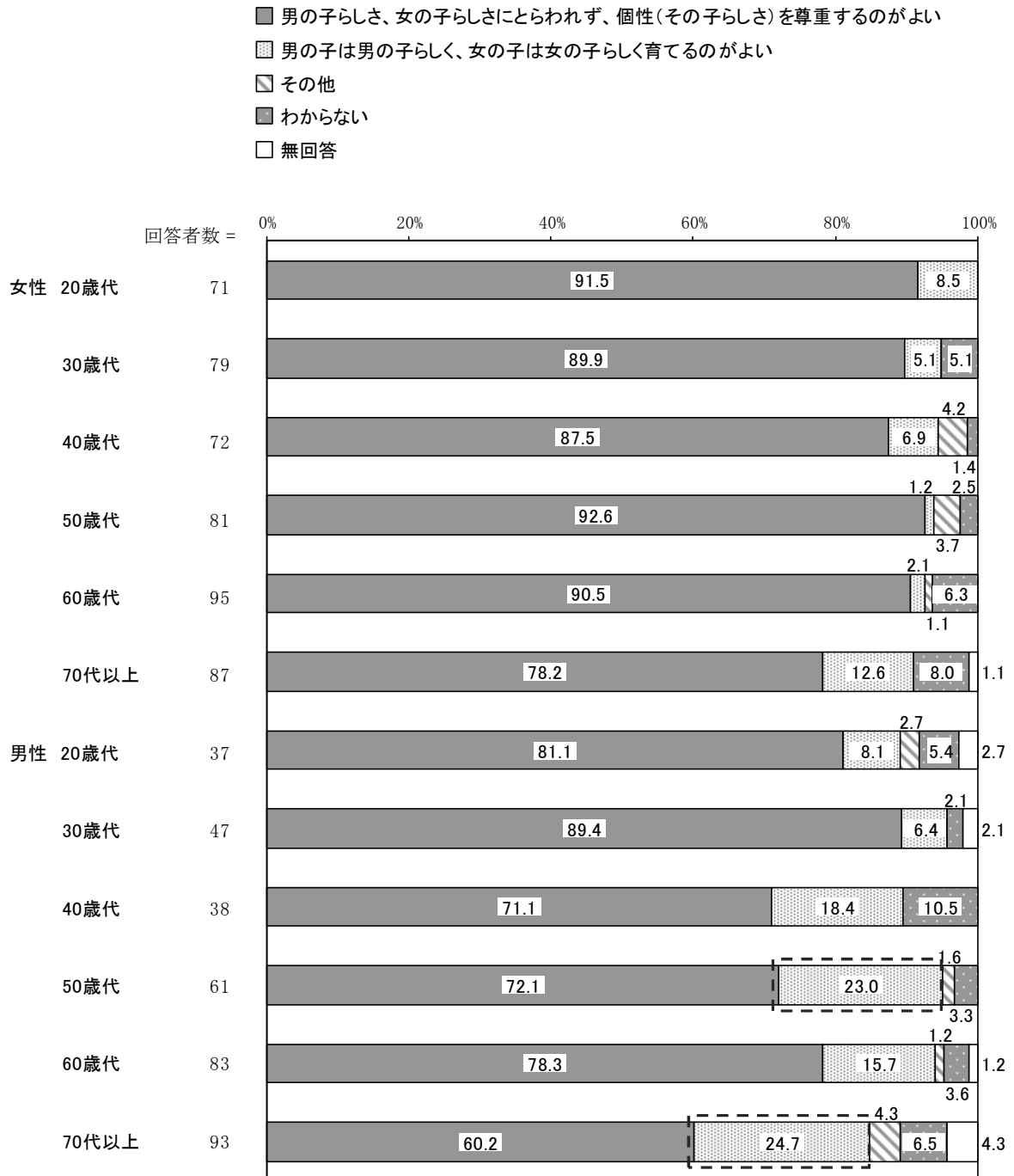


【性別】



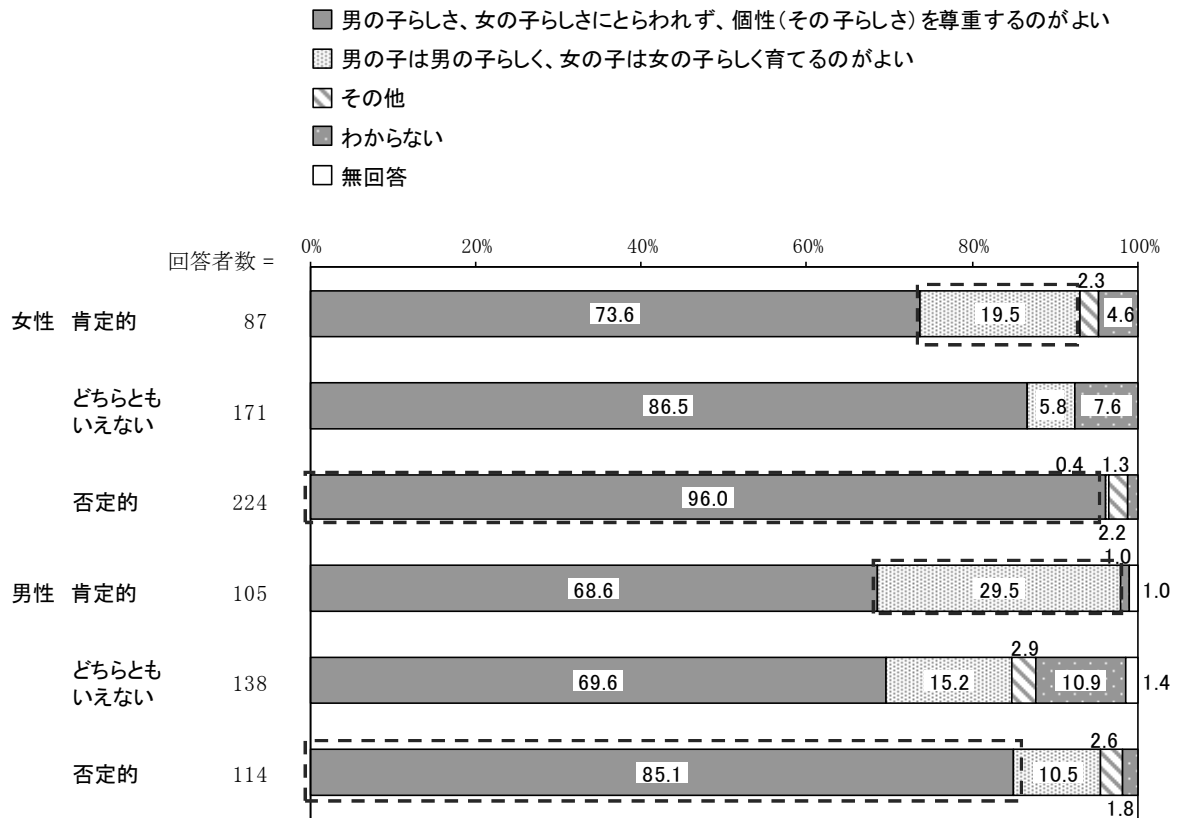
性・年代別で見ると、他に比べ、男性 50 歳代、70 代以上で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高くなっている。

【性・年代別】



性別役割分担意識別でみると、男女とも否定的で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が、肯定的で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高くなっている。

【性別役割分担意識別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和元年で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が最も高くなっている。

【経年比較】

単位：％

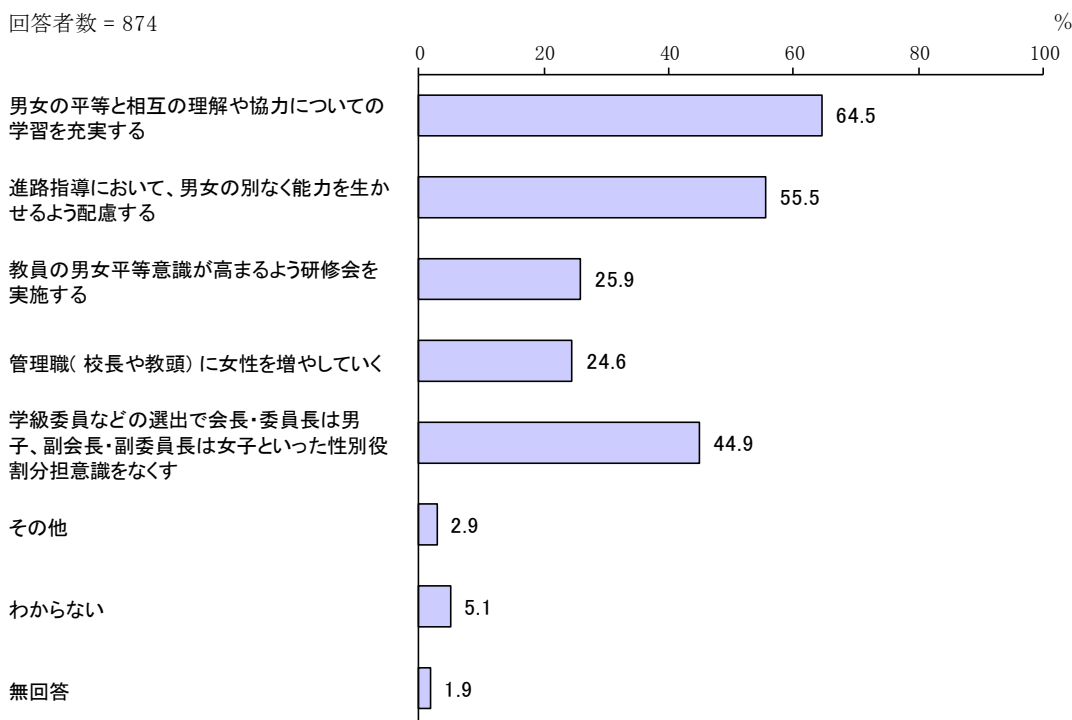
	男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい	男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい	その他	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	81.9	10.8	1.8	4.6	0.9
女性	88.2	6.0	1.4	4.1	0.2
男性	73.4	17.7	1.9	5.0	1.9
豊橋市（H28.8）	76.1	14.4	3.3	4.4	1.7
女性	80.4	9.5	4.1	4.3	1.6
男性	70.1	21.3	2.4	4.8	1.4
豊橋市（H26.9）	69.5	20.6	1.9	4.8	3.3
女性	73.0	15.8	2.5	4.8	4.0
男性	65.0	26.4	1.2	4.9	2.5
豊橋市（H23.6）	68.6	22.6	3.3	3.8	1.7
女性	75.5	15.9	4.3	2.7	1.7
男性	60.3	30.9	2.2	5.4	1.3
豊橋市（H20.5）	62.3	28.0	4.1	3.2	2.4
女性	67.7	21.7	5.8	3.4	1.4
男性	56.0	36.7	2.2	3.0	2.2
豊橋市（H17.5）	55.9	33.9	3.3	3.3	3.6
女性	61.6	27.0	3.9	4.1	3.4
男性	48.4	43.5	2.3	2.3	3.5
豊橋市（H13.8）	61.5	29.1	3.4	3.5	2.6
女性	66.9	24.3	3.9	2.8	2.2
男性	54.8	36.2	2.8	3.6	2.6

7-2 男女平等のための学校教育のあり方

問 17. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が 55.5%、「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が 44.9%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高くなっている。



【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性	485	63.5	59.6	24.3	24.7	45.4	1.9	4.5	2.1
男性	361	65.4	50.7	28.8	24.1	44.0	3.0	5.8	1.9

性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 歳代で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高くなっている。また、女性 20 歳代、30 歳代で「管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数（件）	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	71	54.9	56.3	22.5	38.0	49.3	—	5.6	—
30 歳代	79	64.6	65.8	27.8	35.4	51.9	5.1	1.3	—
40 歳代	72	63.9	51.4	20.8	29.2	44.4	2.8	1.4	—
50 歳代	81	74.1	53.1	25.9	17.3	42.0	2.5	4.9	—
60 歳代	95	69.5	64.2	23.2	18.9	40.0	1.1	7.4	1.1
70 代以上	87	52.9	64.4	25.3	13.8	46.0	—	5.7	10.3
男性 20 歳代	37	59.5	48.6	21.6	27.0	51.4	8.1	—	2.7
30 歳代	47	70.2	53.2	31.9	27.7	40.4	2.1	4.3	—
40 歳代	38	60.5	52.6	26.3	18.4	39.5	2.6	13.2	—
50 歳代	61	70.5	50.8	31.1	24.6	45.9	3.3	3.3	1.6
60 歳代	83	69.9	49.4	27.7	22.9	42.2	1.2	2.4	—
70 代以上	93	60.2	50.5	31.2	24.7	46.2	3.2	10.8	4.3

性・婚姻別で見ると、他に比べ、男性既婚で「教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく	学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
女性 既婚	322	68.0	60.2	22.4	24.8	45.3	1.9	3.1	1.6
女性 未婚	159	53.5	57.9	27.7	24.5	45.3	1.9	7.5	3.1
男性 既婚	255	68.6	52.9	<u>31.8</u>	25.5	45.5	2.7	4.7	0.8
男性 未婚	102	58.8	46.1	22.5	21.6	42.2	3.9	7.8	2.9

豊橋市の過去の調査との比較でみると、「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」が過去最高となっている。

【経年比較】

単位：％

	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する	教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する	管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく	出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす	会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす	その他	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	64.5	55.5	25.9	24.6	—	44.9	2.9	5.1	1.9
女性	63.5	59.6	24.3	24.7	—	45.4	1.9	4.5	2.1
男性	65.4	50.7	28.8	24.1	—	44.0	3.0	5.8	1.9
豊橋市（H28.8）	62.5	56.0	25.5	23.3	—	44.5	3.7	5.9	1.4
女性	62.3	57.5	23.6	25.4	—	44.7	2.5	6.5	0.9
男性	62.9	54.1	27.8	20.8	—	44.3	5.5	5.0	1.7
豊橋市（H26.9）	57.7	48.7	13.7	14.5	5.5	28.7	2.4	6.5	2.9
女性	59.5	50.6	12.6	12.8	4.8	27.7	1.7	7.0	3.5
男性	55.7	46.8	15.1	16.1	6.4	29.1	3.3	6.0	2.3
豊橋市（H23.6）	53.3	43.8	15.4	16.2	7.8	27.5	4.3	5.6	3.1
女性	55.1	46.4	12.9	14.8	6.1	29.7	3.2	6.8	3.0
男性	51.0	40.2	18.1	18.4	10.2	25.3	5.8	4.3	2.6
豊橋市（H20.5）	51.0	47.8	15.3	20.5	6.7	36.1	3.5	—	2.9
女性	51.8	49.1	14.8	21.4	5.9	34.6	2.5	—	2.3
男性	50.6	46.0	16.7	18.8	7.7	36.9	5.0	—	3.6
豊橋市（H17.5）	51.5	54.3	12.0	18.2	5.9	31.9	2.6	—	4.3
女性	53.9	54.9	10.7	20.0	5.4	29.3	2.1	—	4.2
男性	47.7	53.0	14.3	16.4	6.8	36.0	3.5	—	4.2
豊橋市（H13.8）	51.0	57.6	13.3	15.7	6.5	31.0	2.1	—	3.8
女性	52.7	58.8	12.2	17.8	7.1	30.8	1.4	—	3.2
男性	48.8	55.8	15.2	12.7	5.9	31.0	3.1	—	4.1

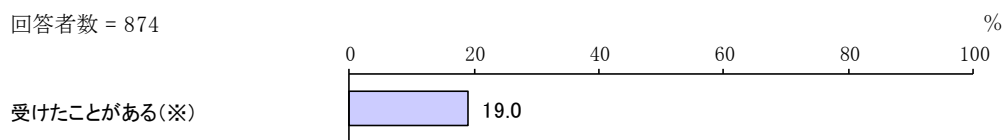
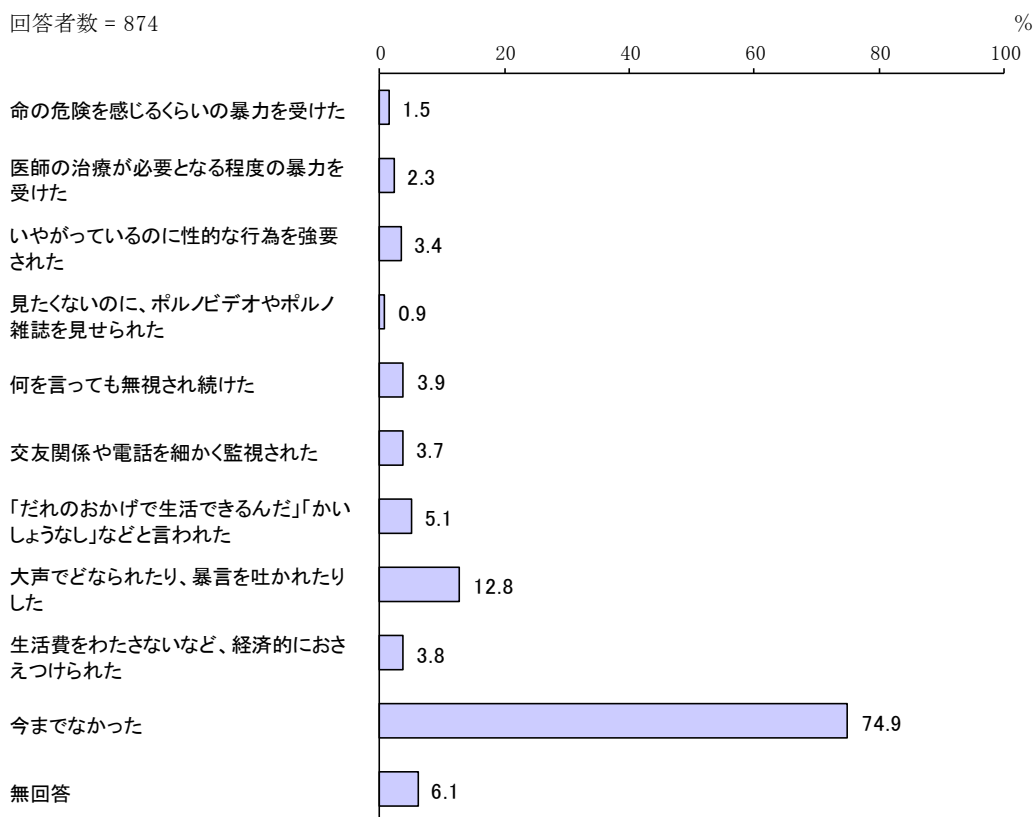
※令和元年調査、平成28年調査では、過去の調査と回答できる個数が異なります。

8 配偶者等からの暴力について

8-1 配偶者や交際相手から暴力を受けた経験

問 18. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「今までなかった」の割合が74.9%と最も高く、次いで「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が12.8%となっている。全体から「今までなかった」と無回答を除いた“何らかの暴力を受けたことがある(※)”人の割合は19.0%となっている。



※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性別でみると、男性に比べ、女性で「いやがっているのに性的な行為を強要された」「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「今までなかった」の割合が高くなっている。また、男性に比べ、女性で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”割合が高く25.8%となっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた	吐かれたりした	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	受けたことがある(※)
女性	485	2.3	3.3	<u>5.8</u>	1.4	3.3	5.2	6.8	<u>19.0</u>	5.4	69.9	4.3	<u>25.8</u>	
男性	361	—	0.6	0.3	0.3	4.4	1.4	2.5	4.4	1.4	<u>82.3</u>	8.0	9.7	

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 60 歳代で「いやがっているのに性的な行為を強要された」「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が高くなっている。また、女性 40 歳代で「『だれのおかげで生活できるんだ』『かいしょうなし』などと言われた」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：％

区分	回答者数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	受けたことがある(※)
女性 20 歳代	71	—	—	1.4	—	1.4	7.0	1.4	9.9	2.8	83.1	2.8	14.1
30 歳代	79	1.3	—	7.6	—	5.1	7.6	8.9	19.0	6.3	73.4	—	26.6
40 歳代	72	5.6	5.6	5.6	2.8	6.9	8.3	12.5	20.8	4.2	65.3	2.8	31.9
50 歳代	81	4.9	6.2	2.5	1.2	2.5	4.9	4.9	19.8	6.2	74.1	1.2	24.7
60 歳代	95	2.1	4.2	13.7	3.2	3.2	3.2	6.3	26.3	7.4	56.8	5.3	37.9
70 代以上	87	—	3.4	2.3	1.1	1.1	1.1	6.9	16.1	4.6	70.1	12.6	17.3
男性 20 歳代	37	—	—	—	—	2.7	—	2.7	2.7	—	89.2	5.4	5.4
30 歳代	47	—	—	—	—	4.3	4.3	4.3	6.4	—	78.7	6.4	14.9
40 歳代	38	—	—	—	—	5.3	—	2.6	10.5	—	84.2	2.6	13.2
50 歳代	61	—	1.6	—	—	6.6	—	1.6	3.3	3.3	86.9	3.3	9.8
60 歳代	83	—	1.2	—	1.2	2.4	3.6	—	1.2	1.2	86.7	6.0	7.3
70 代以上	93	—	—	1.1	—	5.4	—	3.2	5.4	2.2	75.3	16.1	8.6

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別で見ると、他に比べ、女性既婚で「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	命の危険を感じるくらいの暴力を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた	いやがっているのに性的な行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした	生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	今までなかった	無回答	受けたことがある(※)
女性 既婚	322	1.6	2.5	4.7	0.6	3.7	3.7	6.5	<u>20.2</u>	3.7	71.7	3.1	25.2
女性 未婚	159	3.8	5.0	7.5	3.1	2.5	8.2	6.9	16.4	8.8	66.0	6.9	27.1
男性 既婚	255	—	0.8	0.4	0.4	4.7	1.2	2.7	4.7	1.2	84.3	6.3	9.4
男性 未婚	102	—	—	—	—	3.9	2.0	2.0	3.9	2.0	79.4	9.8	10.8

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年調査に比べ、令和元年で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

	命の危険を感じるくらいの暴行を受けた	医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	いやがっているのに性的行為を強要された	見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	何を言っても無視され続けた	交友関係や電話を細かく監視された	「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」と言われた	大声でどなられたり、暴言を吐かれた	生活費をわたされれないなど、経済的におさえつけられた	医師の治療が必要でない程度の暴行を受けた	今までなかった（そのようなことはなかった）	無回答 H20 調査では該当なし（そのようなことはなかった）として分析	何らかの暴力を受けたことがある（※）
豊橋市（R01.8）	1.5	2.3	3.4	0.9	3.9	3.7	5.1	12.8	3.8	—	74.9	6.1	19.0
女性	2.3	3.3	5.8	1.4	3.3	5.2	6.8	19.0	5.4	—	69.9	4.3	25.8
男性	0.0	0.6	0.3	0.3	4.4	1.4	2.5	4.4	1.4	—	82.3	8.0	9.7
豊橋市（H28.8）	1.1	1.8	2.6	0.6	3.2	2.7	3.5	8.6	2.5	—	78.8	6.4	14.8
女性	1.6	3.1	4.7	1.1	3.2	4.1	5.8	13.9	4.0	—	71.5	7.0	21.5
男性	0.5	0.2	—	—	3.3	1.0	0.7	1.7	0.7	—	88.8	4.8	6.4
豊橋市（H26.9）	0.7	1.6	2.7	0.4	4.0	2.8	4.4	10.5	2.7	—	73.7	9.1	17.2
女性	1.3	2.8	5.0	0.8	4.5	4.1	6.8	15.4	4.6	—	68.2	6.6	25.2
男性	—	0.2	—	—	3.1	1.4	1.7	4.5	0.4	—	80.4	11.8	7.8
豊橋市（H23.6）	1.7	1.4	4.3	0.8	5.6	3.7	5.3	13.2	3.9	—	73.3	4.3	22.4
女性	2.5	2.0	6.6	0.8	4.6	4.3	7.5	17.9	6.3	—	67.8	3.5	28.7
男性	0.6	0.6	1.1	0.6	6.7	2.8	2.4	6.9	0.6	—	80.3	5.2	14.5
豊橋市（H20.5）	1.1	1.9	4.0	0.9	5.9	4.2	5.8	13.9	3.3	3.1	—	76.5	23.5
女性	1.9	3.1	6.2	1.1	5.1	4.2	7.3	18.9	5.5	4.8	—	70.4	29.6
男性	0.2	0.4	1.2	0.6	6.9	4.2	4.0	8.1	0.8	0.8	—	83.7	16.3
豊橋市（H17.5）	0.6	0.9	3.1	0.3	3.7	3.7	4.0	9.7	2.4	3.3	72.2	9.9	17.9
女性	1.0	1.3	5.2	0.3	3.9	3.9	5.4	13.8	3.6	5.2	67.6	8.6	23.8
男性	0.0	0.2	0.2	0.2	3.3	3.3	2.1	4.2	0.7	0.7	78.7	11.4	9.9
豊橋市（H13.8）	1.0	1.4	4.3	0.6	3.5	2.8	3.9	8.3	2.2	3.9	68.5	15.6	15.9
女性	1.8	2.4	6.9	1.0	3.9	3.4	5.7	12.6	3.4	5.9	65.1	12.6	22.3
男性	0.0	0.0	1.0	0.3	2.8	2.1	1.6	3.1	0.5	1.6	74.4	18.3	7.3

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

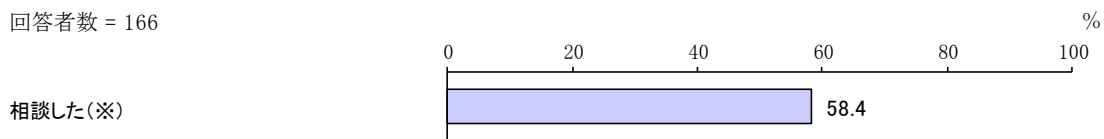
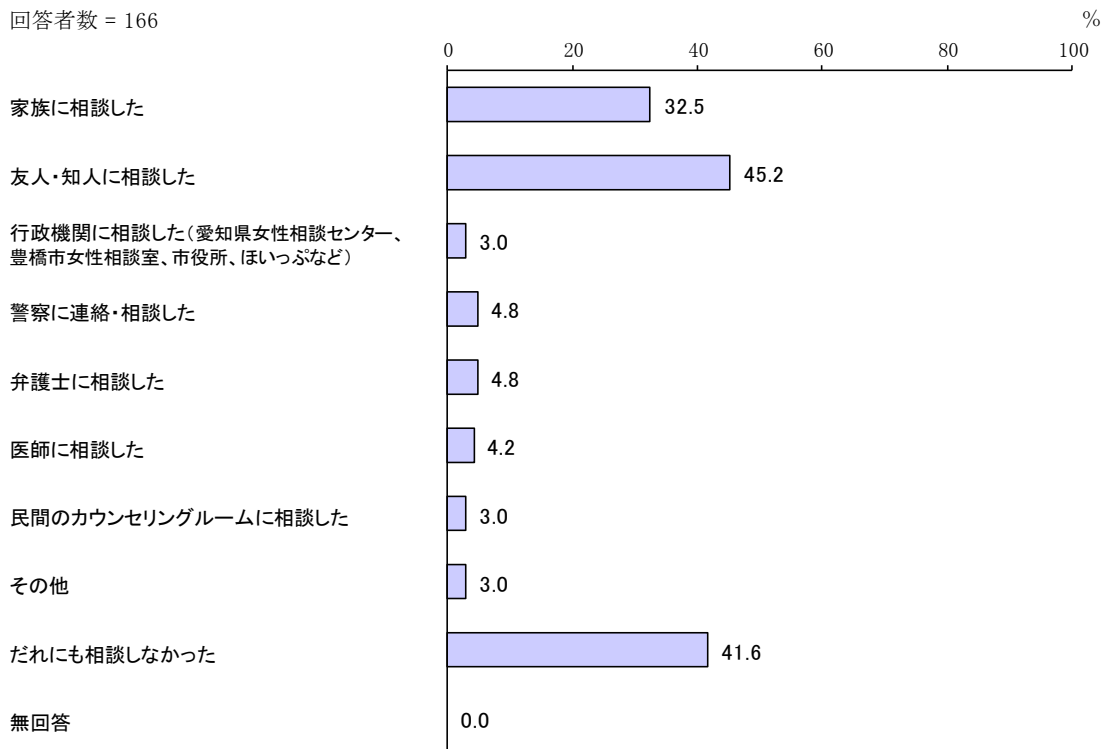
8-2 暴力行為についての相談相手

《問18で、1から9を選んだ方にのみお聞きします》

問18-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「友人・知人に相談した」の割合が45.2%と最も高く、次いで「だれにも相談しなかった」の割合が41.6%、「家族に相談した」の割合が32.5%となっている。

全体から「だれにも相談しなかった」と無回答を除いた“相談した(※)”人の割合は58.4%となっている。



※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族に相談した」「友人・知人に相談した」の割合が高くなっている。女性に比べ、男性で「弁護士に相談した」の割合が高くなっている。また、男女ともに「だれにも相談しなかった」の割合が最も高く、女性で 37.6%、男性で 57.1%となっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぷなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性	125	35.2	48.0	2.4	4.8	1.6	4.8	2.4	3.2	37.6	—	62.4
男性	35	20.0	37.1	—	—	14.3	—	2.9	2.9	57.1	—	42.9

※全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 歳代で「友人・知人に相談した」の割合が、女性 40 歳代、50 歳代で「医師に相談した」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぷなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性 20 歳代	10	60.0	50.0	—	10.0	—	—	—	—	20.0	—	80.0
30 歳代	21	47.6	57.1	—	—	4.8	—	—	—	28.6	—	71.4
40 歳代	23	30.4	69.6	4.3	13.0	—	13.0	4.3	—	30.4	—	69.6
50 歳代	20	50.0	55.0	5.0	5.0	5.0	15.0	5.0	5.0	20.0	—	80.0
60 歳代	36	30.6	36.1	2.8	2.8	—	—	2.8	2.8	50.0	—	50.0
70 代以上	15	—	20.0	—	—	—	—	—	13.3	66.7	—	33.3
男性 20 歳代	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0
30 歳代	7	14.3	28.6	—	—	14.3	—	—	—	71.4	—	28.6
40 歳代	5	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	0.0
50 歳代	6	—	66.7	—	—	16.7	—	—	—	33.3	—	66.7
60 歳代	6	16.7	50.0	—	—	33.3	—	—	16.7	66.7	—	33.3
70 代以上	8	37.5	37.5	—	—	12.5	—	12.5	—	37.5	—	62.5

※全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別で見ると、男性未婚で「友人・知人に相談した」「弁護士に相談した」の割合が、男性既婚で「だれにも相談しなかった」の割合が高くなっている。

【性・婚姻別】

単位：％

区分	回答者数(件)	家族に相談した	友人・知人に相談した	行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぷなど)	警察に連絡・相談した	弁護士に相談した	医師に相談した	民間のカウンセリングルームに相談した	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
女性 既婚	81	35.8	46.9	2.5	4.9	2.5	6.2	2.5	2.5	39.5	—	60.5
女性 未婚	43	34.9	48.8	—	2.3	—	2.3	—	4.7	34.9	—	65.1
男性 既婚	24	16.7	29.2	—	—	12.5	—	4.2	4.2	66.7	—	33.3
男性 未婚	11	27.3	54.5	—	—	18.2	—	—	—	36.4	—	63.6

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年に比べて大きな変化はみられない。

【経年比較】

単位：%

	家族	友人・知人	行政機関	警察	弁護士	医師	民間のカウンセリングルーム	その他	だれにも相談しなかった	無回答	相談した(※)
豊橋市 (R01.8)	32.5	45.2	3.0	4.8	4.8	4.2	3.0	3.0	41.6	0.0	58.4
女性	35.2	48.0	2.4	4.8	1.6	4.8	2.4	3.2	37.6	0.0	62.4
男性	20.0	37.1	0.0	0.0	14.3	0.0	2.9	2.9	57.1	0.0	42.9
豊橋市 (H28.8)	28.6	38.1	3.4	3.4	0.7	2.0	1.4	4.1	41.5	1.4	57.1
女性	31.9	42.9	4.2	4.2	0.8	1.7	1.7	4.2	36.1	0.8	63.1
男性	14.8	18.5	—	—	—	3.7	—	3.7	63.0	3.7	33.3
豊橋市 (H26.9)	30.9	36.6	2.1	2.1	4.1	1.0	0.5	2.1	38.7	2.1	79.4
女性	32.9	40.8	2.6	2.6	4.6	1.3	0.7	2.6	32.9	2.0	88.1
男性	22.5	20.0	—	—	2.5	—	—	—	60.0	2.5	45.0
豊橋市 (H23.6)	27.2	36.2	5.3	2.9	2.5	2.9	2.5	2.5	43.6	1.6	54.8
女性	31.2	40.5	6.4	2.3	2.9	2.3	2.3	2.9	37.6	1.7	60.7
男性	17.9	23.9	3.0	4.5	1.5	4.5	3.0	1.5	59.7	1.5	38.8
豊橋市 (H20.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	53.3	6.9	39.9
女性	—	—	—	—	—	—	—	—	51.6	5.8	42.6
男性	—	—	—	—	—	—	—	—	56.1	9.8	34.1
豊橋市 (H17.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	29.1	50.3	20.6
女性	—	—	—	—	—	—	—	—	28.8	47.9	23.3
男性	—	—	—	—	—	—	—	—	31.0	57.1	11.9

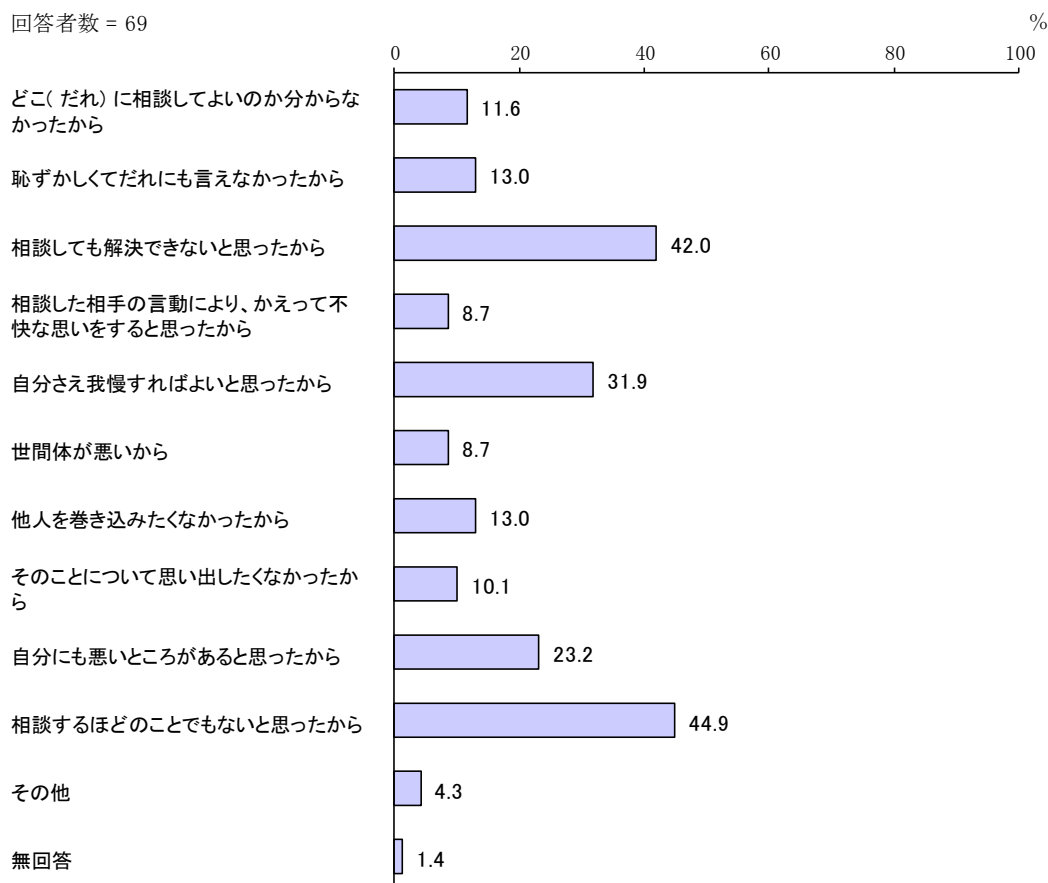
※全体から「誰にも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

8-3 相談をしなかった理由

《問18-1で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問18-2. だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が44.9%と最も高く、次いで「相談しても解決できないと思ったから」の割合が42.0%、「自分さえ我慢すればよいと思ったから」の割合が31.9%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」「相談しても解決できないと思ったから」「相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから」「自分さえ我慢すればよいと思ったから」「そのことについて思い出したくなかったから」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	どこ(だれ)に相談してよいか分からなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談しても解決できないと思ったから	相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すればよいと思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思っただから	相談するほどのことでもないと思っただから	その他	無回答
女性	47	10.6	17.0	48.9	12.8	38.3	8.5	14.9	10.6	8.5	42.6	6.4	—
男性	20	15.0	5.0	25.0	—	20.0	10.0	10.0	5.0	50.0	55.0	—	5.0

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年に比べ、令和元年で「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が高くなっている一方、「相談してもむだだと思ったから」「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：%

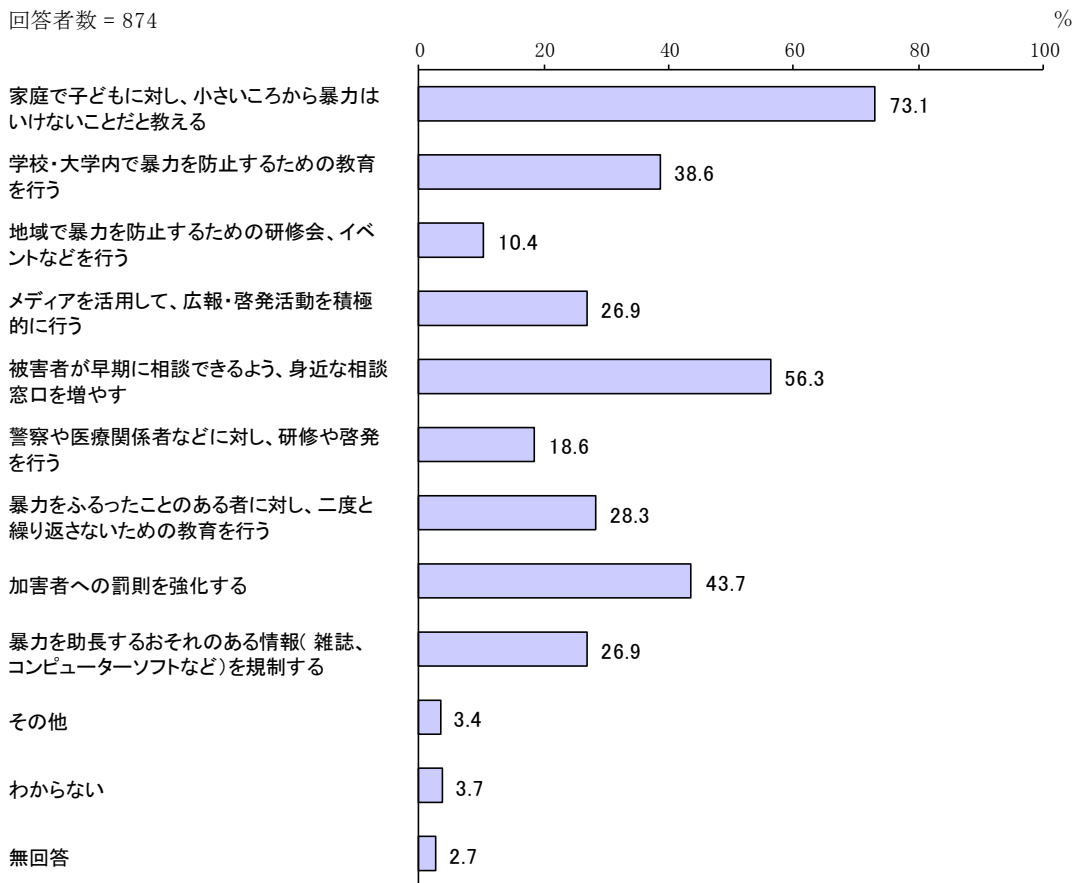
	から どこ(だれ)に相談してよいのか分からなかった	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談しても解決できないと思ったから	相談したことがわかると、もっとひどい暴力をうけると思ったから	相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから	自分さえ我慢すればよいと思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	そのことについて思い出しくなかつたから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことでもないと思ったから	その他	無回答
豊橋市 (R01.8)	11.6	13.0	42.0	—	8.7	31.9	8.7	13.0	10.1	23.2	44.9	4.3	1.4
女性	10.6	17.0	48.9	—	12.8	38.3	8.5	14.9	10.6	8.5	42.6	6.4	0.0
男性	15.0	5.0	25.0	—	0.0	20.0	10.0	10.0	5.0	50.0	55.0	0.0	5.0
豊橋市 (H28.8)	11.5	14.8	52.5	—	6.6	41.0	13.1	13.1	9.8	31.1	24.6	9.8	—
女性	11.6	16.3	53.5	—	7.0	39.5	9.3	14.0	14.0	25.6	20.9	11.6	—
男性	11.8	11.8	47.1	—	5.9	41.2	23.5	11.8	—	47.1	35.3	5.9	—
豊橋市 (H26.9)	4.0	16.0	38.7	—	4.0	32.0	6.7	14.7	4.0	25.3	44.0	9.3	1.3
女性	6.0	18.0	42.0	—	6.0	38.0	6.0	14.0	6.0	20.0	32.0	10.0	—
男性	—	12.5	33.3	—	—	20.8	8.3	16.7	—	33.3	66.7	8.3	4.2
豊橋市 (H23.6)	5.7	15.1	33.0	0.9	2.8	25.5	6.6	9.4	4.7	30.2	52.8	—	0.9
女性	7.7	18.5	30.8	0.0	4.6	27.7	6.2	9.2	1.5	23.1	49.2	—	1.5
男性	2.5	7.5	37.5	0.0	0.0	22.5	7.5	10.0	10.0	42.5	60.0	—	0.0
豊橋市 (H20.5)	12.2	12.2	41.5	8.2	4.8	30.6	5.4	12.2	8.8	31.3	40.8	2.7	0.0
女性	12.2	10.2	42.9	8.2	4.1	29.6	5.1	11.2	10.2	25.5	38.8	3.1	0.0
男性	13.0	17.4	39.1	8.7	6.5	30.4	6.5	15.2	6.5	43.5	43.5	2.2	0.0
豊橋市 (H17.5)	5.5	29.1	36.4	9.1	3.6	41.8	9.1	12.7	10.9	23.6	29.1	1.8	1.8
女性	4.8	31.0	31.0	11.9	4.8	40.5	9.5	14.3	14.3	19.0	23.8	2.4	0.0
男性	7.7	23.1	53.8	0.0	0.0	46.2	7.7	7.7	0.0	38.5	46.2	0.0	7.7
豊橋市 (H13.8)	6.8	22.7	47.7	6.8	4.5	34.1	13.6	15.9	9.1	36.4	38.6	6.8	2.3
女性	9.1	21.2	54.5	9.1	6.1	33.3	12.1	15.2	12.1	33.3	39.4	3.0	0.0
男性	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0	30.0	20.0	20.0	0.0	50.0	40.0	20.0	10.0

8-4 男女間の暴力を防止するために必要なこと

問 19. 男女間における暴力を防止するために必要と思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が73.1%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が56.3%、「加害者への罰則を強化する」の割合が43.7%となっている。

回答者数 = 874



性別でみると、男性に比べ、女性で「メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う」「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	暴力はいけないことだと教える	家庭で子どもに対し、小さいころから	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピュータソフトなど)を規制する	その他	わからない	無回答
女性	485	74.4	39.0	7.8	29.9	61.4	18.8	30.5	41.6	27.6	3.1	3.1	2.5	
男性	361	70.9	37.7	13.9	22.4	50.7	19.1	24.9	46.0	24.9	3.6	4.4	3.3	

性・年代別で見ると、男女とも年代が低くなるにつれ「加害者への罰則を強化する」の割合が高くなる傾向がみられる。また、他に比べ、女性 50 歳代で「学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う」の割合が、女性 60 歳代で「メディアを活用して、広報・啓発活動을積極的に行う」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	暴力は子供にも対し、小さいころから	家庭で子どもに対し、小さいころから	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力を犯ったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を規制する	その他	わからない	無回答
女性 20 歳代	71	66.2	36.6	5.6	23.9	69.0	12.7	35.2	57.7	11.3	1.4	—	—	
30 歳代	79	73.4	41.8	7.6	30.4	59.5	26.6	31.6	53.2	22.8	7.6	5.1	1.3	
40 歳代	72	76.4	34.7	8.3	26.4	63.9	22.2	30.6	45.8	33.3	4.2	1.4	1.4	
50 歳代	81	77.8	53.1	8.6	30.9	69.1	24.7	38.3	34.6	35.8	2.5	2.5	1.2	
60 歳代	95	80.0	40.0	10.5	42.1	58.9	15.8	26.3	33.7	32.6	2.1	1.1	4.2	
70 代以上	87	71.3	27.6	5.7	23.0	50.6	11.5	23.0	29.9	27.6	1.1	8.0	5.7	
男性 20 歳代	37	64.9	18.9	10.8	16.2	48.6	29.7	16.2	70.3	8.1	8.1	—	5.4	
30 歳代	47	72.3	36.2	6.4	23.4	46.8	21.3	25.5	53.2	14.9	8.5	2.1	4.3	
40 歳代	38	52.6	39.5	15.8	21.1	55.3	18.4	26.3	36.8	13.2	2.6	10.5	—	
50 歳代	61	73.8	36.1	19.7	31.1	57.4	21.3	34.4	50.8	32.8	6.6	3.3	—	
60 歳代	83	75.9	45.8	13.3	21.7	49.4	18.1	18.1	41.0	32.5	—	4.8	1.2	
70 代以上	93	74.2	39.8	15.1	20.4	49.5	14.0	28.0	38.7	30.1	1.1	4.3	7.5	

豊橋市の平成 28 年との比較でみると、大きな変化はみられない。

【経年比較】

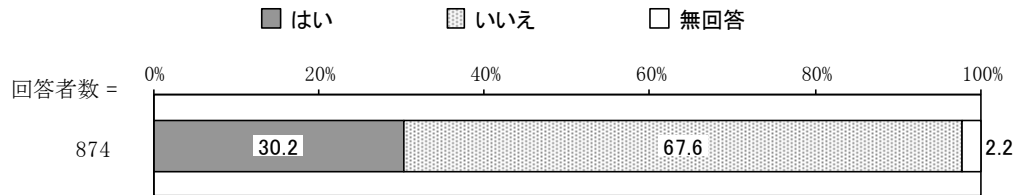
単位：%

	家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える	学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う	地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）を規制する	その他	わからない	無回答
豊橋市（R01.8）	73.1	38.6	10.4	26.9	56.3	18.6	28.3	43.7	26.9	3.4	3.7	2.7
女性	74.4	39.0	7.8	29.9	61.4	18.8	30.5	41.6	27.6	3.1	3.1	2.5
男性	70.9	37.7	13.9	22.4	50.7	19.1	24.9	46.0	24.9	3.6	4.4	3.3
豊橋市（H28.8）	76.7	36.8	11.1	25.5	53.9	19.1	30.9	40.8	26.1	3.7	3.5	2.5
女性	78.6	37.7	9.9	24.1	54.8	17.3	33.7	37.7	30.5	3.2	3.2	2.7
男性	74.6	36.1	12.7	28.0	52.9	21.1	27.5	45.5	20.6	4.5	3.8	1.9
豊橋市（H26.9）	76.2	32.7	9.0	20.6	51.5	16.1	28.0	36.6	28.1	3.1	4.0	3.8
女性	78.9	35.5	7.3	21.1	55.6	16.3	30.7	35.8	32.7	2.5	3.6	3.6
男性	72.8	28.9	11.1	20.2	46.8	16.3	25.0	37.9	22.7	3.9	4.5	3.9

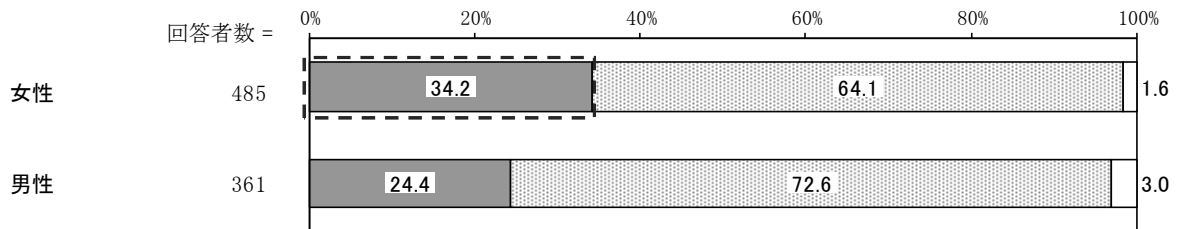
8-5 豊橋市DV相談窓口の認知度

問 20. 豊橋市にDV相談窓口（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

「はい」の割合が30.2%、「いいえ」の割合が67.6%となっている。
性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっている。

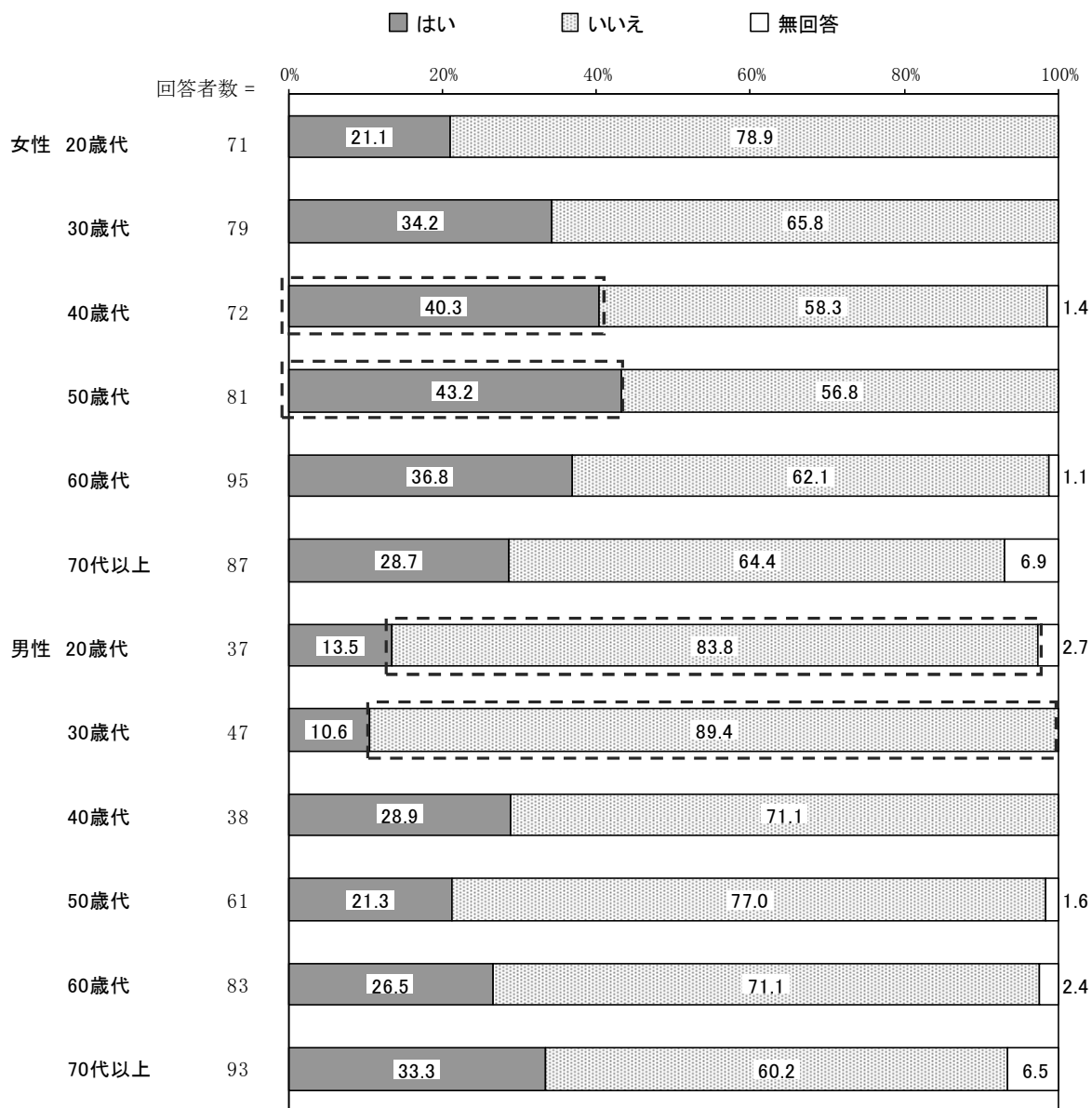


【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 歳代、30 歳代で「いいえ」の割合が高くなっている。また、女性 40 歳代、50 歳代で「はい」の割合が高くなっている。

【性・年代別】



豊橋市の平成 28 年との比較で見ると、「いいえ」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

	はい	いいえ	無回答
豊橋市（R01.8）	30.2	67.6	2.2
女性	34.2	64.1	1.6
男性	24.4	72.6	3.0
豊橋市（H28.8）	32.9	61.9	5.3
女性	37.8	57.5	4.7
男性	26.3	68.2	5.5
豊橋市（H26.9）	28.8	65.1	6.0
女性	33.7	60.2	6.1
男性	23.3	70.9	5.8

9 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

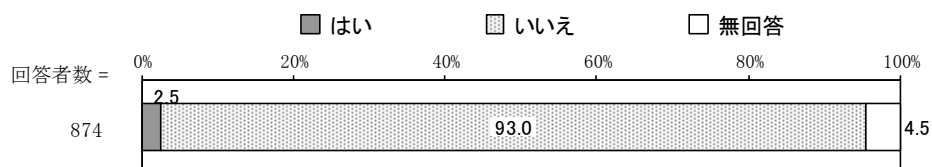
9-1 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無

問 21. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

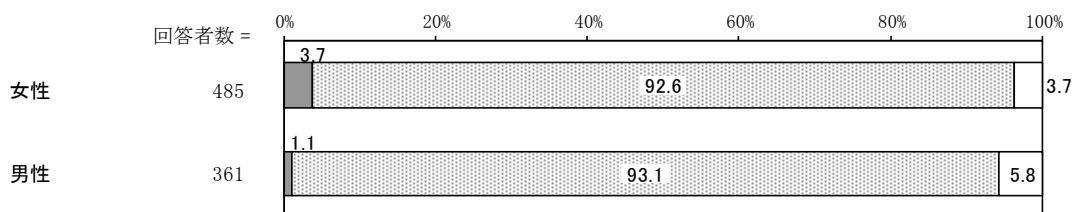
「はい」の割合が2.5%、「いいえ」の割合が93.0%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

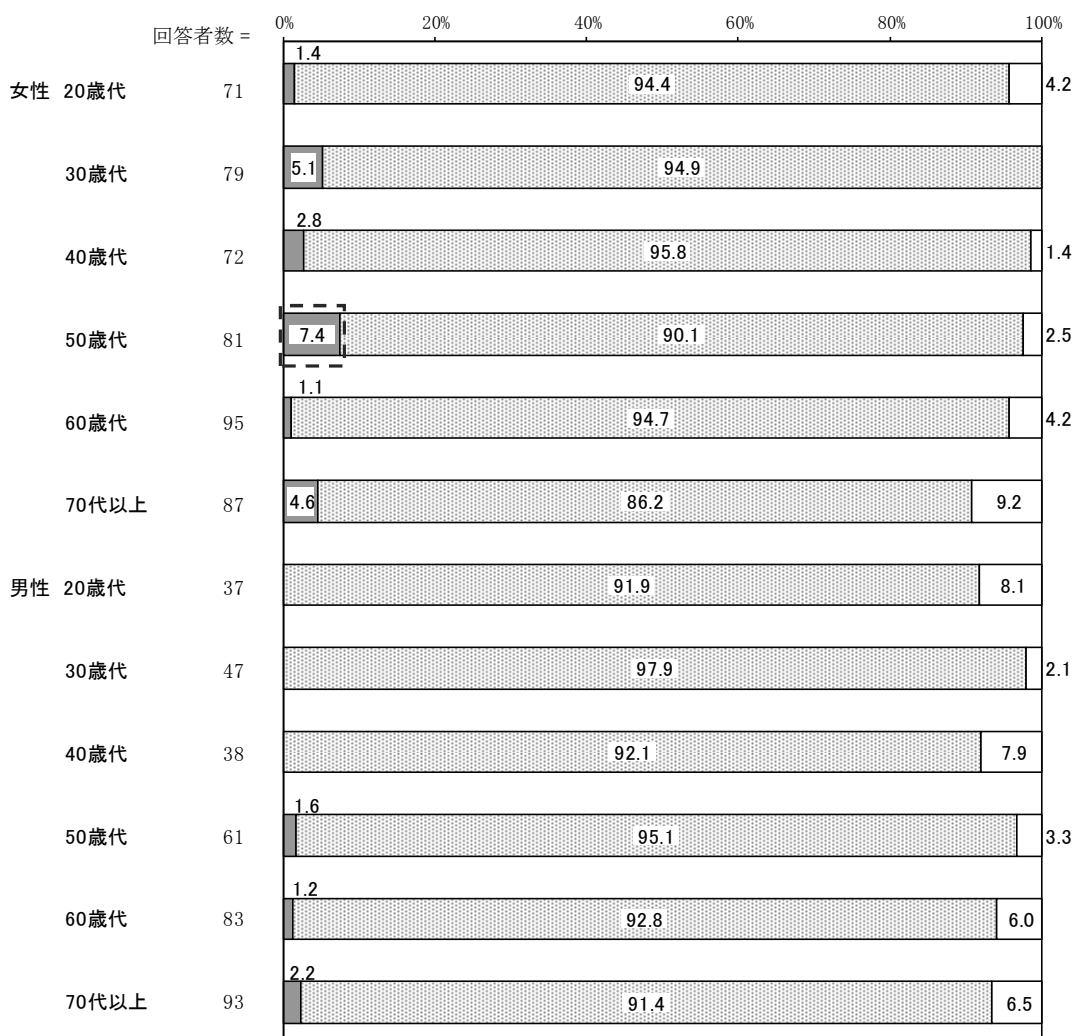
性・年代別でみると、女性50歳代で「はい」の割合が高くなっている。



【性別】



【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去調査に比べ、「はい」の割合が最も低くなっている。

【経年比較】

単位：％

	はい	いいえ	無回答
豊橋市（R01.8）	2.5	93.0	4.5
女性	3.7	92.6	3.7
男性	1.1	93.1	5.8
豊橋市（H28.8）	3.5	92.5	3.9
女性	5.6	89.9	4.5
男性	1.0	96.2	2.9
豊橋市（H26.9）	6.2	87.1	6.7
女性	7.5	85.9	6.6
男性	4.9	88.7	6.4
豊橋市（H23.6）	4.2	93.2	2.6
女性	5.5	92.5	2.0
男性	2.2	95.2	2.6
豊橋市（H20.5）	9.4	83.4	7.1
女性	13.1	80.2	6.7
男性	5.0	87.3	7.7
豊橋市（H17.5）	8.9	85.4	5.7
女性	11.2	85.5	3.3
男性	5.4	85.5	9.1
豊橋市（H13.8）	11.8	81.4	6.8
女性	16.2	79.7	4.1
男性	6.2	84.5	9.3

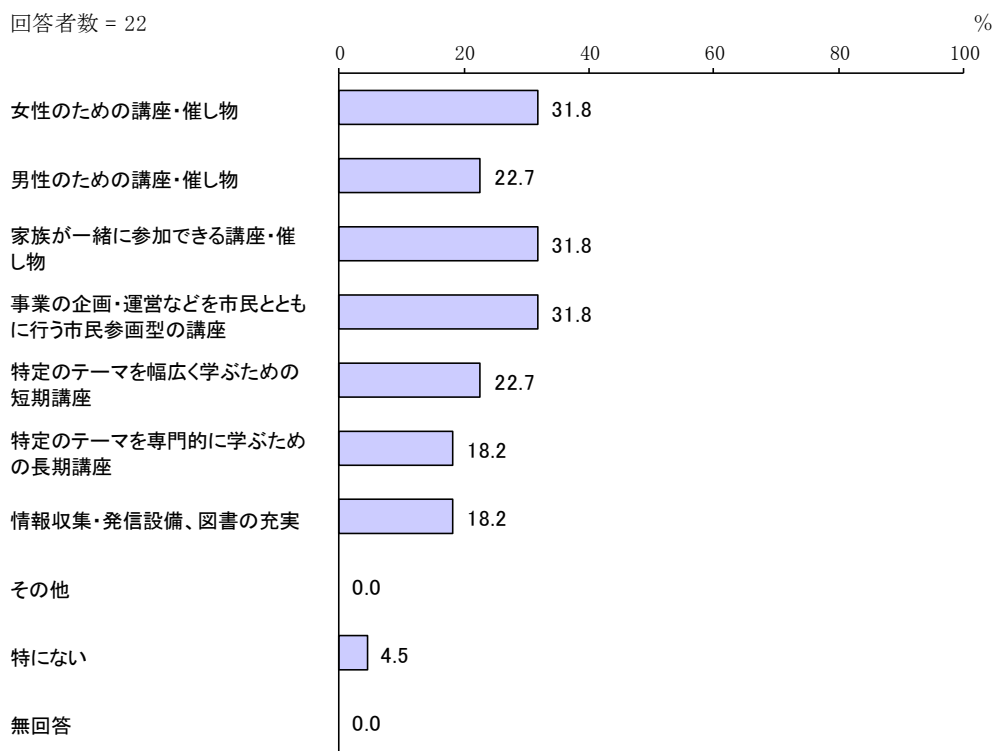
9-2 充実してほしい内容

《問21で「1. はい」と答えた方のみお聞きします》

問21-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「女性のための講座・催し物」、「家族と一緒に参加できる講座・催し物」、「事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座」の割合が31.8%となっている。

性別では、有効回答数が少ないため参考とする。



【性別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	女性のための講座・催し物	男性のための講座・催し物	家族と一緒に参加できる講座・催し物	事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	情報収集・発信設備、図書の充実	その他	特にない	無回答
女性	18	33.3	11.1	33.3	33.3	27.8	22.2	22.2	—	5.6	—
男性	4	25.0	75.0	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—

豊橋市の過去の調査との比較でみると、年々、「女性のための講座」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

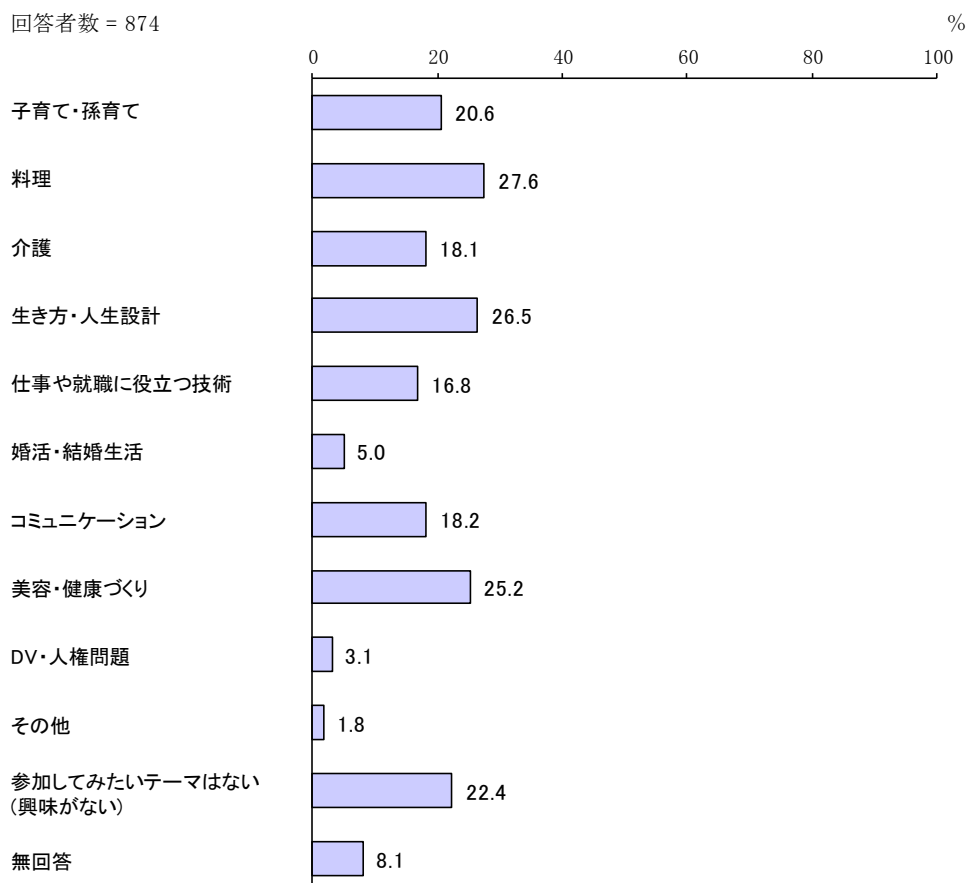
	女性のための講座	男性のための講座	家族と一緒に参加できる催し物・講座	事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座	特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）	特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座	※1 情報の収集・発信、図書の内容	開館日時や催し物の曜日・時間をかえてほしい	地域に出向いて講座	その他	特にない	無回答
豊橋市 (R01.8)	31.8	22.7	31.8	31.8	22.7	18.2	18.2	—	—	0.0	4.5	0.0
女性	33.3	11.1	33.3	33.3	27.8	22.2	22.2	—	—	0.0	5.6	0.0
男性	25.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
豊橋市 (H28.8)	31.4	17.1	45.7	14.3	48.6	20.0	31.4	—	—	5.7	11.4	2.9
女性	35.5	16.1	51.6	16.1	51.6	22.6	35.5	—	—	6.5	6.5	3.2
男性	—	25.0	—	—	25.0	—	—	—	—	—	50.0	—
豊橋市 (H26.9)	20.0	11.4	41.4	14.3	31.4	12.9	15.7	—	—	7.1	18.6	1.4
女性	24.4	6.7	35.6	8.9	42.2	17.8	8.9	—	—	6.7	17.8	2.2
男性	12.0	20.0	52.0	24.0	12.0	4.0	28.0	—	—	8.0	20.0	—
豊橋市 (H23.6)	20.0	13.3	37.8	20.0	51.1	28.9	15.6	—	—	6.7	15.6	2.2
女性	21.2	9.1	39.4	21.2	57.6	33.3	18.2	—	—	6.1	9.1	3.0
男性	10.0	30.0	40.0	20.0	40.0	20.0	10.0	—	—	10.0	30.0	0.0
豊橋市 (H20.5)	—	15.3	37.8	10.8	34.2	15.3	23.4	11.7	14.4	10.8	15.3	4.5
女性	—	14.3	39.3	7.1	38.1	16.7	21.4	13.1	11.9	8.3	16.7	4.8
男性	—	20.0	32.0	24.0	24.0	12.0	32.0	8.0	24.0	16.0	8.0	4.0
豊橋市 (H17.5)	—	17.0	25.5	12.8	28.7	24.5	28.7	12.8	16.0	4.3	14.9	5.3
女性	—	13.0	24.6	13.0	36.2	26.1	33.3	17.4	18.8	5.8	11.6	1.4
男性	—	30.4	30.4	13.0	8.7	21.7	17.4	0.0	8.7	0.0	21.7	13.0
豊橋市 (H13.8)	—	8.3	16.9	6.7	14.4	6.4	20.2	5.2	9.0	4.1	16.9	35.9
女性	—	7.1	15.8	6.7	17.9	8.3	23.5	7.7	12.0	3.2	15.4	32.5
男性	—	10.1	19.1	6.2	9.8	4.1	15.5	2.3	5.2	5.7	18.6	39.8

※1：平成20年以前の選択肢は「情報収集・発信の充実」

9-3 参加してみたいと思う講座のテーマ

問 22. 男女共同参画センターではさまざまな講座を開催しています。男女共同参画に関係のある項目のうち、参加してみたいと思う講座をすべて選んで○をつけてください。

「料理」の割合が27.6%と最も高く、次いで「生き方・人生設計」の割合が26.5%、「美容・健康づくり」の割合が25.2%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「子育て・孫育て」「料理」「介護」「美容・健康づくり」の割合が高くなっている。また、女性に比べ、男性で「参加してみたいテーマはない(興味がない)」の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 歳代で「料理」「仕事や就職に役立つ技術」「美容・健康づくり」の割合が、女性 20 歳代、30 歳代で「子育て・孫育て」の割合が、女性 50 歳代、60 歳代で「介護」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数(件)	子育て・孫育て	料理	介護	生き方・人生設計	仕事や就職に役立つ技術	婚活・結婚生活	コミュニケーション	美容・健康づくり	DV・人権問題	その他	参加してみたいテーマはない(興味がない)	無回答
女性	485	22.9	31.5	20.6	25.4	18.1	4.5	18.4	34.8	2.7	2.5	16.1	7.2
男性	361	17.2	22.4	14.1	27.4	15.0	5.8	17.7	10.5	3.6	1.1	31.3	8.6

【性・年代別】

単位：%

区分	回答者数(件)	子育て・孫育て	料理	介護	生き方・人生設計	仕事や就職に役立つ技術	婚活・結婚生活	コミュニケーション	美容・健康づくり	DV・人権問題	その他	参加してみたいテーマはない(興味がない)	無回答
女性 20 歳代	71	38.0	53.5	11.3	31.0	33.8	16.9	15.5	46.5	1.4	—	12.7	1.4
30 歳代	79	40.5	36.7	7.6	27.8	22.8	2.5	20.3	35.4	1.3	1.3	17.7	6.3
40 歳代	72	13.9	23.6	13.9	18.1	22.2	1.4	22.2	30.6	2.8	5.6	18.1	6.9
50 歳代	81	17.3	28.4	32.1	30.9	18.5	1.2	13.6	40.7	3.7	2.5	11.1	4.9
60 歳代	95	18.9	24.2	34.7	26.3	10.5	5.3	22.1	30.5	4.2	2.1	17.9	5.3
70 代以上	87	11.5	26.4	19.5	18.4	5.7	1.1	16.1	27.6	2.3	3.4	18.4	17.2
男性 20 歳代	37	35.1	29.7	2.7	35.1	24.3	13.5	24.3	10.8	5.4	—	27.0	8.1
30 歳代	47	34.0	27.7	6.4	27.7	27.7	8.5	19.1	6.4	2.1	—	34.0	—
40 歳代	38	18.4	36.8	18.4	28.9	21.1	5.3	26.3	10.5	5.3	—	28.9	—
50 歳代	61	11.5	27.9	21.3	31.1	18.0	8.2	24.6	11.5	4.9	—	24.6	8.2
60 歳代	83	12.0	24.1	14.5	20.5	8.4	4.8	15.7	13.3	2.4	1.2	34.9	7.2
70 代以上	93	9.7	6.5	16.1	28.0	6.5	1.1	8.6	9.7	3.2	3.2	33.3	17.2

豊橋市の平成 28 年との比較でみると、「参加してみたいテーマはない（興味がない）」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

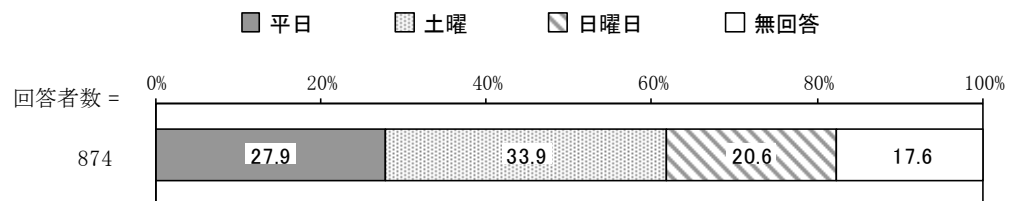
	子育て・孫育て	料理	介護	生き方・人生設計	仕事や就職に役立つ技術	婚活・結婚生活	コミュニケーション	美容・健康づくり	DV・人権問題	その他	参加してみたいテーマはない（興味がない）	無回答
豊橋市（R01.8）	20.6	27.6	18.1	26.5	16.8	5.0	18.2	25.2	3.1	1.8	22.4	8.1
女性	22.9	31.5	20.6	25.4	18.1	4.5	18.4	34.8	2.7	2.5	16.1	7.2
男性	17.2	22.4	14.1	27.4	15.0	5.8	17.7	10.5	3.6	1.1	31.3	8.6
豊橋市（H28.8）	21.2	29.1	22.4	28.6	18.5	5.5	18.6	27.3	3.0	3.0	19.0	4.4
女性	24.9	32.6	23.4	27.2	19.3	4.1	14.6	36.9	4.0	2.7	15.7	4.9
男性	16.7	25.4	20.8	30.6	17.7	7.4	24.4	15.3	1.9	3.6	22.7	3.3
豊橋市（H26.9）	21.2	27.5	22.0	25.1	16.4	4.8	17.1	20.9	2.5	1.7	22.2	5.8
女性	25.9	31.0	24.7	26.4	18.9	4.3	16.1	30.8	1.8	1.7	16.9	6.8
男性	15.5	23.7	18.6	23.7	13.8	5.2	18.6	9.5	3.3	1.7	28.3	4.5

9-4 参加しやすい曜日と時間帯

問 22-1. 男女共同参画に関する講座に参加する場合、参加しやすい曜日と時間帯について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

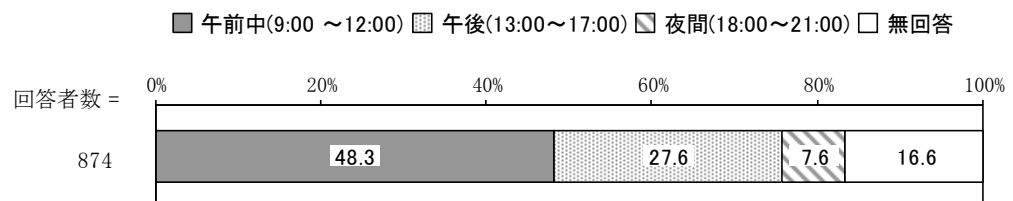
①曜日

「土曜」の割合が33.9%と最も高く、次いで「平日」の割合が27.9%、「日曜日」の割合が20.6%となっている。



②時間帯

「午前中(9:00～12:00)」の割合が48.3%と最も高く、次いで「午後(13:00～17:00)」の割合が27.6%となっている。

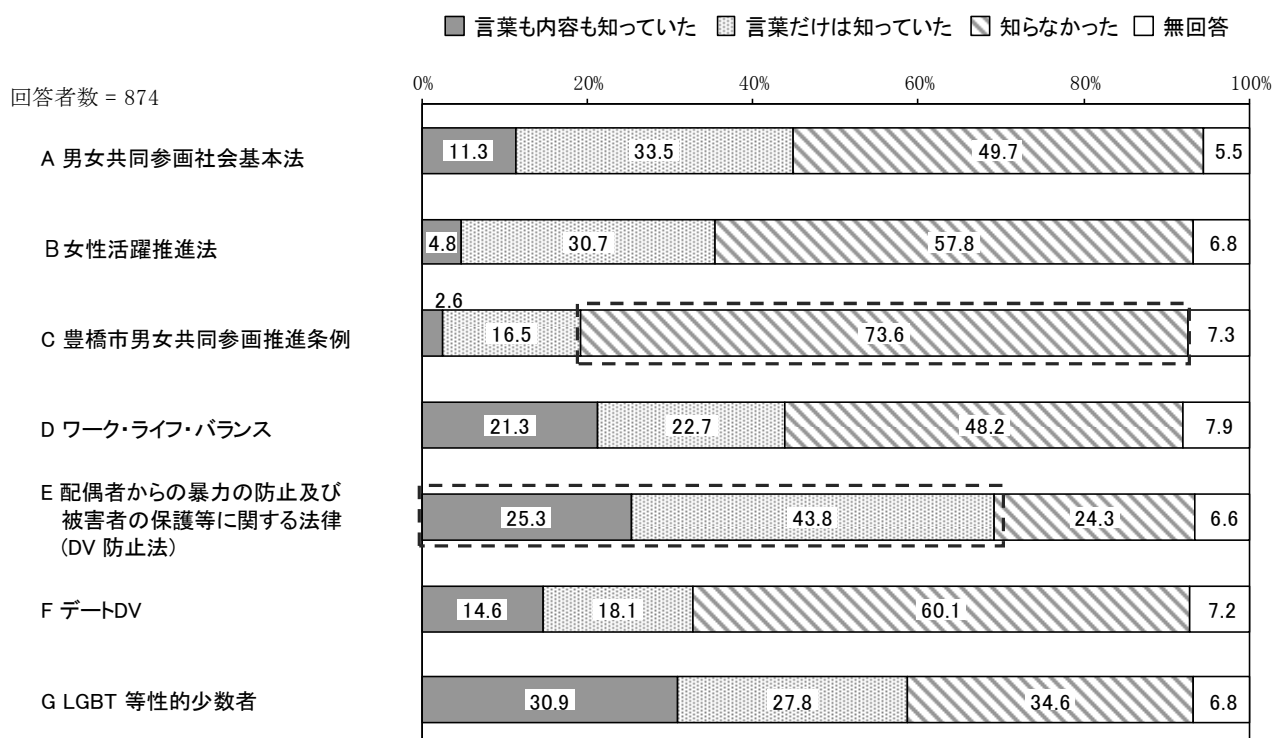


10 男女共同参画社会について

10-1 用語の認知度

問 23. 次の用語について知っていましたか。A～Gのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

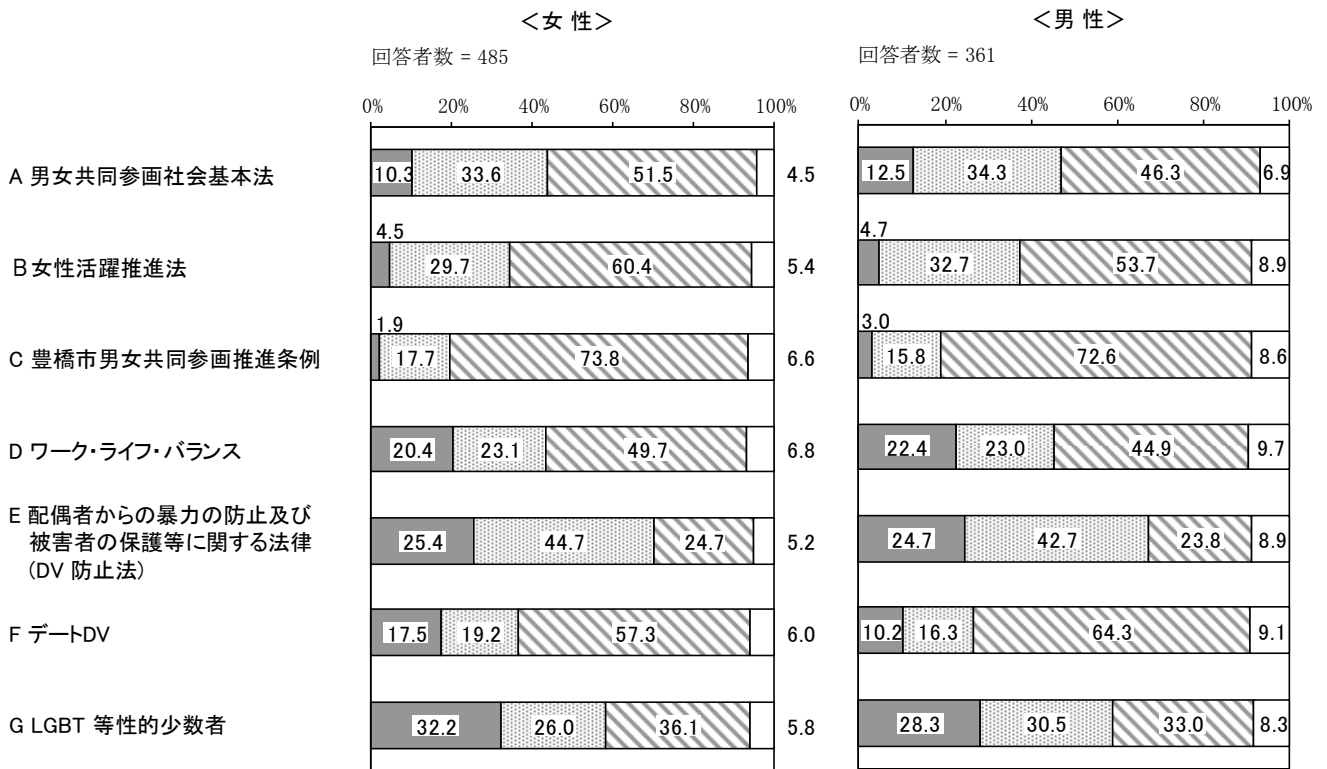
『E 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』で「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」をあわせた“知っていた（※）”の割合が高く、約7割となっている。一方、『B 豊橋市男女共同参画推進条例』で「知らなかった」の割合が高く、約7割となっている。



【性別】

性別でみると、『デートDV』を除くすべての項目で、男性に比べ、女性で「知らなかった」の割合が高くなっている。

■ 言葉も内容も知っていた □ 言葉だけは知っていた ▨ 知らなかった □ 無回答

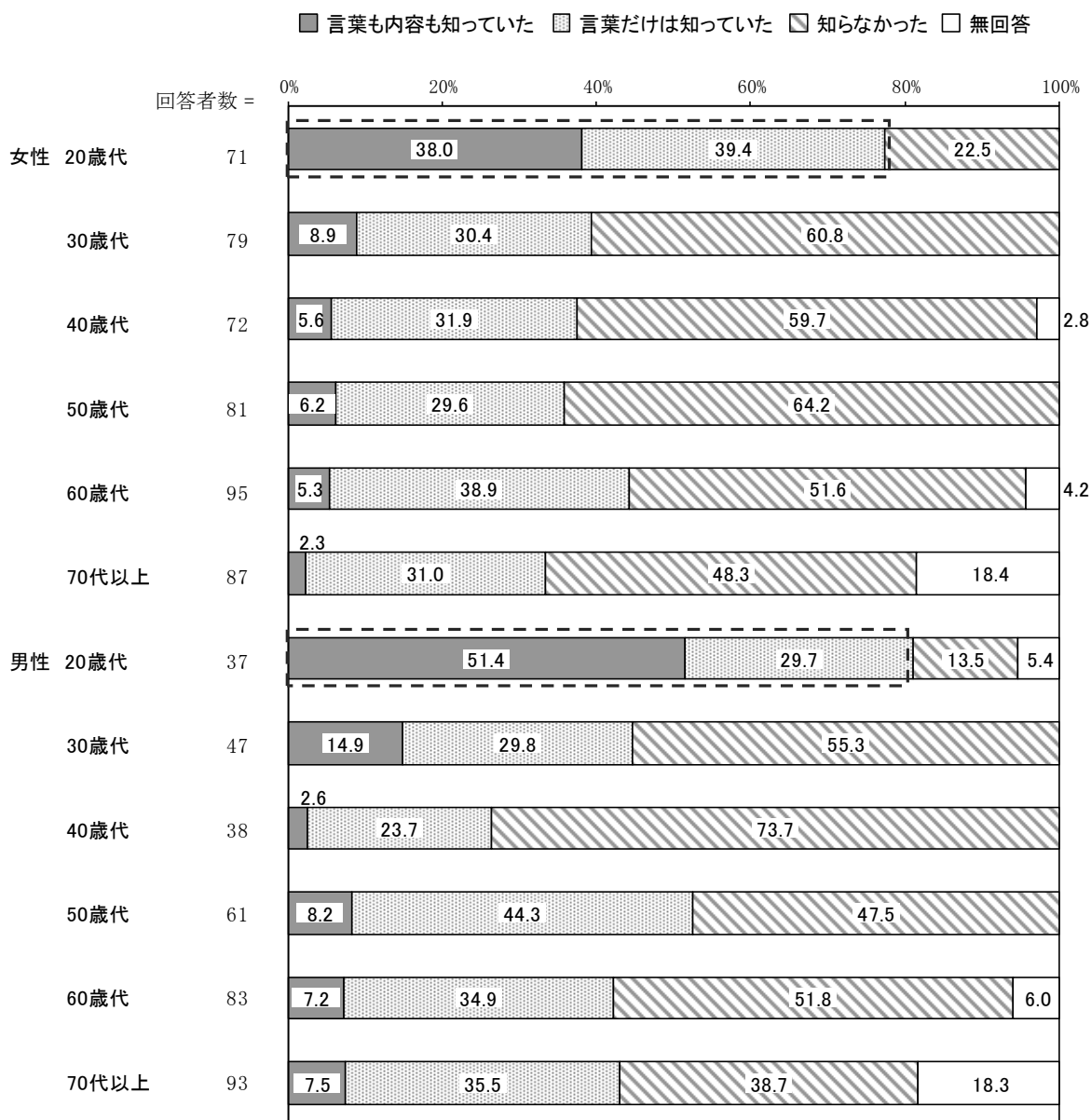


※ 「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

性・年代別でみると、『A 男女共同参画社会基本法』『B 女性活躍推進法』『D ワーク・ライフ・バランス』『G LGBT等性的少数者』については男女ともに 20 歳代で“知っている（※）”の割合が高くなっている。また、『G LGBT等性的少数者』については、女性では年齢が高くなるにつれ「知らなかった」の割合が高くなっている。

A 男女共同参画社会基本法

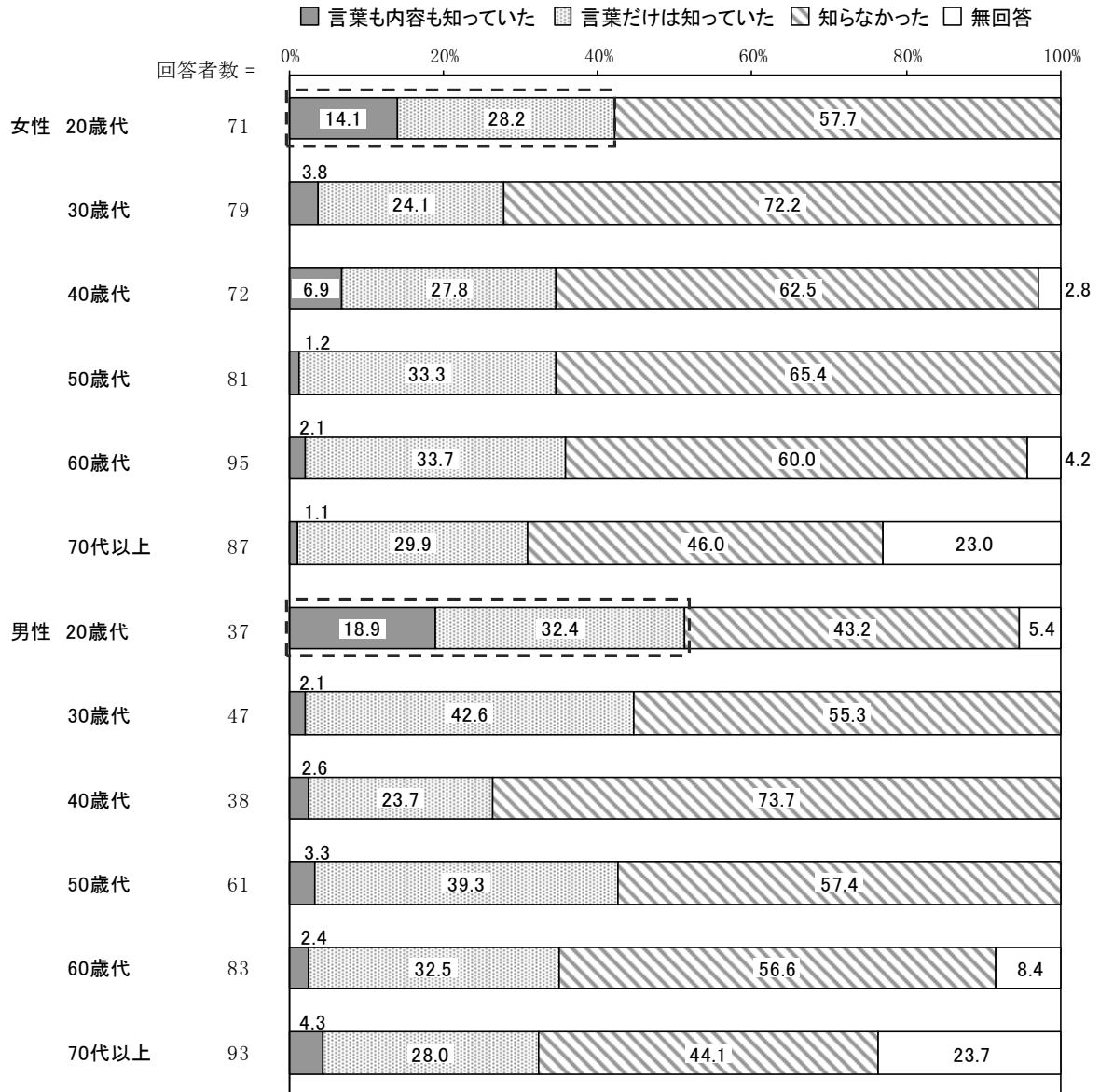
【性・年代別】



※ 「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

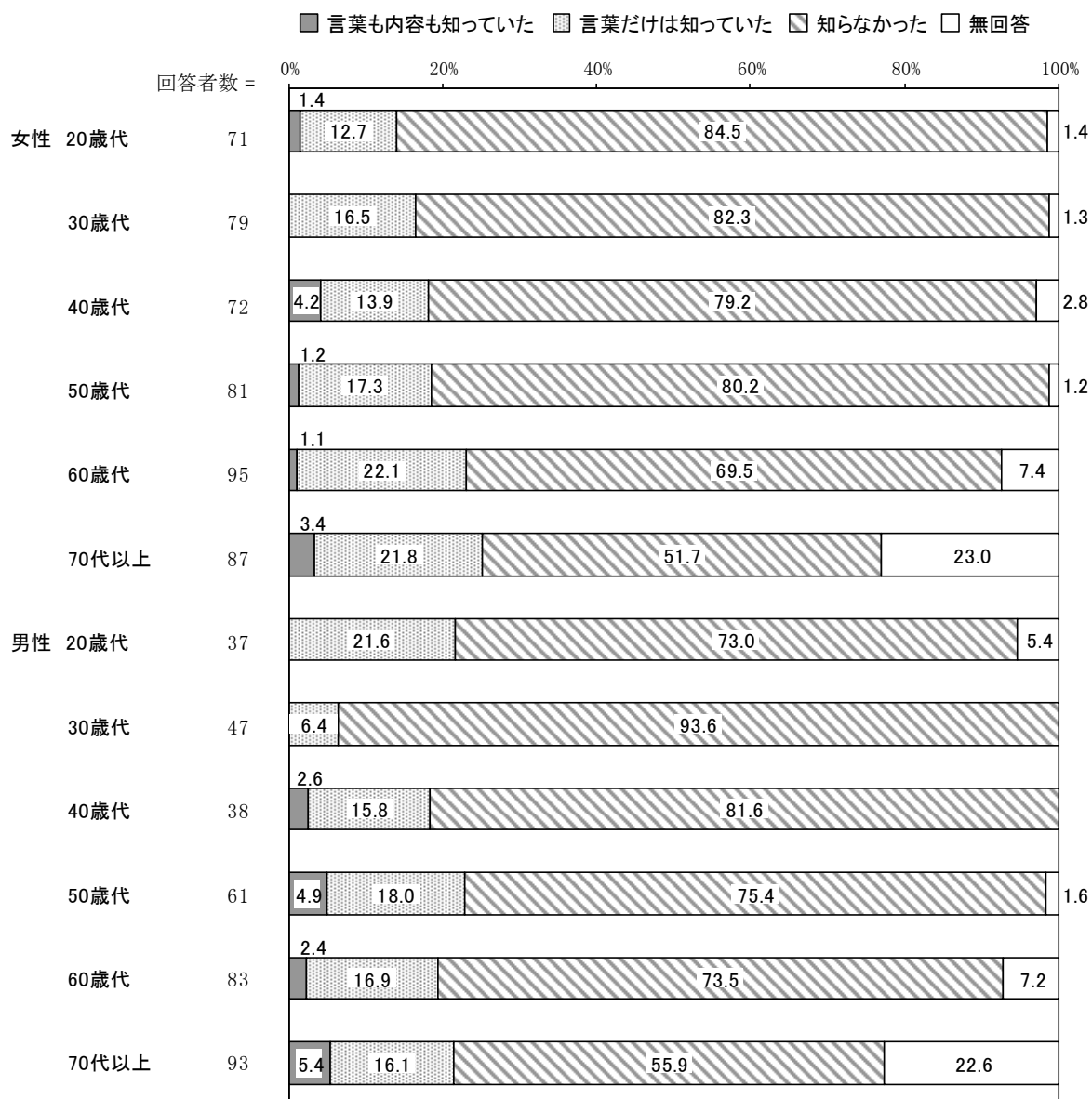
B 女性活躍推進法

【性・年代別】



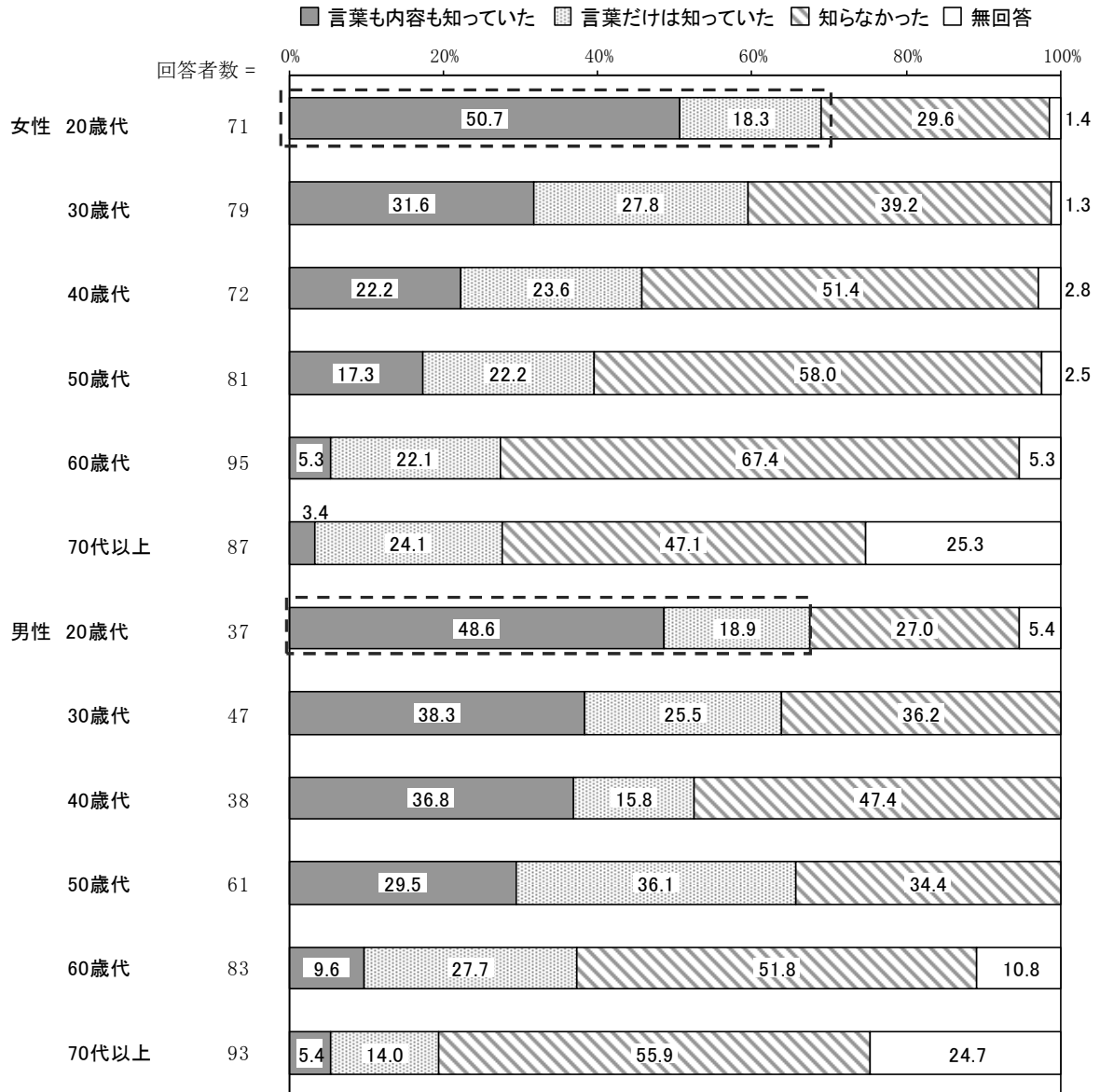
C 豊橋市男女共同参画推進条例

【性・年代別】



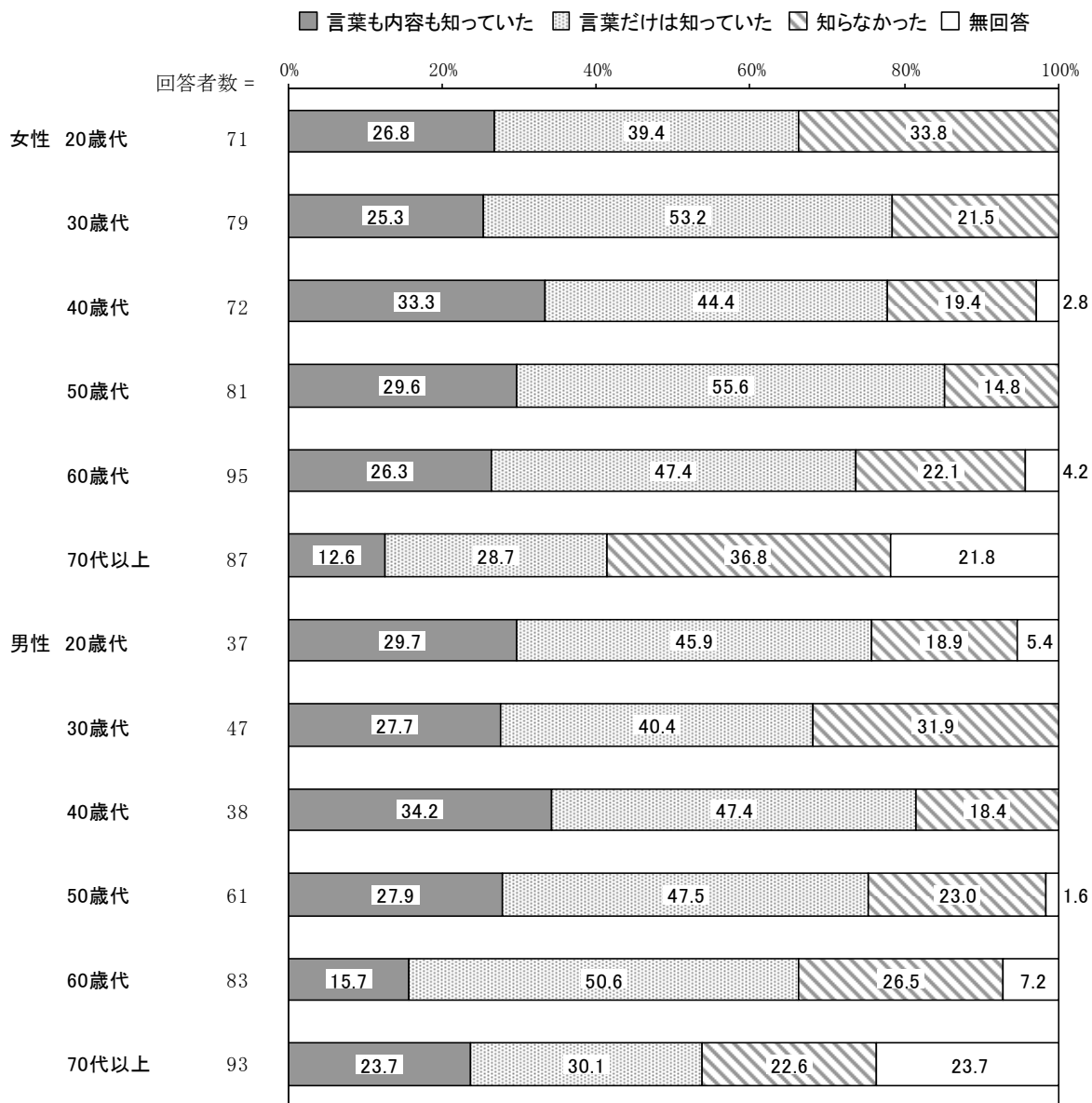
D ワーク・ライフ・バランス

【性・年代別】



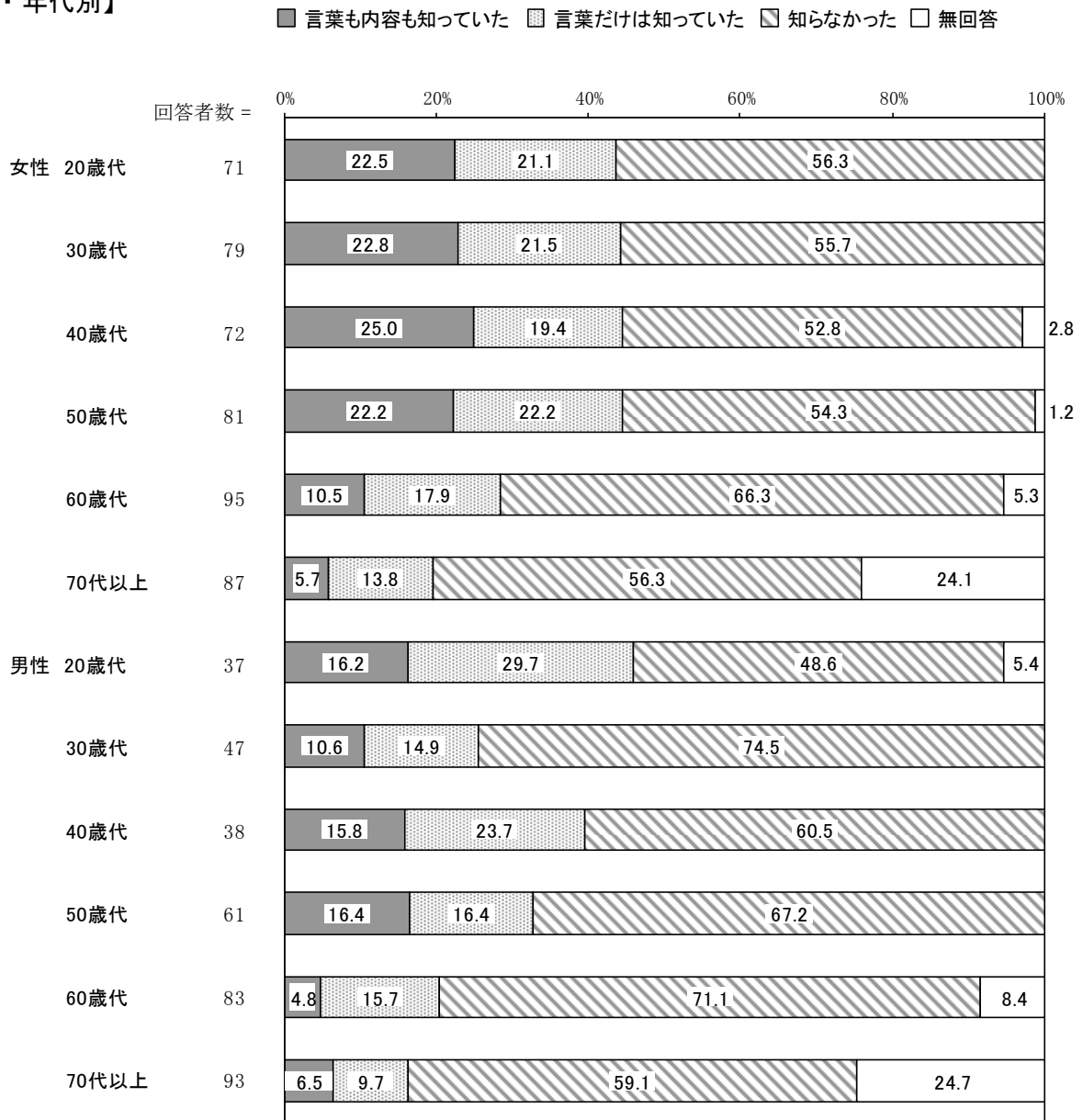
E 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)

【性・年代別】



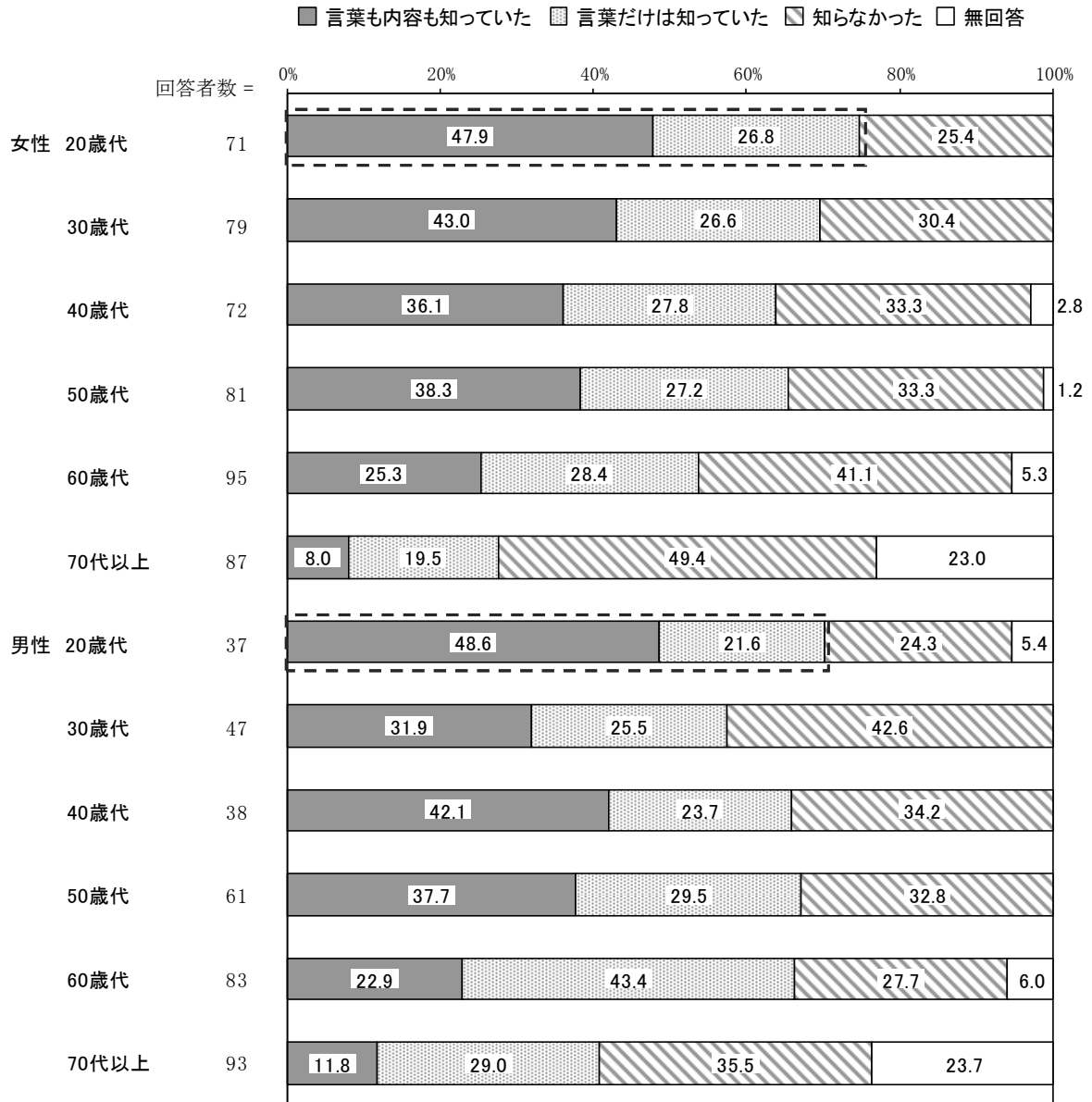
F デートDV

【性・年代別】



G LGBT等性的少数者

【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年と比較し、“知っている（※）”の割合が『D ワーク・ライフ・バランス』、『G LGBT等性的少数者』で高くなっている。一方、『E 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）』で「知らなかった」の割合が高くなっている。

【経年比較】

A 男女共同参画社会基本法

単位：%

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R01.8）	11.3	33.5	49.7	5.5
女性	10.3	33.6	51.5	4.5
男性	12.5	34.3	46.3	6.9
豊橋市（H28.8）	10.8	34.6	47.8	6.8
女性	10.1	34.4	47.7	7.7
男性	11.7	34.9	48.8	4.5
豊橋市（H26.9）	8.2	35.0	50.8	6.0
女性	6.3	36.8	50.2	6.6
男性	9.5	33.0	52.2	5.2
豊橋市（H23.6）	5.7	27.9	63.1	3.2
女性	5.0	27.2	64.7	3.2
男性	6.7	28.7	62.0	2.6
豊橋市（H20.5）	8.5	33.0	52.2	6.3
女性	5.5	36.0	52.1	6.4
男性	12.1	29.8	51.8	6.3
豊橋市（H17.5）	7.5	29.7	58.0	4.8
女性	5.0	30.8	60.6	3.6
男性	11.2	28.3	54.2	6.3

※ 「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

C 豊橋市男女共同参画推進条例

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R01.8）	2.6	16.5	73.6	7.3
女性	1.9	17.7	73.8	6.6
男性	3.0	15.8	72.6	8.6
豊橋市（H28.8）	2.7	16.2	72.0	9.1
女性	2.3	17.1	69.9	10.6
男性	3.1	15.3	75.6	6.0
豊橋市（H26.9）	1.6	18.0	74.1	6.3
女性	2.2	19.2	72.0	6.6
男性	0.8	16.5	76.9	5.8
豊橋市（H23.6）	1.4	15.7	79.0	3.9
女性	1.3	17.6	77.8	3.3
男性	1.3	13.2	81.6	3.9
豊橋市（H20.5）	3.2	17.0	73.0	6.8
女性	2.5	20.3	70.2	7.0
男性	3.8	13.1	76.4	6.7
豊橋市（H17.5）	3.4	18.4	72.3	5.9
女性	3.3	19.9	72.1	4.7
男性	3.7	16.4	72.9	7.0

D ワーク・ライフ・バランス

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R01.8）	21.3	22.7	48.2	7.9
女性	20.4	23.1	49.7	6.8
男性	22.4	23.0	44.9	9.7
豊橋市（H28.8）	15.2	27.6	47.8	9.4
女性	15.3	26.3	47.6	10.8
男性	15.3	29.4	48.8	6.5
豊橋市（H26.9）	10.9	24.1	57.9	7.1
女性	11.1	24.7	56.2	8.0
男性	10.5	23.3	60.2	6.0
豊橋市（H23.6）	7.2	28.9	58.8	5.1
女性	6.3	28.4	60.9	4.5
男性	8.4	29.4	57.2	5.0

E 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

単位：％

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R01.8）	25.3	43.8	24.3	6.6
女性	25.4	44.7	24.7	5.2
男性	24.7	42.7	23.8	8.9
豊橋市（H28.8）	28.3	44.1	18.8	8.8
女性	29.5	43.6	17.1	9.7
男性	27.3	45.5	20.8	6.5
豊橋市（H26.9）	24.0	42.7	27.2	6.0
女性	25.9	44.6	22.9	6.6
男性	21.0	41.0	32.8	5.2
豊橋市（H23.6）	18.6	58.2	19.2	4.0
女性	16.1	62.2	17.9	3.8
男性	21.8	53.6	21.0	3.7
豊橋市（H20.5）	33.2	42.1	18.5	6.3
女性	33.9	44.5	15.1	6.6
男性	31.7	39.5	22.6	6.2
豊橋市（H17.5）	36.1	34.4	24.1	5.4
女性	36.5	37.1	21.8	4.6
男性	36.0	30.6	27.1	6.3

F デートDV

単位：％

	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R01.8）	14.6	18.1	60.1	7.2
女性	17.5	19.2	57.3	6.0
男性	10.2	16.3	64.3	9.1
豊橋市（H28.8）	15.1	16.6	58.8	9.5
女性	20.4	16.6	52.6	10.5
男性	8.1	17.0	67.7	7.2
豊橋市（H26.9）	10.6	17.6	65.2	6.7
女性	13.6	19.9	59.2	7.3
男性	6.6	15.0	72.6	5.8

G LGBT等性の少数者

単位：％

	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった	無回答
豊橋市（R01.8）	30.9	27.8	34.6	6.8
女性	32.2	26.0	36.1	5.8
男性	28.3	30.5	33.0	8.3
豊橋市（H28.8）	22.5	19.0	49.1	9.3
女性	25.9	17.8	46.1	10.1
男性	18.4	21.1	53.3	7.2

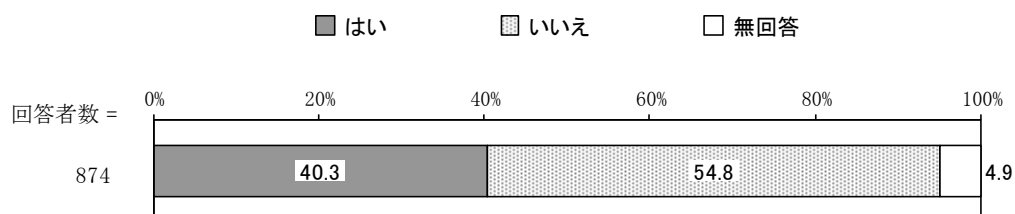
10-2 家庭での男女共同参画意識の有無について

問 24. あなたの家庭では、家族全員が男女共同参画の意識を持っていますか。

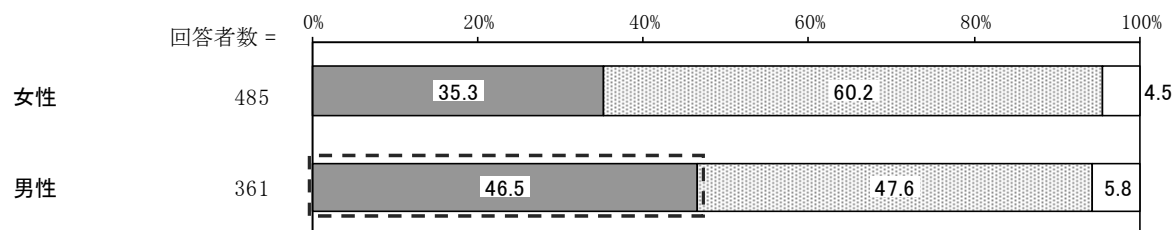
「はい」の割合が40.3%、「いいえ」の割合が54.8%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高くなっている。

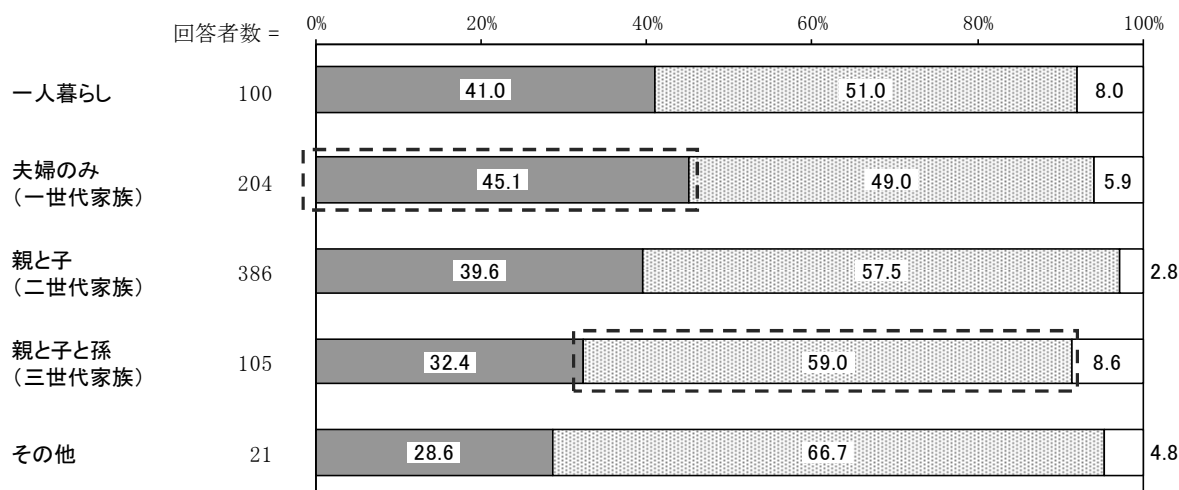
家族構成別でみると、他に比べ、夫婦のみ（一世代家族）で「はい」の割合が高くなっている。また、親と子と孫（三世代家族）で「いいえ」の割合が高くなっている。



【性別】

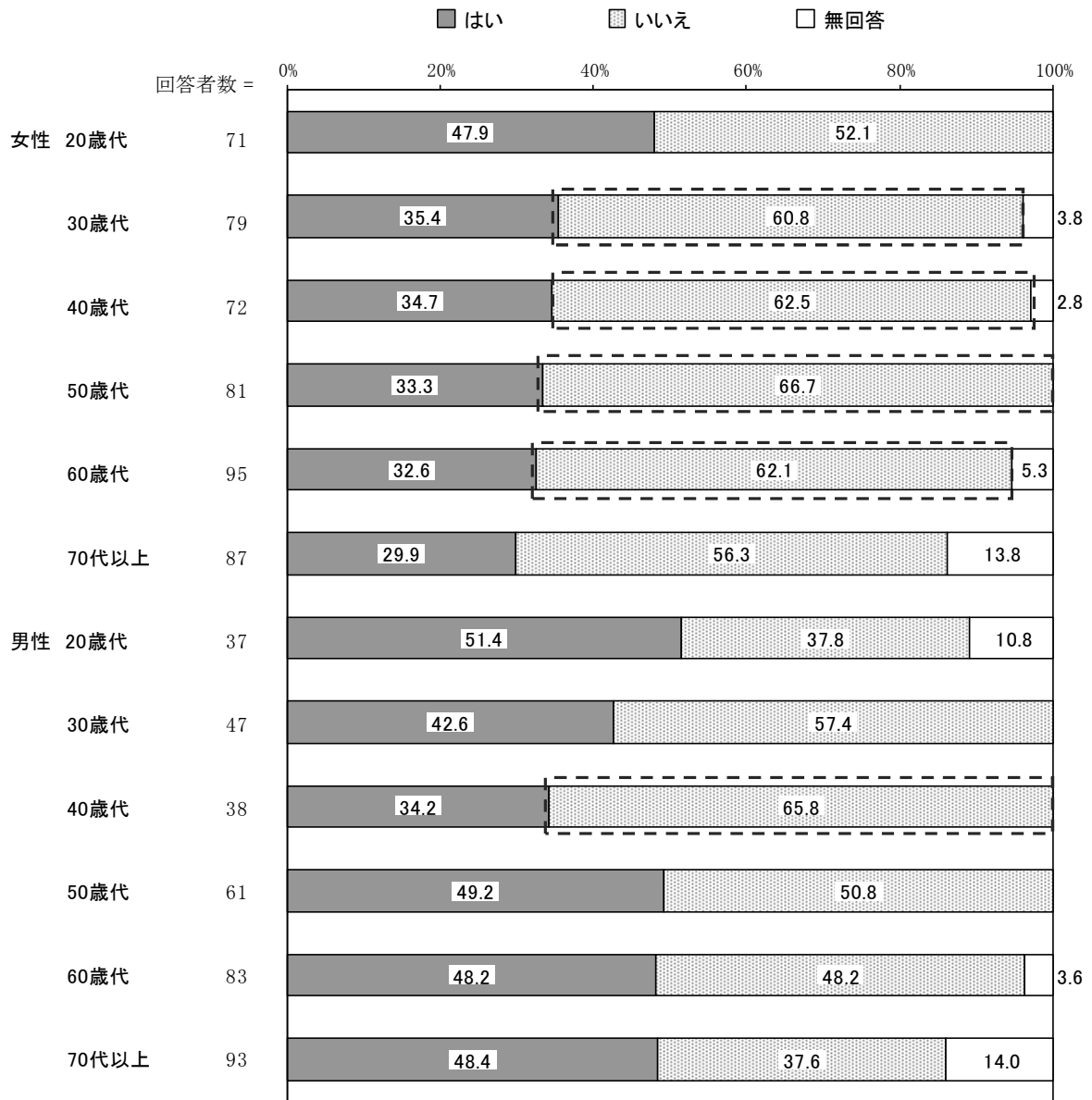


【家族構成別】



性・年代別で見ると、他に比べ、女性の30歳代から60歳代、男性の40歳代で「いいえ」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

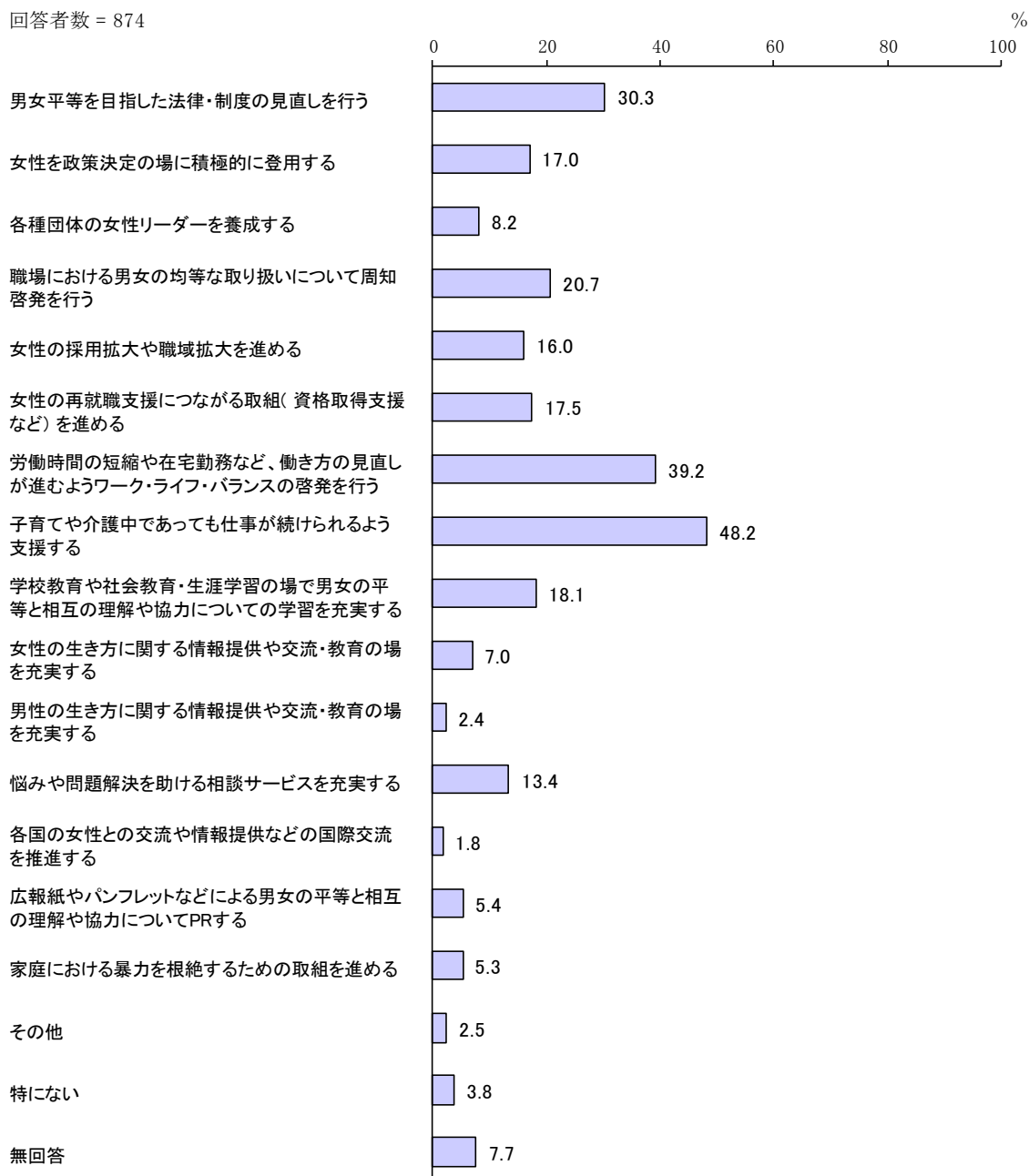


10-3 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと

問 25. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中から3つ選んで○をつけてください。

「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が48.2%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」の割合が39.2%、「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が30.3%となっている。

回答者数 = 874



性別でみると、男性に比べ、女性で「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が高くなっている。

【性別】

単位：%

区分	回答者数（件）	男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	女性の再就職支援につながる取組（資格取得支援など）を進める	労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
女性	485	29.7	15.3	8.0	19.8	15.9	19.2	40.4	52.2	18.1
男性	361	30.5	18.8	8.9	22.4	15.5	15.2	37.4	43.5	18.0
区分	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPR	家庭における暴力を根絶するための取組を進める	その他	特になし	無回答	
女性	6.8	2.1	14.6	1.6	5.8	5.4	1.9	3.5	7.4	
男性	7.5	3.0	12.2	2.2	5.3	5.5	2.5	4.2	8.3	

性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 歳代、30 歳代で「労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」の割合が高くなっている。また、女性 60 歳代、男性 20 歳代、30 歳代で「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が、男性 20 歳代で「家庭における暴力を根絶するための取組を進める」の割合が高くなっている。

【性・年代別】

単位：%

	回答者数 (件)	男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	女性の再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める	労働時間の短縮や在宅勤務など働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	子育てや介護中であつても仕事が続けられるよう支援する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互理解や協力について学習を充実する
女性 20 歳代	71	36.6	21.1	11.3	15.5	19.7	14.1	45.1	57.7	8.5
30 歳代	79	22.8	17.7	11.4	12.7	21.5	19.0	41.8	55.7	17.7
40 歳代	72	15.3	16.7	9.7	22.2	13.9	23.6	43.1	59.7	18.1
50 歳代	81	35.8	12.3	6.2	19.8	17.3	21.0	46.9	58.0	14.8
60 歳代	95	40.0	15.8	7.4	30.5	10.5	13.7	34.7	49.5	25.3
70 代以上	87	25.3	9.2	3.4	16.1	13.8	24.1	33.3	35.6	21.8
男性 20 歳代	37	40.5	8.1	5.4	16.2	13.5	16.2	51.4	48.6	21.6
30 歳代	47	42.6	10.6	4.3	14.9	14.9	21.3	55.3	46.8	14.9
40 歳代	38	23.7	15.8	7.9	28.9	7.9	18.4	50.0	42.1	18.4
50 歳代	61	29.5	24.6	8.2	32.8	18.0	18.0	27.9	41.0	16.4
60 歳代	83	31.3	18.1	10.8	27.7	18.1	15.7	39.8	47.0	24.1
70 代以上	93	22.6	25.8	11.8	14.0	16.1	8.6	22.6	38.7	14.0

	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力について PR する	家庭における暴力を根絶するための取組を進める	その他	特になし	無回答	無回答
女性 20 歳代	7.0	2.8	18.3	—	1.4	4.2	1.4	2.8	5.6	5.6
30 歳代	3.8	—	8.9	2.5	1.3	5.1	3.8	1.3	11.4	11.4
40 歳代	4.2	1.4	15.3	2.8	6.9	5.6	4.2	1.4	6.9	6.9
50 歳代	7.4	1.2	14.8	1.2	4.9	8.6	—	1.2	6.2	6.2
60 歳代	7.4	3.2	20.0	—	10.5	5.3	1.1	3.2	3.2	3.2
70 代以上	10.3	3.4	10.3	3.4	8.0	3.4	1.1	10.3	11.5	11.5
男性 20 歳代	8.1	2.7	8.1	—	—	18.9	5.4	—	8.1	8.1
30 歳代	12.8	8.5	14.9	2.1	4.3	6.4	4.3	—	2.1	2.1
40 歳代	2.6	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	—	7.9	5.3	5.3
50 歳代	8.2	3.3	14.8	3.3	6.6	3.3	3.3	6.6	3.3	3.3
60 歳代	7.2	—	12.0	2.4	6.0	6.0	—	1.2	7.2	7.2
70 代以上	5.4	2.2	14.0	2.2	7.5	1.1	3.2	7.5	17.2	17.2

豊橋市の過去の調査との比較でみると、平成 28 年に比べ、令和元年で「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：%

	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性のリーダーを養成する	職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	女性の採用拡大や職域拡大を進める	女性の再就職支援につながる取組（資格取得支援など）を進める	労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する	悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する	広報誌やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	家庭における暴力を根絶するための取組を進める	その他	特になし	無回答
豊橋市 (R01.8)	30.3	17.0	8.2	20.7	16.0	17.5	39.2	48.2	18.1	7.0	2.4	13.4	1.8	5.4	5.3	2.5	3.8	7.7
女性	29.7	15.3	8.0	19.8	15.9	19.2	40.4	52.2	18.1	6.8	2.1	14.6	1.6	5.8	5.4	1.9	3.5	7.4
男性	30.5	18.8	8.9	22.4	15.5	15.2	37.4	43.5	18.0	7.5	3.0	12.2	2.2	5.3	5.5	2.5	4.2	8.3
豊橋市 (H28.8)	29.5	17.8	9.2	22.2	22.0	—	55.7	44.1	23.6	8.7	—	15.2	2.6	5.6	—	2.5	3.5	5.9
女性	26.5	16.8	8.5	20.9	24.1	—	56.0	49.2	23.2	9.7	—	15.1	2.2	5.4	—	1.8	2.3	7.0
男性	34.2	19.4	9.6	24.2	19.6	—	55.7	37.8	24.4	6.9	—	15.1	3.3	6.0	—	3.6	5.0	3.8

Ⅲ 自由意見

寄せられた多くの意見の中から、本調査に直接関係ないものや要望、重複意見等を除き、主なものを紹介する。

1 男性が仕事と家事、育児、介護を両立することについて

(1) 20代男性

- ・ 夫が妻の家事を手伝わないのは、いけないことだとは言わないが、協力するのは素晴らしいと思う。育児も手伝って、妻の負担を減らすとよいと思う。
- ・ 仕事と家庭、どちらを優先していきたいかが大切だと思う。男性が家庭を優先したいのであれば家事、育児、介護を優先することに企業や行政が理解を示し、そうできるように支援すべき。

(2) 20代女性

- ・ 今の社会風潮では難しい。身内にもいるが仕事をフルタイムでしていても家事、育児は女性がすべきものと考えている男性が多い。職場の環境もそうだが男性の意識改革が必要不可欠。
- ・ 男性が仕事と家事、育児、介護をあまりしていないので少し大変だと思う。もう少し簡単に相談してすぐに対応できる所を増やしていった方が良い。男性と女性が協力したらよいが男性1人だとなかなか大変。

(3) 30代男性

- ・ 職場の休みのとりやすさが大切。法や権利を知ること。

(4) 30代女性

- ・ 両立するためには、男性の労働軽減をしなければならないが、軽減をし過ぎると昇格出来ないなど社内でのポジションが悪化。企業側が努力をしないと両立なんて出来ない。
- ・ 家事・育児も仕事と同様に男女とも行うべきだと思う。家庭ごとに担う役割は異なると思うが、それに対応しやすい社会になるとよいと思う。

(5) 40代男性

- ・ もっと積極的に参加する必要がある。男性自身の意識改革と職場の環境、支援、制度の見直しや協力が必要。
- ・ 今後を考えると両立できる環境は必要だと思う。国や県の政策では実現が難しいため条例等で地域から行ってほしい。

(6) 40代女性

- ・ それぞれの家庭の在り方があると思いますが、必要があれば男性の仕事と家事育児介護の両立は賛成します。保育所などの支援が充分でない今、男性の育児などへの参加は必要かと思いません。
- ・ まだまだ男性が家事、育児、介護の両立と聞いてピンときません。両立とまではいかなくてもできることをやってほしい。やってもらうことを当たり前と思わないなど、家族で協力できるようお互いのことを思いやることの方が大切だと思います。

(7) 50代男性

- ・ 職場の理解を得られるか。重要なポストは任せられない。生涯収入にも影響あり。
- ・ 困ったら相談できる仕組みが欲しいです。

(8) 50代女性

- ・ 世の中の考えがまだ追いついていない。その為、介護離職で困っている人が多いのだと思う。父子家庭や介護している男性にも、もう少しあたたかい支援が必要なのでは。
- ・ 男性の場合仕事に重きが置かれることや社会的にも求められることが多い。拘束時間の長い仕事に就き責任あるポストを任せられている場合もある。比重的にも家事、育児、介護との両立は難しいと言える。また仕事に比重が傾くのを男性だから当たり前で容認されているとも言える。

(9) 60代男性

- ・ 実践することは大切である。但し大変であるがゆえ、相談窓口の充実等社会環境を整備すべきである。まず環境整備をしっかりとすべきでそれが無ければ声高に言っても実現しない。
- ・ 仕事優先という考えがまだまだ多い中、特に育児、介護は大変。負担も大きいので、育休取得、就業時間の考慮など、半休、年休、時短等を取りやすくする。

(10) 60代女性

- ・ 必要な事。小さな時の父親とのかかわりは大きくなってよい関係になると思うから。
- ・ 家事、育児、介護に関しては、「やってあげた」感が今は強いと思うが、これが「やらなければならない」ものと認識されるよう社会全体がそのようになっていけばいいと思います。

(11) 70代以上男性

- ・ 介護が必要な人がいれば、福祉サービス（介護施設への入所、デイサービス、ホームヘルパー）等も利用しながら特定の人負担が過重にならないようにする。
- ・ 仕事一筋だった現役を離れた現在、一番の思いは女性の大変さ（家事・育児等）を痛感したことです。男性が仕事・家事・育児を両立することには大賛成です。

(12) 70代以上女性

- ・ 若い時から家事・育児に参加すれば、介護が必要な時にもすすんで参加ができるようになる。意識の改革と会社、仕事内の理解も必要だと思う。
- ・ 男性も仕事大切です、家事等もできることはした方がよい。

2 女性が仕事と、出産、子育て、介護などを両立することについて

(1) 20代男性

- ・ 子育てと仕事を両立するのは大変だが、周りや制度の理解やサポートで無理なく実現できる未来が来れば素晴らしい。
- ・ 育休、産休後に復帰がしやすい環境づくり。(時短勤務の義務化など)

(2) 20代女性

- ・ 子供が小さいうちは、仕事を時短にするなどして、子供ともふれ合う時間を作ってあげられるなら両立は良いと思います。金銭面の問題もあるので、中々難しいとは思いますが…。出産は職場の理解によります。介護は状況によりけりですが、仕事と両立って結構大変だと思います。
- ・ まだ結婚もしておらず、将来子どもを持ったら自分のキャリア上やりたい仕事ができなくなることを最も心配しています。

(3) 30代男性

- ・ 産休・育休を取る事は良い事。しかし、企業としては働き手が減るため他の労働者への負担が増える。その補填として人を増やすと、人件費が増え利益が減る。産休・育休を取った人の割合で法人税などを少なくする事で、企業の負担が減ると思います。
- ・ すばらしいことだと思う。できるなら両立してみてもよいが、男性の協力は必須で、このバランスが悪いと、お互い苦しい思いをしながら両立をすることになると思う。

(4) 30代女性

- ・ 働く母親が増えている中、育休のとりやすさは、子育てしながら働けるよう、職種関係なく取れると良いと思う。又、保育園にも入りやすい環境がほしい。
- ・ 子どもの体調不良などで急きょ休み等になって、当人も職場にも負担がかかることを考えると、仕事は限りなく、いなくてもまわるような場所で働けたらいいなと思ってしまうので、産休前などのような働き方の両立は難しいと思います。

(5) 40代男性

- ・ 経済的に共働きが必要な時代であると思う。市町村等と関わりながら働きやすい環境をつくっていきべきだと思う。
- ・ 男性側の会社に理解がないと難しい。男性の協力がないと厳しいと思う。

(6) 40代女性

- ・ 家族の支援がなければ難しいが、支援が受けられない時でも両立できるように行政のサービスを充実してほしい。
- ・ 私みたいな核家族だと特に大変。近くにおじいちゃん、おばあちゃんがいて、子どもをみててもらえると、仕事や子育てに余裕ができると思う。ファミリー・サポート・センターもあるが、お金が必要。そんな余裕はない。

(7) 50代男性

- ・ 家事がスムーズにできるように残業をさせないでほしいです。帰宅時の渋滞をなくしてほしい。
- ・ 仕事と出産・子育ては大変なことだと思う。ある程度、子供が大きくなったら仕事に復帰出来るようにすることが重要だと思う。

(8) 50代女性

- ・ 家族の協力が得られれば可能ではあるが、母と子がお互い納得しないのであれば両立させない方が円満だと思う。生活レベルも個人差があるので、その家庭ごとに取り決めればよいと思う。
- ・ 必然的に両立になってしまっているのが現状だと思います。負担が大きいのであれば、いろいろな方法を考えて少しでも負担を小さくすることを望みます。

(9) 60代男性

- ・ 仕事との両立は女性に限らない。男性も家庭ごとに応じた分担が必要で父母だけでなく祖父母も含めて子育て、介護などライフサイクルの場面場面で助け合える環境をつくっていくことが大切。
- ・ 乳幼児には母親が絶対必要である。これを踏まえた制度（法制化）を充実させるべきである。現状ではかなり難しいと思われる。

(10) 60代女性

- ・ 女性が正社員を避けるのは、急な欠勤が必要となった場合のことを考えて、休みやすく勤務時間の短いものを選びがちだからです。職場全体が男女関係なく仕事との両立を支援することがあたり前になると良いです。
- ・ むしろ女性が出産し子育てしているときの保育園、幼稚園の増設等が大事だと思います。それと保母さんの給料を上げること(仕事内容の割にお給料が安過ぎます)。介護ヘルパーさんも同じ。

(11) 70代以上男性

- ・ 女性が仕事と出産、子育ての両立は難しく、どうしても仕事面で活動が限定されます。制度の充実が必要となります。
- ・ 子育てが苦痛では子どもに失礼。お母さんが安心して集中できる環境であってほしい。

(12) 70代以上女性

- ・ 女性が全部一人ですること自体大変で、肉体的にも、精神的にも苦勞が多いと思うのです。パートナーが助けたり助けられたり、あるいは社会が負担を減らしてくれたりすると、女性も安心して出産、子育て、介護など両立できるのではないのでしょうか。
- ・ 公的な支援制度が充実すれば良いと思う。

3 LGBT等性的少数者への認識について

(1) 20代男性

- ・ LGBT等性的少数者は最近になって急増したのではなく、以前から元々一定数存在していたのではないかと考える。そのような人達の存在を受け入れるような社会の環境づくりが必要だと思う。LGBTについての教育や周知活動が重要だろう。
- ・ その人なりの生き方を尊重すべきであり、個人の思い等をしっかりと理解する必要がある。

(2) 20代女性

- ・ 私個人、偏見はないが、日本では同性婚が認められておらず、男と女では区別できない性を持つ人たちに対する理解と制度が、諸外国に比べてとにかく遅れている。幼い頃からの教育が必要。
- ・ 偏見が多いと思う。自分は興味があり大学などでも授業を受けているためある程度理解できるが、そうではない人は難しいと思うし、そのような人が大半だと思う。

(3) 30代男性

- ・ 今はTVなどで見るが増え、理解してあげられるようになってきた。しかし、自分の子どもがLGBTのどれかにあてはまった時に、受け止められるかはまだわからない。
- ・ 実際に自分のまわりにはいないと感じている。本当はいるのかもしれないが、公にできないような空気感がある。

(4) 30代女性

- ・ 子供のころからの教育が大切。ダメではない、そういう人もいるということを教える。
- ・ どんな発言や行動が差別にあたってしまうかわからず、腫れ物に触るような対応になってしまいがちだと思う。情報発言によってオープンになることが、よい方向へ進むのではないと思う。

(5) 40代男性

- ・ こういう方たちがいることをまず理解して、近くにいる場面でもお互い普段通り接することができる社会作りが必要かと思います。
- ・ 色々な人がいるという感覚が広がればよいと思う。

(6) 40代女性

- ・ 理解されなくてもよいので、否定されることがない、それが当たり前の社会になればよいかと思えます。自分と違うものをわかることは難しいので、わからない人は認めるのも難しいと思う。ただ、否定され嫌われることがない社会になってほしいと思えます。
- ・ 人間だからいろいろな人がいることを知ること。教育を受けてないが、思いやれる心を人間は持っている。

(7) 50代男性

- ・ 個人個性の尊重をする事を大切にすること。

(8) 50代女性

- ・ まだまだ認識不足だと思うので子どものうちから理解できるように学校で教えて頂きたい。(道徳の時間とか)
- ・ 昔と違ってだいぶ認められたと思う。身近にいるから知っているけど自分の子供とかになると反対する人は多いと思う。

(9) 60代男性

- ・ 時代かとは思いますが、少し抵抗感がある。

(10) 60代女性

- ・ 漠然とした認識しか持たない人が多いと思う。そうした学生が多くなっている時代だから、そうした少数者への認識をもってもらえるような行動がさらに必要になってくると思う。
- ・ 生まれ持ったDNAで避けられない個性なので、その方々が無理をしないで自由に自然な形で社会と関わっていただけるとよいのと思います。

(11) 70代以上男性

- ・ 性教育の徹底を図る。子どもから高齢者まで幅広く。(特に古い考え方、習慣のある高齢者向けに)
- ・ 身近な問題として考えづらい。

(12) 70代以上女性

- ・ 多様性を認める社会をつくろう。
- ・ 個性であると思いますが、小・中学生から認識を勉強する機会をつくるべきだと思います。

4 その他男女共同参画に関して

(1) 20代男性

- ・ 90年代以降、労働者の平均賃金、労使分配率は減少している。男女共同参画のもとに、労働者から搾取するのはおかしい。
- ・ 「男の子なんだから泣いてはいけない」や、「女の子らしい振る舞い姿をしなさい」などの従来の固定された男女観は現代にあわない。

(2) 20代女性

- ・ 男性は病気をしない限り仕事に集中できるが、一生結婚、出産しなければ別だが、女性は出産、育児で仕事を休まなければならないので男女共同参画はとても難しい。
- ・ 女性進出はだいぶ進んでいると思いますが、まだ男性の方が立場は優位のような気がします。ただ、子育てとかなになると女性の方が優位だと思うので、全てが平等というのは難しいのかなと思います。

(3) 30代男性

- ・ 親の介護で退職する女性従業員がいます。子供を預ける施設がなく働けない人がいます。職場に託児室を設け、子育て女性を応援する職場を作る努力をしていますが、まだ足りないと感じています。
- ・ 全てのことを平等にすることは難しいことだと思うので、時代にあった共同参画社会になれば良いと思う。

(4) 30代女性

- ・ 男性の育休を義務化して欲しい。長期仕事を休む為の余裕ある人員、今後の昇給に影響がないことなどの環境が整っておらず、まだまだ気兼ねなく育休を取得できる環境ではない。
- ・ 男女平等の土台づくりからだと思う。給料はなぜ男性の方が、同じ働きでも多いのか、など。男女の身体の違いによる得意、不得意をふまえること。成果に対しては平等にするが、ハラスメント的なことに対しては、しっかり尊厳を守り、防止をすすめていけたらよいと思う。

(5) 40代男性

- ・ 出生率の低迷、人口減少に懸念をしています。男女共同参画を進めながら、女性の体、特に子供を授かるのに適した年齢があるという科学的・医学的情報をしっかりと広め、人口減少と男女共同参画という2つの課題が同時に解決されることを望みます。
- ・ 共同参画は理想ではあると思うが、男女の身体の違い等を考えると難しい部分も多いと思う。

(6) 40代女性

- ・ 小さい頃からいろんな人がいていいという教育をしていくべき。もしくは制服をなくしてもよいと思う。(自由にスカート、ズボンを選べる。女はスカート、男はズボンが当たりまえ、おかしい?) もっと自由でよいと思う。
- ・ 男女とも能力に合った仕事をできるようにしてもらいたい。男女平等なのか。

(7) 50代男性

- ・ 家庭で育児をする女性をもっと尊重し、安心して育児ができる環境を整えてはどうか。
- ・ 男女というよりすべての人が、という方向へ転換した方がよいのではないかと思う。今はすべての人が生きづらい。

(8) 50代女性

- ・ 難しいことだと思う。幼い頃からの教育と、男女共同参画の意識を持っていない人への意識改革が必要だと思う。
- ・ 力みすぎも良くない。リーダーになりたい人もいれば、なりたくない人もいます。平等といっても、向き不向きやリーダーになってもらいたくないと思っている女性もいます。力仕事は男性がほとんどだし、男性だからとやらせる時もある。

(9) 60代男性

- ・ まだまだ男性優位。男女平等で暮らしやすい環境作りが必要。若い方が結婚したいと思えるように、色々な面で改善していく必要がある。
- ・ 男女の役割だけでなく、世代間の役割も、もっと助け合い、交流があった方が良いと思う。子育て時代には親の協力が必要で、その後の介護を考えると早くから親密な関係ができないかなと思う。

(10) 60代女性

- ・ 子どもの教育（育て方）にも大いに関係してくる、毎日の生活（家庭）の中で男女の差をつけず仕事分担等をさせる。
- ・ 男女平等とはいえ女性は男性のように働きません。生理、妊娠、出産、育児、体力の差、女性が社会に出るには家族の協力が必要だと思います。（夫以外の家族です。例えば祖父母とか）男女共同参画には限界があると思います。

(11) 70代以上男性

- ・ 特に政治活動について。男性の票も得られるような政策にも言及するべきである。（いつまでも女性を強調しては限界があると思う）
- ・ 各家庭の意見の差があり総合的に共同参画を進めるべきではない。なぜ共同参画なのかの議論を進めることが大切です。

(12) 70代以上女性

- ・ 子どもの頃からの関わりが影響していると思います。男女関係なく、子どもが家族以外の大人とふれあう機会が多くあればと思います。
- ・ 女性であっても能力の有るものは差別なくどんどん起用すべきと考えます。

男女共同参画に関する市民意識調査

アンケートご協力をお願い

日頃から、豊橋市政にご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。
豊橋市では、誰もが個性や能力を十分に発揮でき、いきいきと活躍できる「男女共同参画社会」の実現をめざして、「豊橋市男女共同参画行動計画」を策定し、さまざまな取組を行っています。

このたび、社会情勢の変化に対応した効果的な事業を行うよう、市民の皆様のお考えや実情を調べるためのアンケート調査を実施いたします。調査の実施にあたり、市内在住で20歳以上の方、3,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は3月までに取りまとめ、市ホームページや市役所内じょうほうひろばなどで公表する予定です。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の主旨をご理解いただくとともに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、アンケートは無記名方式で、統計的に処理しますので、回答して下さった方にご迷惑をおかけすることはありません。

令和元年8月

豊橋市長 佐原 光一

男女共同参画社会とは・・・

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」

(男女共同参画社会基本法第2条より)

■ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は封筒の**あて名の方**が本人が記入してください。
2. 質問への回答は、指示にそって番号に○をつけていただくとほとんどですが、内容によっては、数字を記入していただくこともあります。回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容を()に記入してください。
3. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答えください。
4. 記入後の調査票は無記名のまま、**同封の返信用封筒(切手不要)**に入れて、

8月31日(土)までに返送してください。

※調査についてのお問い合わせは、以下の担当へお願いします。

担当：豊橋市役所市民協創部市民協働推進課

電話：0532-51-2483

FAX：0532-56-5128

男女の平等感について

《全員にお聞きします》

問1. 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になっていると思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえれば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえれば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

《全員にお聞きします》

問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Gの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえれば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえれば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
A 家庭	1	2	3	4	5	6
B 職場	1	2	3	4	5	6
C 学校	1	2	3	4	5	6
D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
E 政治の場	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
G しきたりや習慣	1	2	3	4	5	6

男女の意思決定について

《全員にお聞きします》

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性別意識
2. 男性中心の組織運営
3. 女性の能力開発の機会が不十分
4. 女性の活動を支援する体制の不足
5. 女性が積極的ではない
6. 家族の支援・協力が不在
7. その他(具体的に：)
8. わからない

《全員にお聞きします》

問4. 次の各場面における男女の意見の反映のされ方について、どのように思いますか。
A～Eの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	もっと男性の意見が反映されるべき	男女の意見が平等に反映されるべき	もっと女性の意見が反映されるべき	わからない
A 家庭	1	2	3	4
B 職場	1	2	3	4
C 地域活動の場	1	2	3	4
D 市政の場	1	2	3	4
E 国政の場	1	2	3	4

参考：豊橋市における女性の参画状況

項目	数値	年度
市の審議会等に占める女性委員の割合	30.6%	H30年度
市職員の管理職に占める割合	14.0%	H30年度
学校における女性教員の管理部門（校長・教頭）への登用率	29.7%	H30年度
自治会長に占める女性の割合	3.7%	H30年度
地域活動に参加している人の割合	49.4%	H29年度調査

家庭・仕事・地域活動のバランスについて

《全員にお聞きします》

問5. 現在、地域のどのような活動に参加していますか。

次の中からあてはまると思われるものをすべて選んで○をつけてください。

1. 住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）
2. 子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）
3. 高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）
4. 女性の活躍にかかわる活動（女性団体など）
5. 環境美化活動
6. 防災活動
7. その他（具体的に：)
8. 参加していない

《全員にお聞きします》

問6. 次のA～Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。
平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。
(まったくしない場合は「0」を、30分する場合は「0.5」のように記入してください。)

項目	平日	休日
A 仕事（収入の得られる労働）	時間	時間
B 家事（掃除・洗濯・炊事など）	時間	時間
C ボランティア・NPO活動	時間	時間
D 地域活動（周りであげられている活動など）	時間	時間
E 子育て（乳幼児から学生まで）	時間	時間
F 介護・看護	時間	時間
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	時間	時間

《全員にお聞きします》

問7. 生活の中の「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先したい
2. 「仕事」を優先したい
3. 「地域・個人の活動」を優先したい
4. 「家庭」と「仕事」を優先したい
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先したい
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先したい
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先したい
8. わからない

※個人の活動とは文化活動、学習、趣味、付き合い等のことです。

《全員にお聞きします》

問8. 生活の中の「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先している
2. 「仕事」を優先している
3. 「地域・個人の活動」を優先している
4. 「家庭」と「仕事」を優先している
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している
8. わからない

男女の働き方について

《全員にお聞きします》

問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んでOをつけてください。

1. 賛成する
2. どちらかといえば賛成する
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば反対する
5. 反対する

《問9で「1. 賛成する」、「2. どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問9-1. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んでOをつけてください。

1. 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから
2. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから
3. 子どもの頃からそうした教育をされているから
4. 女性は仕事を持って不利な条件に置かれるから
5. 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから
6. 社会全体にそうした風潮があるから
7. その他（具体的に：)

《問9で「4. どちらかといえば反対する」、「5. 反対する」と回答した方にお聞きします》

問9-2. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んでOをつけてください。

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから
4. 妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから
7. その他（具体的に：)

《全員にお聞きします》

問10. 男性が育児や介護で休みをとることに、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んでOをつけてください。

1. 積極的にとったほうがよい
2. どちらかという、とったほうがよい
3. どちらかという、とる必要はない
4. とる必要はない
5. わからない

《問10で「1. 積極的にとったほうがよい」、「2. どちらかという」といったほうがよい」と回答した方にお聞きします。》

問10-1. そう思われる理由を次の中からすべて選んでOをつけてください。

1. 子どもに良い影響を与えるから
2. 女性が働きやすい環境につながるから
3. 男性自身も充実感が得られるから
4. 男女共同参画意識が図れるから
5. 男性の働き方を考えるきっかけとなるから
6. その他（具体的に：)
7. わからない

《問10で「3. どちらかという、とる必要はない」、「4. とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問10-2. そう思われる理由を次の中からすべて選んでOをつけてください。

1. 職場の理解が得られないから
2. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
3. 取得後の職場復帰への不安があるから
4. 仕事の量や責任が大きいため
5. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから
6. 女性のほうが育児・介護に向いているから
7. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから
8. その他（具体的に：)
9. わからない

《全員にお聞きします》

問 11. 女性が仕事をすることについて、どのように思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
2. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
3. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
4. 子どもができるまでは仕事をするのがよい
5. 結婚するまでは仕事をするのがよい
6. 女性は仕事をしない方がよい
7. その他（具体的に：)
8. わからない

《全員にお聞きします》

問 12. 女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、

次の中から2つ選んで○をつけてください。

1. 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護サービスの充実
3. 家事・育児などの支援サービス
4. 男性の家事などへの参加
5. 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境
6. 女性が働き続けることへの理解や意識改革
7. 長時間労働に対する職場環境の改善
8. 育児や介護を両立できる職場支援
9. その他（具体的に：)
10. わからない

《女性にお聞きします》

問 13. 離職した女性が、再就職を考えたとき何を基準にしたいと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
2. 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
3. これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
4. 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
5. その他（具体的に：)
6. わからない

《全員にお聞きします》

問 14. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性がいます。その理由について、

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家事や育児との両立がむずかしいから
2. 家族の協力や理解が得られないから
3. 育児休業や介護休業などの制度が不十分だから
4. 職場が結婚・出産した女性をきらう傾向があるから
5. 職場が責任ある仕事を女性に任せないから
6. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから
7. 保育園や保育施設の数や内容が十分でないから
8. 高齢者などの介護の両立が難しいから
9. 子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから
10. その他（具体的に：)
11. わからない

生涯を通じた生活について

《全員にお聞きします》

問 15. 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から1つだけ選

んで○をつけてください。

1. 継続して働くことができる環境が整っていること
2. 自分や配偶者が健康でいること
3. 介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること
4. 地域で安心して暮らせる環境が整っていること
5. あらゆる悩みに対応できる相談窓口が整っていること
6. その他（具体的に：)
7. わからない

子どもへの男女共同参画教育について

《全員にお聞きします》

問 16. 子育ての方針について、どのように考えますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他（具体的に：)
4. わからない

《全員にお聞きします》

問 17. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
4. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
5. 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
6. その他（具体的に：)
7. わからない

《配偶者からの暴力について

《全員にお聞きします》

問 18. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 命の危険を感じるくらい暴力を受けた
2. 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた
3. いやがつているのに性的な行為を強要された
4. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた
5. 何を言っても無視され続けた
6. 交友関係や電話を細かく監視された
7. 「だれのおかけで生活できるんだ」「かいしよなし」などと言われた
8. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした
9. 生活費をわたささないなど、経済的におさえつけられた
10. 今までなかった

《問 18 で、1 から 9 を選ぶ方のみにお聞きします》

問 18-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家族に相談した
2. 友人・知人に相談した
3. 行政機関に相談した（愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぶ など）
4. 警察に連絡・相談した
5. 弁護士に相談した
6. 医師に相談した
7. 民間のカウンセリングルームに相談した
8. その他（具体的に：)
9. だれにも相談しなかった

《問 18-1 で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみにお聞きします》

問 18-2. だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. どこ（だれ）に相談してよいか分からなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談しても解決できないと思ったから
4. 相談した相手の言動により、かえって不快な思いをと思ったから
5. 自分さえ我慢すればよいと思ったから
6. 世間体が悪いから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. そのことについて思い出しなくなかったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことでもないと思ったから
11. その他（具体的に：)

《全員にお聞きします》

問19. 男女間における暴力を防止するために必要と思ふものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけなことだと教える
2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフトなど）を規制する
10. その他（具体的に：)
11. わからない

《全員にお聞きします》

問20. 豊橋市にDV相談窓口（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

1. はい
2. いいえ

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

配偶者など親密な関係にある相手から受ける暴力のことで、身体的な暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さないなどの精神的・経済的な暴力もDVに含まれます。

豊橋市DV相談窓口とは・・・

豊橋市は、DVの被害者にとって身近で安心して相談できる窓口として、女性相談員による相談窓口を平成26年6月に開設しました。

電話相談	0532-33-9980	月～土曜日 9:00～15:00	祝日・第3月曜日・年 未年始を除く
面接相談（予約制）	実施時間と同時間帯に受付	火曜日、木曜日 9:30～15:30	祝日・年末年始を除く

豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

《全員にお聞きします》

問21. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

1. はい
2. いいえ

問21-1へ

問22へ

豊橋市男女共同参画センター「パルモ」とは・・・

ライフポートとよはし内にある男女共同参画推進のための拠点施設です。さまざまなテーマの講座や女性のための相談事業などを行っています。また、定員100名の研修室をはじめ図書室、調理実習室、美術工芸室、フィットネスルームなどを備え、女性だけでなく男性や企業の方にもご利用いただける施設となっています。

《問21で「1. はい」と答えた方のみお聞きします》

問21-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 女性のための講座・催し物
2. 男性のための講座・催し物
3. 家族が一緒に参加できる講座・催し物
4. 事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座
5. 特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座
6. 特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座
7. 情報収集・発信設備、図書の充実
8. その他（具体的に：)
9. 特にない

《全員にお聞きします》

問22. 男女共同参画センターではさまざまな講座を開催しています。男女共同参画に関係のある項目のうち、参加してみたいと思う講座をすべて選んで○をつけてください。

1. 子育て・孫育て
2. 料理
3. 介護
4. 生き方・人生設計
5. 仕事や就職に役立つ技術
6. 婚活・結婚生活
7. コミュニケーション
8. 美容・健康づくり
9. DV・人権問題
10. その他（具体的に：)
11. 参加してみたいテーマはない（興味がない）

《全員にお聞きします》

問22-1 男女共同参画に関する講座に参加する場合、参加しやすい曜日と時間帯について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

① 曜日	1. 平日 (曜日)	2. 土曜日	3. 日曜日
② 時間帯	1. 午前中 (9:00~12:00) 2. 午後 (13:00~17:00) 3. 夜間 (18:00~21:00)		

男女共同参画社会について

《全員にお聞きします》

問23. 次の用語について知っていましたか。

A~Gのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった
A 男女共同参画社会基本法	1	2	3
B 女性活躍推進法	1	2	3
C 豊橋市男女共同参画推進条例	1	2	3
D ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
E 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)	1	2	3
F デートDV	1	2	3
G LGBT 等性的少数者	1	2	3

ワーク・ライフ・バランスとは・・・

やりがいや充実感を感じながら働くとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現でき、子育て、介護、自分自身の時間なども充実できることです。実現のためには、働き方などを見直していく必要があります。

デートDVとは・・・

特に交際の相手から受ける暴力のことで、高校生、大学生など若年層の間にも被害が及んでいます。メールを頻繁に送るなど恋人を監視、束縛する行為もデートDVです。

LGBT 等性的少数者とは・・・

性の在り方が典型的な男女とは異なる人々の総称。LGBTとは、「L」を女性同性愛者(レズビアン)、「G」を男性同性愛者(ゲイ)、「B」を両性愛者(バイセクシャル)、「T」を自らの性同一性(心と身体)に違和感を感じる者(トランスジェンダー)としてそれぞれの頭文字で示した言葉であり、それ以外にも性的少数者は存在します。

《全員にお聞きします(1人世帯も含みます)》

問24. あなたの家庭では、家族全員が男女共同参画の意識を持っていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

《全員にお聞きします》

問25. 男女共同参画社会の実現のために、行政(国・県・市)はどのようなことかを入れればよいと思いますか。次の中から3つ選んで○をつけてください。

1. 男女平等を旨とした法律・制度の見直しを行う	10. 女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する	11. 男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する
3. 各種団体の女性リーダーを養成する	12. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う	13. 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する
5. 女性の採用拡大や職域拡大を進める	14. 広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
6. 女性の再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める	15. 家庭における暴力を根絶するための取組を進める
7. 労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う	16. その他(具体的に:)
8. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	17. 特になし
9. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	

《自由意見》

■以下のことについて、ご意見をお書きください

<p>男性が仕事と家事、育児、介護を両立することについて</p>	
<p>女性が仕事と、出産、子育て、介護などを両立することについて</p>	
<p>LGBT 等性的少数者への認識について</p>	
<p>その他男女共同参画に関して</p>	

《あなた自身のことについて

※アンケートを統計的に分析するために、令和元年8月1日現在の状況を必ずご回答ください。

A あなたの性別について教えてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他 ()
-------	-------	------------

B あなたの年代（年齢）を教えてください。

1. 20代	2. 30代	3. 40代
4. 50代	5. 60代	6. 70代以上

C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。1つだけ選んで○をつけてください。

自営業・自田業	会社・組織へ勤務	無職・学生
1. 農林漁業 2. 商・工・サービスの自営業主 3. 自営業（作家、芸術家など） 4. 上記「1～3」の家族従業者	5. 正社員・正職員 6. 派遣・契約社員 7. パートタイム・アルバイト 8. 内職・在宅就業 9. その他 ()	10. 専業主婦・専業主夫 11. 学生 12. その他（年金生活者、失業中の方など）

D あなたに配偶者はいますか。

1. いる（事実婚や別居中を含む）	2. いない（死別や離婚を含む）
-------------------	------------------

《Dの質問で「1. いる（事実婚や別居中を含む）」と答えた方のみお聞きします》

D-1 あなたと配偶者の方は、共働きをしていますか。

1. 共働きをしている	2. 共働きをしていない
-------------	--------------

E あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。1つだけ選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ（一世代家族）
3. 親と子（二世代家族）	4. 親と子と孫（三世代家族）
5. その他（具体的に：)	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

この用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、8月31日（土）までに返送してください。